

第4章 障害のある方の地域生活に関する調査（18歳以上）

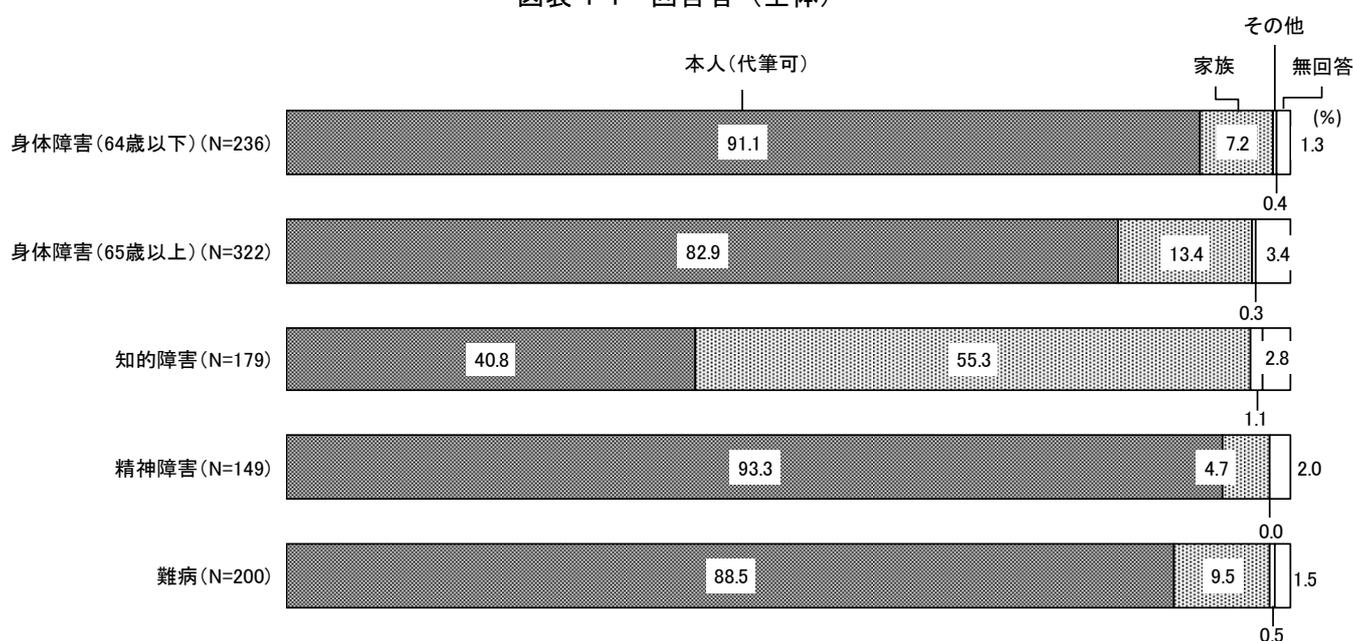
1 基本属性

（1）回答者（問1）

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。（1つに○）

- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、精神障害、難病は「本人（代筆可）」が最も多く、割合はそれぞれ91.1%、82.9%、93.3%、88.5%となっている。
- 知的障害は「家族（55.3%）」が最も多くなっている。

図表 4-1 回答者（全体）

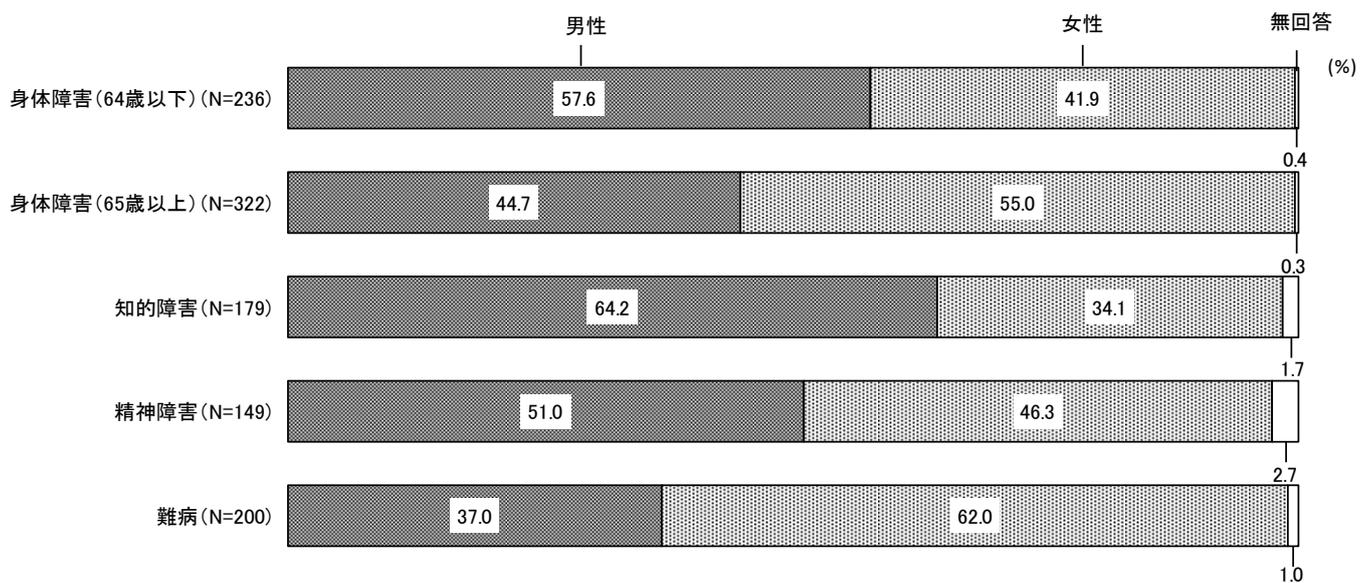


(2) 性別・年齢 (問2)

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)
また、平成28年10月1日現在の年齢をご記入ください。

○ 身体障害 (64歳以下) は「男性」が 57.6%、「女性」が 41.9%、身体障害 (65歳以上) は「男性」が 44.7%、「女性」が 55.0%、知的障害は「男性」が 64.2%、「女性」が 34.1%、精神障害は「男性」が 51.0%、「女性」が 46.3%、難病は「男性」が 37.0%、「女性」が 62.0%である。

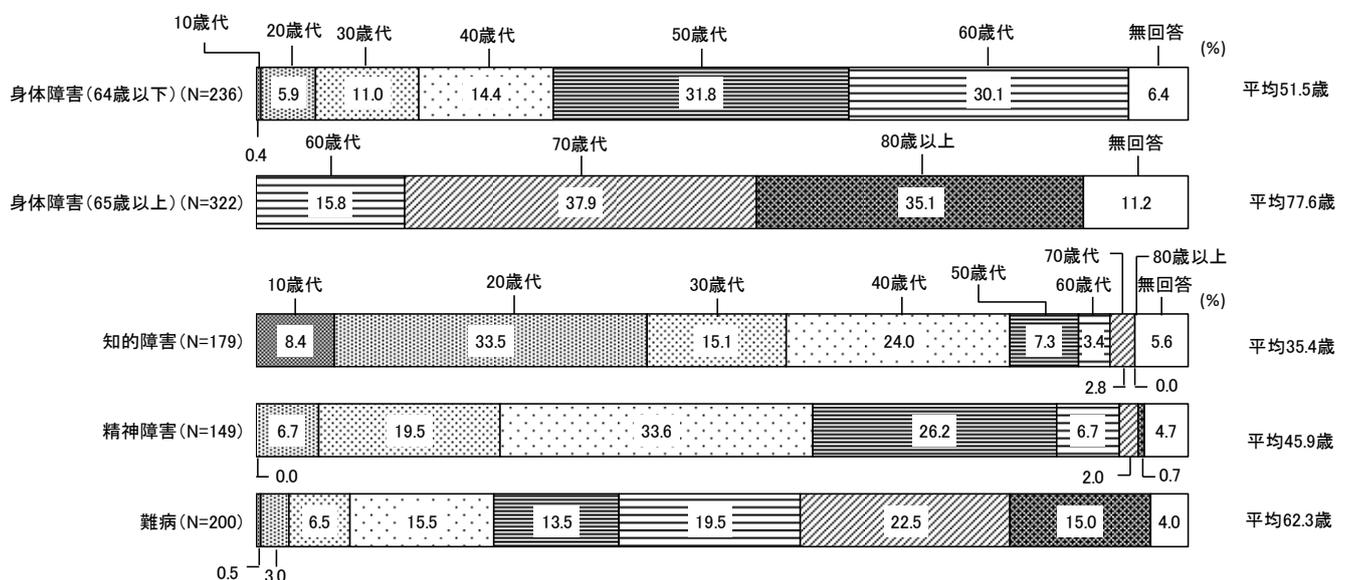
図表 4-2 性別 (全体)



○ 身体障害 (64歳以下) は「50歳代 (31.8%)」、身体障害 (65歳以上) は「70歳代 (37.9%)」、知的障害は「20歳代 (33.5%)」、精神障害は「40歳代 (33.6%)」、難病は「70歳代 (22.5%)」が最も多くなっている。

○ 平均年齢は、身体障害 (64歳以下) が 51.5歳、身体障害 (65歳以上) が 77.6歳、知的障害が 35.4歳、精神障害が 45.9歳、難病が 62.3歳である。

図表 4-3 年齢 (全体)

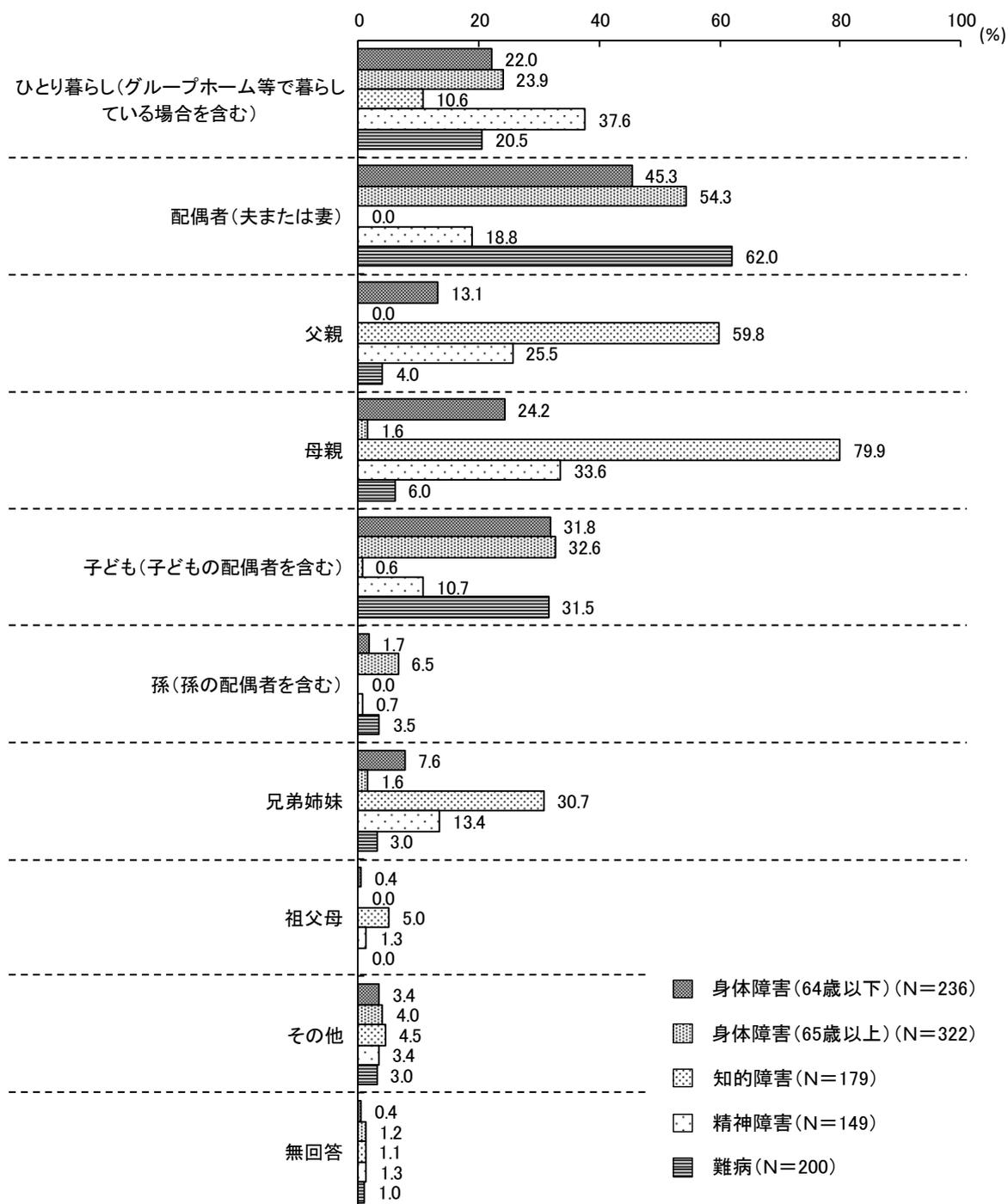


(3) 同居家族（問3）

問3 現在、あなたがいっしょに暮らしているご家族は、どなたですか。（いくつでも○）

- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、難病ともに「配偶者（夫または妻）」が最も多く、割合はそれぞれ45.3%、54.3%、62.0%となっている。
- 知的障害は「母親（79.9%）」が最も多く、精神障害は「ひとり暮らし（グループホーム等で暮らしている場合を含む）（37.6%）」が最も多くなっている。

図表4-4 同居家族（全体：複数回答）



II アンケート調査の結果

身体障害（64歳以下）

- 地域別にみると、北部地域では、「ひとり暮らし（グループホーム等で暮らしている場合を含む）（11.1%）」の割合が全体より10.9ポイント低く、「子ども（子どもの配偶者を含む）」が4割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-5 同居家族【身体障害（64歳以下）】（全体、地域別：複数回答）

		ひとり暮らし（グループホーム等で暮らしている場合を含む）	配偶者（夫または妻）	父親	母親	子ども（子どもの配偶者を含む）	孫（孫の配偶者を含む）	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全体	(N=236)	22.0	45.3	13.1	24.2	31.8	1.7	7.6	0.4	3.4	0.4
地域別	東部地域 (n= 39)	23.1	38.5	10.3	30.8	23.1	2.6	10.3	0.0	2.6	0.0
	西部地域 (n= 78)	24.4	43.6	15.4	21.8	26.9	0.0	7.7	1.3	5.1	0.0
	南部地域 (n= 66)	25.8	47.0	12.1	21.2	33.3	3.0	4.5	0.0	4.5	0.0
	北部地域 (n= 45)	11.1	48.9	15.6	28.9	44.4	2.2	11.1	0.0	0.0	0.0

身体障害（65歳以上）

- 地域別にみると、全地域で「配偶者（夫または妻）」の割合が4～6割とそれぞれ最も多くなっている。

図表 4-6 同居家族【身体障害（65歳以上）】（全体、地域別：複数回答）

		ひとり暮らし（グループホーム等で暮らしている場合を含む）	配偶者（夫または妻）	父親	母親	子ども（子どもの配偶者を含む）	孫（孫の配偶者を含む）	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全体	(N=322)	23.9	54.3	0.0	1.6	32.6	6.5	1.6	0.0	4.0	1.2
地域別	東部地域 (n= 61)	27.9	54.1	0.0	0.0	31.1	4.9	0.0	0.0	4.9	1.6
	西部地域 (n= 82)	25.6	46.3	0.0	1.2	30.5	7.3	3.7	0.0	3.7	1.2
	南部地域 (n= 96)	19.8	61.5	0.0	2.1	32.3	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0
	北部地域 (n= 68)	23.5	52.9	0.0	2.9	38.2	13.2	0.0	0.0	7.4	1.5

知的障害

- 地域別にみると、全地域で「母親」の割合が7～9割とそれぞれ最も多くなっている。

図表 4-7 同居家族【知的障害】（全体、地域別：複数回答）

		ひとり暮らし（グループホーム等で暮らしている場合を含む）	配偶者（夫または妻）	父親	母親	子ども（子どもの配偶者を含む）	孫（孫の配偶者を含む）	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全体	(N=179)	10.6	0.0	59.8	79.9	0.6	0.0	30.7	5.0	4.5	1.1
地域別	東部地域 (n= 30)	3.3	0.0	73.3	90.0	0.0	0.0	46.7	13.3	3.3	0.0
	西部地域 (n= 50)	18.0	0.0	56.0	80.0	2.0	0.0	20.0	4.0	2.0	0.0
	南部地域 (n= 54)	11.1	0.0	57.4	81.5	0.0	0.0	29.6	5.6	1.9	0.0
	北部地域 (n= 34)	5.9	0.0	64.7	73.5	0.0	0.0	41.2	0.0	8.8	0.0

精神障害

- 地域別にみると、「ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)」の割合が東部地域で51.4%と最も高く、北部地域で19.2%と最も低くなっている。

図表 4-8 同居家族【精神障害】(全体, 地域別: 複数回答)

		(%)									
		ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)	配偶者(夫または妻)	父親	母親	子ども(子どもを配偶者を含む)	孫(孫の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全体	(N=149)	37.6	18.8	25.5	33.6	10.7	0.7	13.4	1.3	3.4	1.3
地域別	東部地域 (n= 37)	51.4	13.5	18.9	29.7	5.4	0.0	18.9	0.0	0.0	0.0
	西部地域 (n= 46)	41.3	23.9	21.7	30.4	10.9	0.0	13.0	0.0	2.2	0.0
	南部地域 (n= 30)	30.0	20.0	23.3	40.0	10.0	0.0	3.3	0.0	10.0	0.0
	北部地域 (n= 26)	19.2	19.2	50.0	42.3	23.1	3.8	23.1	7.7	0.0	0.0

難病

- 地域別にみると、全地域で「配偶者(夫または妻)」の割合が5~7割とそれぞれ最も多くなっている。

図表 4-9 同居家族【難病】(全体, 地域別: 複数回答)

		(%)									
		ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)	配偶者(夫または妻)	父親	母親	子ども(子どもを配偶者を含む)	孫(孫の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
全体	(N=200)	20.5	62.0	4.0	6.0	31.5	3.5	3.0	0.0	3.0	1.0
地域別	東部地域 (n= 44)	22.7	65.9	6.8	4.5	27.3	6.8	4.5	0.0	0.0	0.0
	西部地域 (n= 54)	22.2	59.3	5.6	5.6	31.5	0.0	1.9	0.0	5.6	1.9
	南部地域 (n= 56)	21.4	53.6	3.6	8.9	30.4	5.4	3.6	0.0	3.6	0.0
	北部地域 (n= 38)	13.2	78.9	0.0	5.3	39.5	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0

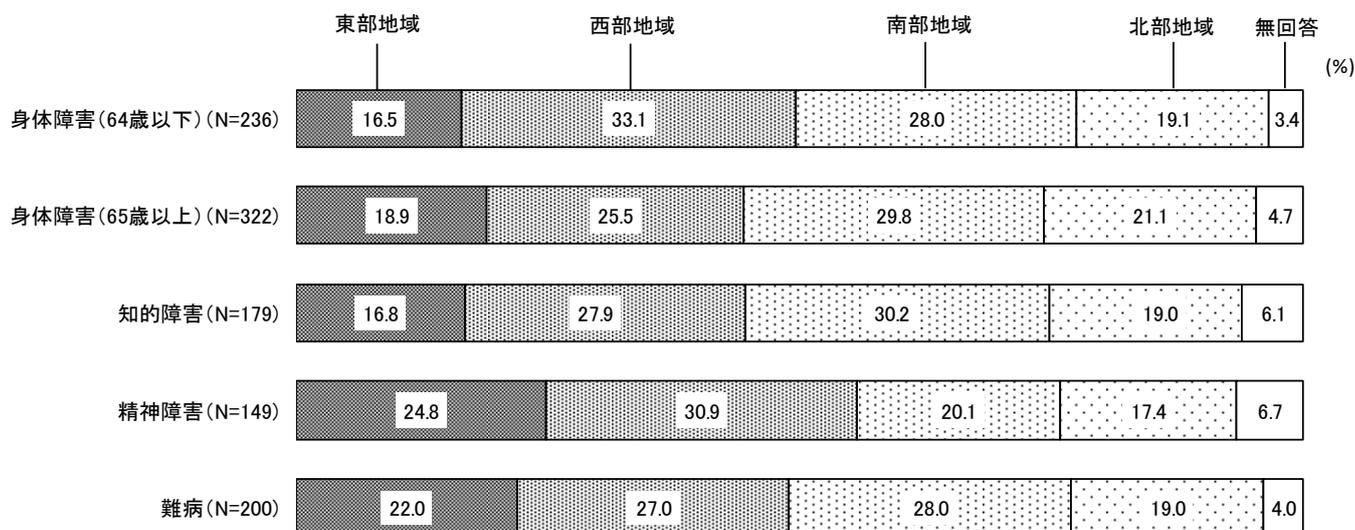
(4) 居住地域 (問4)

問4 お住まいの地域はどこですか。

記入例を参考に【町名】、【丁目】をご記入ください。

- 身体障害 (64 歳以下), 精神障害は「西部地域 (身体 64 歳以下 : 33.1%, 精神 : 30.9%)」が最も多く, 身体障害 (65 歳以上), 知的障害, 難病は「南部地域 (身体 65 歳以上 : 29.8%, 知的 : 30.2%, 難病 : 28.0%)」が最も多くなっている。

図表 4-10 居住地域 (全体)



(5) 避難所などになっている小学校(問4-1)

問4-1 お住まいの近くにある、避難所などになっている公立小学校はどれですか。
(1つに〇)

- 住まいの近くの避難所などになっている公立小学校をたずねた。
- 身体障害(64歳以下)は、いずれかの小学校を答えた人は83.9%で、「分からない」は14.0%である。
 - 身体障害(65歳以上)は、いずれかの小学校を答えた人は88.2%で、「分からない」は5.9%である。
 - 知的障害は、いずれかの小学校を答えた人は87.7%で、「分からない」は5.6%である。
 - 精神障害は、いずれかの小学校を答えた人は71.8%で、「分からない」は20.8%である。
 - 難病は、いずれかの小学校を答えた人は86.5%で、「分からない」は9.0%である。

図表4-11 避難所などになっている小学校(全体)

	東部地域				西部地域							
	緑ヶ丘小学校	若葉小学校	調和小学校	滝坂小学校	石原小学校	第三小学校	飛田給小学校	第一小学校	富士見台小学校	多摩川小学校		
身体障害(64歳以下)(N=236)	2.1	2.5	2.1	4.2	5.1	5.5	6.4	3.8	4.7	3.4		
身体障害(65歳以上)(N=322)	4.3	5.3	5.3	1.9	3.7	5.3	1.6	4.3	5.6	2.8		
知的障害(N=179)	3.4	6.7	1.7	2.8	5.6	5.6	1.7	5.6	3.9	2.2		
精神障害(N=149)	2.0	8.7	0.7	6.0	0.7	3.4	4.7	4.0	2.0	6.0		
難病(N=200)	2.0	4.5	8.5	0.5	4.0	6.5	3.0	2.5	4.5	3.5		

	南部地域						北部地域					分からない	無回答
	八雲台小学校	国領小学校	布田小学校	杉森小学校	第二小学校	染地小学校	上ノ原小学校	深大寺小学校	北ノ台小学校	柏野小学校			
身体障害(64歳以下)(N=236)	5.9	9.3	3.0	3.0	3.4	2.5	6.8	2.1	5.5	2.5	14.0	2.1	
身体障害(65歳以上)(N=322)	5.6	6.5	3.4	4.3	2.8	4.7	7.5	4.3	6.8	2.2	5.9	5.9	
知的障害(N=179)	6.1	6.7	1.7	8.9	3.4	3.4	8.4	3.9	2.8	3.4	5.6	6.7	
精神障害(N=149)	3.4	4.0	1.3	2.7	3.4	1.3	6.7	2.0	4.7	4.0	20.8	7.4	
難病(N=200)	5.0	7.5	3.0	4.0	2.5	4.0	8.5	2.5	6.0	4.0	9.0	4.5	

2 住まいや居留意向

(1) 住居形態 (問5)

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

- 身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害, 難病ともに, 「持ち家の一戸建て」が最も多く, 割合はそれぞれ 33.1%, 44.1%, 38.5%, 39.0%である。
- 精神障害は, 「民間賃貸の集合住宅 (アパート・マンションなど)」が最も多く, 43.0%となっている。

図表 4-12 住居形態 (全体)

	持ち家の一戸建て	マンション (アパート・マンションなど)	民間賃貸の一戸建て	民間賃貸の集合住宅 (アパート・マンションなど)	民間賃貸の集合住宅 (市営・都営住宅など)	公営住宅 (市営・都営住宅など)	社宅・公務員住宅など	グループホーム	その他	無回答
身体障害 (64歳以下) (N=236)	33.1	21.2	0.8	27.5	13.1	0.8	0.0	2.5	0.8	
身体障害 (65歳以上) (N=322)	44.1	15.2	1.9	13.7	17.7	0.0	0.3	4.3	2.8	
知的障害 (N=179)	38.5	16.8	1.1	15.1	16.2	0.6	3.9	3.9	3.9	
精神障害 (N=149)	24.8	13.4	0.7	43.0	10.1	0.0	1.3	4.7	2.0	
難病 (N=200)	39.0	23.0	2.0	19.0	12.5	0.5	0.5	1.5	2.0	

身体障害 (64歳以下)

- 地域別にみると, 北部地域で「持ち家の一戸建て」の割合が 57.8%と最も高く, 南部地域で 15.2%と最も低くなっている。

図表 4-13 住居形態【身体障害 (64歳以下)】(全体, 地域別)

	持ち家の一戸建て	マンション (アパート・マンションなど)	民間賃貸の一戸建て	民間賃貸の集合住宅 (アパート・マンションなど)	民間賃貸の集合住宅 (市営・都営住宅など)	公営住宅 (市営・都営住宅など)	社宅・公務員住宅など	グループホーム	その他	無回答
全 体 (N=236)	33.1	21.2	0.8	27.5	13.1	0.8	0.0	2.5	0.8	
地域別										
東部地域 (n= 39)	28.2	17.9	2.6	33.3	12.8	0.0	0.0	2.6	2.6	
西部地域 (n= 78)	37.2	17.9	1.3	26.9	10.3	1.3	0.0	5.1	0.0	
南部地域 (n= 66)	15.2	25.8	0.0	33.3	22.7	1.5	0.0	0.0	1.5	
北部地域 (n= 45)	57.8	22.2	0.0	13.3	4.4	0.0	0.0	2.2	0.0	

身体障害 (65歳以上)

- 地域別にみると、北部地域で「持ち家の一戸建て」の割合が58.8%と最も高く、南部地域で34.4%と最も低くなっている。また、「公営住宅(市営・都営住宅など)」の割合は、東部地域と南部地域でそれぞれ全体より10ポイント以上高くなっており、地域によって居住形態が異なっている傾向がうかがえる。

図表 4-14 住居形態【身体障害 (65歳以上)】(全体, 地域別)

		(%)								
		持ち家の一戸建て	シ(持ち家の集合住宅)ア(アパート・マンション)ン	民間賃貸の一戸建て	シ(民間賃貸の集合住宅)ア(アパート・マンション)ン	公営住宅(市営・都営住宅など)	ど社宅・公務員住宅など	グループホーム	その他	無回答
全	体 (N=322)	44.1	15.2	1.9	13.7	17.7	0.0	0.3	4.3	2.8
地域別	東部地域 (n= 61)	42.6	8.2	0.0	11.5	29.5	0.0	0.0	6.6	1.6
	西部地域 (n= 82)	47.6	18.3	1.2	14.6	7.3	0.0	0.0	7.3	3.7
	南部地域 (n= 96)	34.4	18.8	1.0	14.6	28.1	0.0	0.0	2.1	1.0
	北部地域 (n= 68)	58.8	10.3	5.9	11.8	5.9	0.0	1.5	2.9	2.9

知的障害

- 地域別にみると、東部地域で「持ち家の一戸建て」の割合が53.3%と最も高く、南部地域で31.5%と最も低くなっている。

図表 4-15 住居形態【知的障害】(全体, 地域別)

		(%)								
		持ち家の一戸建て	シ(持ち家の集合住宅)ア(アパート・マンション)ン	民間賃貸の一戸建て	シ(民間賃貸の集合住宅)ア(アパート・マンション)ン	公営住宅(市営・都営住宅など)	ど社宅・公務員住宅など	グループホーム	その他	無回答
全	体 (N=179)	38.5	16.8	1.1	15.1	16.2	0.6	3.9	3.9	3.9
地域別	東部地域 (n= 30)	53.3	13.3	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	3.3	0.0
	西部地域 (n= 50)	40.0	22.0	2.0	18.0	2.0	2.0	8.0	4.0	2.0
	南部地域 (n= 54)	31.5	20.4	0.0	13.0	25.9	0.0	1.9	3.7	3.7
	北部地域 (n= 34)	38.2	11.8	2.9	17.6	17.6	0.0	2.9	2.9	5.9

精神障害

- 地域別にみると、北部地域で「持ち家の一戸建て」の割合が38.5%と最も高く、東部地域で16.2%と最も低くなっている。また、「民間賃貸の集合住宅(アパート・マンションなど)」の割合は、東部地域と西部地域で5割を超えている。

図表 4-16 住居形態【精神障害】(全体, 地域別)

		(%)								
		持ち家の一戸建て	シ(持ち家の集合住宅)ア(アパート・マンション)ン	民間賃貸の一戸建て	シ(民間賃貸の集合住宅)ア(アパート・マンション)ン	公営住宅(市営・都営住宅など)	ど社宅・公務員住宅など	グループホーム	その他	無回答
全	体 (N=149)	24.8	13.4	0.7	43.0	10.1	0.0	1.3	4.7	2.0
地域別	東部地域 (n= 37)	16.2	13.5	0.0	51.4	8.1	0.0	0.0	10.8	0.0
	西部地域 (n= 46)	26.1	13.0	0.0	50.0	6.5	0.0	2.2	2.2	0.0
	南部地域 (n= 30)	20.0	16.7	0.0	36.7	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	北部地域 (n= 26)	38.5	15.4	3.8	26.9	11.5	0.0	3.8	0.0	0.0

難病

- **地域別**にみると、北部地域で「持ち家の一戸建て」の割合が63.2%と最も高く、南部地域で19.6%と最も低くなっている。南部地域では「公営住宅（市営・都営住宅など）（30.4%）」の割合が全体より17.9ポイント高くなっている。

図表 4-17 住居形態【難病】（全体，地域別）

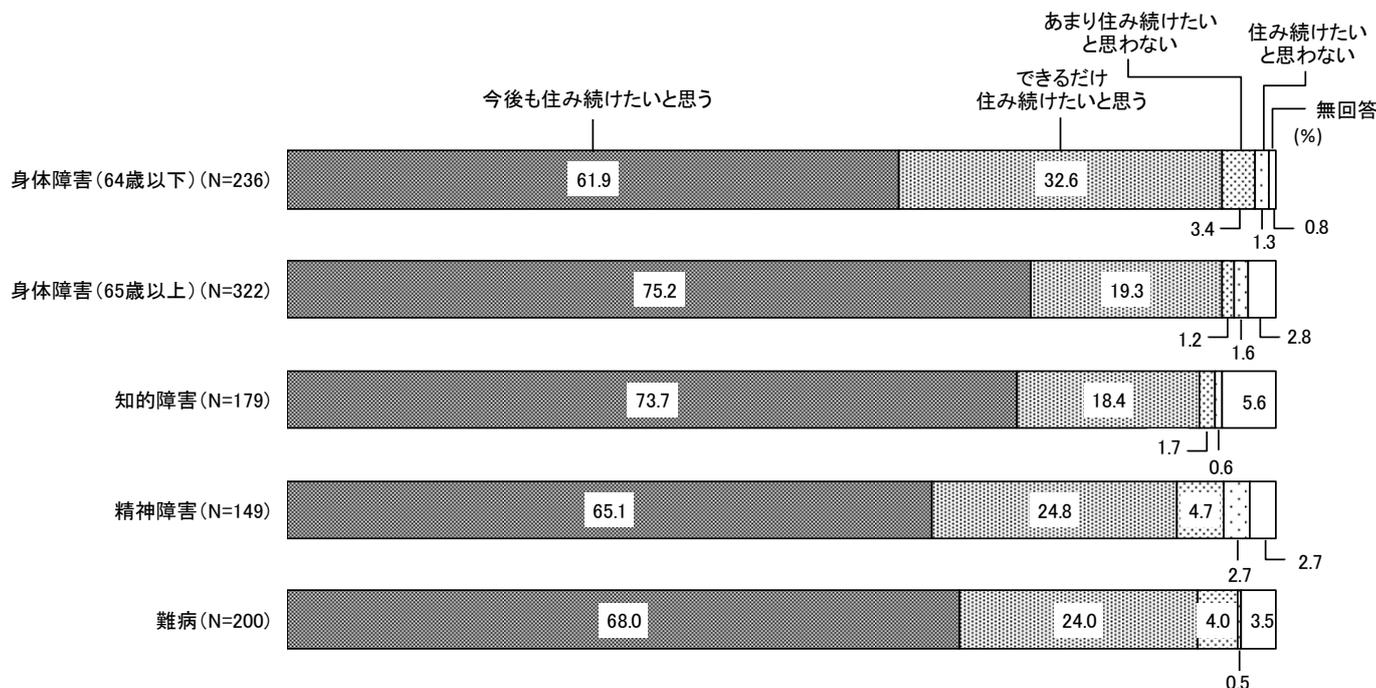
		(%)								
		持ち家の一戸建て	持ち家の集合住宅（シェアアパート・マンションなど）	民間賃貸の一戸建て	民間賃貸の集合住宅（シェアアパート・マンションなど）	公営住宅（市営・都営住宅など）	社宅・公務員住宅など	グループホーム	その他	無回答
全	体 (N=200)	39.0	23.0	2.0	19.0	12.5	0.5	0.5	1.5	2.0
地域別	東部地域 (n= 44)	40.9	13.6	0.0	29.5	9.1	0.0	0.0	0.0	6.8
	西部地域 (n= 54)	38.9	25.9	7.4	20.4	3.7	1.9	1.9	0.0	0.0
	南部地域 (n= 56)	19.6	28.6	0.0	16.1	30.4	0.0	0.0	3.6	1.8
	北部地域 (n= 38)	63.2	21.1	0.0	10.5	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0

(2) 居留意向（問6）

問6 あなた（あて名のご本人）は、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

- 今後の居留意向は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「今後も住み続けたいと思う」が最も多く、割合はそれぞれ61.9%、75.2%、73.7%、65.1%、68.0%となっている。

図表 4-18 居留意向（全体）



(3) 居留意向の理由(問6-1)

問6-1 問6で答えた理由を下の欄にご記入ください。

- 問6で、居留意向について回答いただいた方に居留意向の理由をたずねた。以下、主な理由を掲載する。

身体障害(64歳以下)

- 居留意向のある人からは、「持ち家があるから」、「慣れた環境であるから」、「緑が多く環境がよい」、「住みやすい」、「福祉に力を入れている市だから」、「引っ越し理由がない」などの意見があげられた。
- 居留意向のない人からは、「家賃が高い」、「主要道路以外の歩道整備がされていない」、「特に地域にこだわりがない」、「通勤に便利なところに転居予定」、「福祉が充実している感じを受けない」などの意見があげられた。

身体障害(65歳以上)

- 居留意向のある人からは、「持ち家があるから」、「慣れた環境であるから」、「環境がよい」、「自然が豊か」、「住みやすい」、「便利だから」、「長年住んでいるから」などの意見があげられた。また、「他に行くあてがない」という意見もあげられた。
- 居留意向のない人からは、「駅から遠いから」、「人々に思いやりや常識がない」、「マンションでの近所づきあいがわずらわしい」などの意見があげられた。

知的障害

- 居留意向のある人からは、「持ち家があるから」、「住みなれた環境であるから」、「環境がよい」、「住みやすい」、「福祉が充実している」、「便利だから」、「引っ越し理由がない」などの意見があげられた。
- 居留意向のない人からは、「兄弟が通学中のため我慢して住んでいる」、「会社が遠いため」などの意見があげられた。

精神障害

- 居留意向のある人からは、「持ち家があるから」、「住みなれた環境であるから」、「環境がよい」、「住みやすい」、「福祉が充実している」、「交通の便が良い」などの意見があげられた。
- 居留意向のない人からは、「住みづらい」、「とても、設備が不便だから」、「障害者(特に精神)に対してのサポートや支援等がまだまだ不足しているから」などの意見があげられた。

難病

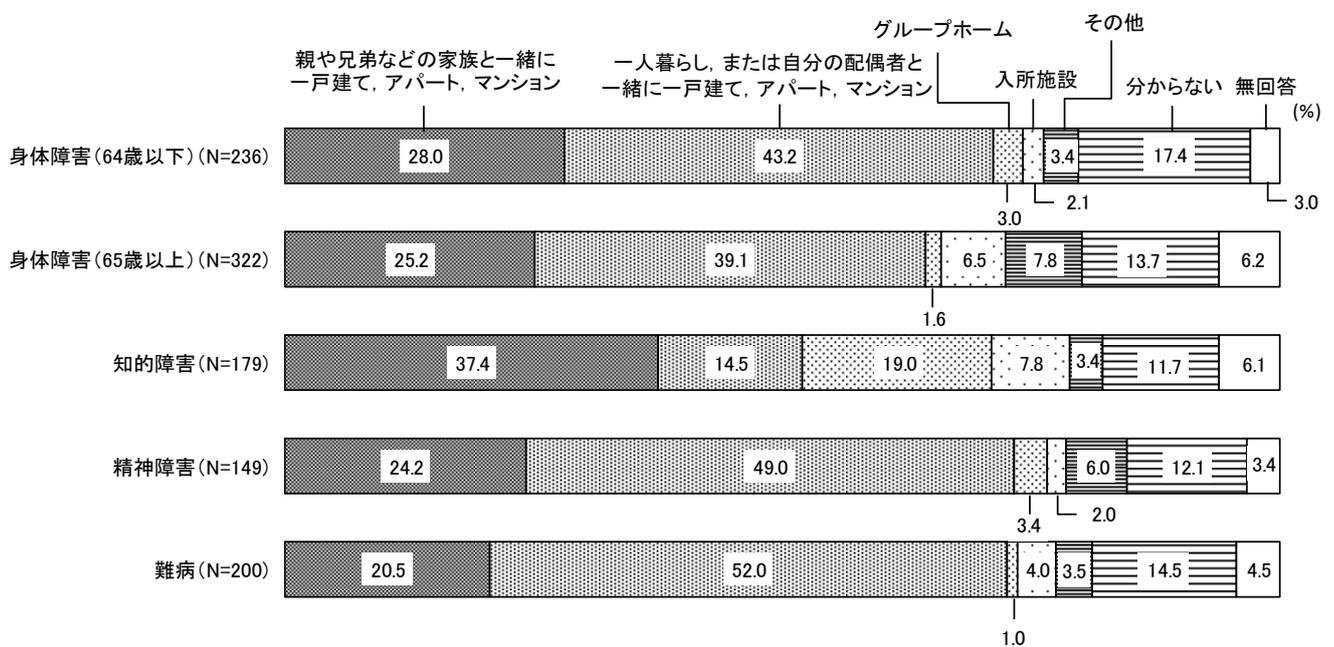
- 居留意向のある人からは、「持ち家があるから」、「住みなれた環境であるから」、「環境がよい」、「住みやすい」、「交通の便が良い」などの意見があげられた。
- 居留意向のない人からは、「子どものことを考えると、移りたい」、「道路事情がよくないし、買物の店も少ない」、「都心に近い方がよい」などの意見があげられた。

(4) 今後の居住形態の意向 (問7)

問7 あなたは今後、どのような住まいで生活したいと思いますか。ご希望のお住まい形態をお答えください。(1つに○)

- 今後の居住形態の意向は、身体障害 (64歳以下)、身体障害 (65歳以上)、精神障害、難病ともに、「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション」が最も多く、割合はそれぞれ 43.2%、39.1%、49.0%、52.0% である。
- 知的障害は、「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション」が最も多く、37.4%となっている。

図表 4-19 今後の居住形態の意向 (全体)



身体障害 (64歳以下)

- 家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション (65.4%)」が全体より 22.2 ポイント高くなっている。
- 地域別にみると、北部地域では「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション (44.4%)」が全体より 16.4 ポイント高くなっている。
- 障害程度別にみると 1～4 級と 6 級ともに「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション」が 3～5 割と最も多く、5 級は「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション (46.2%)」が最も多くなっている。

図表 4-20 今後の居住形態の意向【身体障害 (64歳以下)】

(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別, 障害程度別)

(%)

		ンアと親 パーや 一緒に トに弟 など マ戸建 ン建の シて家 ヨ、族	トに自 、一分 マ戸の ン建配 シて偶 ヨ、者 ンアと パーた 一緒に は	グ ル ー プ ホ ー ム	入 所 施 設	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=236)	28.0	43.2	3.0	2.1	3.4	17.4	3.0
年 代 別	18歳～39歳 (n= 41)	26.8	46.3	7.3	2.4	2.4	12.2	2.4
	40歳～64歳 (n=178)	29.2	43.3	1.7	1.7	3.4	18.0	2.8
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 52)	5.8	65.4	3.8	0.0	0.0	23.1	1.9
	その他 (n=183)	34.4	37.2	2.7	2.7	4.4	15.3	3.3
地 域 別	東部地域 (n= 39)	25.6	38.5	0.0	0.0	5.1	28.2	2.6
	西部地域 (n= 78)	24.4	47.4	5.1	2.6	5.1	11.5	3.8
	南部地域 (n= 66)	24.2	39.4	3.0	3.0	3.0	24.2	3.0
	北部地域 (n= 45)	44.4	40.0	2.2	2.2	0.0	8.9	2.2
程 度 別 障 害	1級 (n= 78)	30.8	34.6	3.8	5.1	1.3	20.5	3.8
	2級 (n= 43)	18.6	44.2	4.7	0.0	4.7	20.9	7.0
	3級 (n= 24)	33.3	37.5	4.2	4.2	8.3	12.5	0.0
	4級 (n= 55)	23.6	56.4	1.8	0.0	3.6	14.5	0.0
	5級 (n= 13)	46.2	38.5	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
	6級 (n= 15)	33.3	40.0	0.0	0.0	6.7	20.0	0.0

II アンケート調査の結果

身体障害（65歳以上）

- 家族構成別にみると、ひとり暮らしは「入所施設（15.6%）」が全体より9.1ポイント高くなっている。
- 地域別にみると、東部地域、西部地域、南部地域で「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション」が4割を超えているが、北部地域では27.9%と全体と比べ低くなっている。
- 障害程度別にみると、3級と4級で「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション（3級：49.0%、4級：45.7%）」の割合が全体より高くなっている。

図表 4-21 今後の居住形態の意向【身体障害（65歳以上）】

（全体、年代別、家族構成別、地域別、障害程度別）

		(%)							
		アンと親 パーや ー緒兄 トに弟 、一な ど マ戸建 ン建の シて、 ヨ	ト、一 、自 分 マ戸建 ンシ ョ ンア と マ ー 緒 は	自 一人 暮らし 、 配 偶 者 、 ま た は 一 人 暮らし	グ ル ー プ ホ ー ム	入 所 施 設	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=322)	25.2	39.1	1.6	6.5	7.8	13.7	6.2	
年 代 別	65歳～74歳 (n=105)	20.0	43.8	0.0	8.6	9.5	14.3	3.8	
	75歳～84歳 (n=120)	29.2	35.0	1.7	7.5	8.3	11.7	6.7	
	85歳以上 (n= 61)	26.2	36.1	3.3	1.6	8.2	14.8	9.8	
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 77)	6.5	33.8	5.2	15.6	13.0	22.1	3.9	
	その他 (n=241)	31.1	41.1	0.4	3.3	6.2	11.2	6.6	
地 域 別	東部地域 (n= 61)	23.0	45.9	0.0	8.2	6.6	11.5	4.9	
	西部地域 (n= 82)	20.7	41.5	2.4	7.3	8.5	14.6	4.9	
	南部地域 (n= 96)	28.1	40.6	3.1	6.3	5.2	13.5	3.1	
	北部地域 (n= 68)	29.4	27.9	0.0	5.9	13.2	13.2	10.3	
程 度 別 障 害	1級 (n= 78)	30.8	35.9	0.0	6.4	11.5	12.8	2.6	
	2級 (n= 36)	25.0	27.8	0.0	11.1	11.1	16.7	8.3	
	3級 (n= 51)	21.6	49.0	2.0	9.8	3.9	7.8	5.9	
	4級 (n= 92)	23.9	45.7	2.2	4.3	7.6	12.0	4.3	
	5級 (n= 17)	23.5	35.3	5.9	5.9	5.9	17.6	5.9	
	6級 (n= 6)	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	

知的障害

- 年代別にみると、年代があがるにつれ、「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション」の割合が低くなっている。
- 家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「グループホーム」が4割を超え、全体より高くなっている。
- 地域別にみると東部地域と北部地域では「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション」が4～5割を超え、西部地域では「グループホーム」が3割程度と全体より高くなっている。
- 障害程度別にみると、2度、3度は「グループホーム」が3割を超え、4度は「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション」が3割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-22 今後の居住形態の意向【知的障害】
(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別, 障害程度別)

		(%)						
		親や兄弟と一緒に暮らす、または家族	一人暮らし、またはパートナーと一緒に暮らす	グループホーム	入所施設	その他	分からない	無回答
全	体 (N=179)	37.4	14.5	19.0	7.8	3.4	11.7	6.1
年代別	18歳～39歳 (n=102)	37.3	14.7	22.5	8.8	3.9	7.8	4.9
	40歳～64歳 (n= 57)	35.1	12.3	17.5	5.3	3.5	17.5	8.8
	65歳以上 (n= 10)	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0
家族構成別	ひとり暮らし (n= 19)	0.0	26.3	42.1	5.3	5.3	15.8	5.3
	その他 (n=158)	42.4	13.3	16.5	7.6	3.2	10.8	6.3
地域別	東部地域 (n= 30)	53.3	13.3	10.0	10.0	3.3	10.0	0.0
	西部地域 (n= 50)	26.0	12.0	28.0	8.0	6.0	12.0	8.0
	南部地域 (n= 54)	37.0	16.7	14.8	7.4	1.9	16.7	5.6
	北部地域 (n= 34)	47.1	17.6	20.6	0.0	2.9	0.0	11.8
障害程度別	1度 (n= 11)	72.7	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0
	2度 (n= 43)	37.2	0.0	32.6	16.3	4.7	7.0	2.3
	3度 (n= 31)	41.9	0.0	32.3	0.0	3.2	12.9	9.7
	4度 (n= 78)	33.3	32.1	9.0	3.8	3.8	16.7	1.3

II アンケート調査の結果

精神障害

- 家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション」が6割を超え、全体より高くなっている。
- 地域別にみると、「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション」の割合は、北部地域で34.6%と最も高く、西部地域で19.6%と最も低くなっている。「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション」の割合は、西部地域で60.9%と最も高く、南部地域では30.0%と最も低くなっている。
- 障害程度別にみると、障害の程度が軽くなるにつれ、「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション」の割合が高くなっている。

図表 4-23 今後の居住形態の意向【精神障害】
(全体、年代別、家族構成別、地域別、障害程度別)

(%)

		アンアと親 パーや トに緒 マ戸ど ン建の シて、 ヨ 族	トに自一 、一分人 マ戸の暮 ン建配ら シて、者 ヨ アとま ンアとま トに緒は	グ ル ー プ ホ ー ム	入 所 施 設	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=149)	24.2	49.0	3.4	2.0	6.0	12.1	3.4
年 代 別	18歳～39歳 (n= 39)	30.8	51.3	7.7	0.0	2.6	7.7	0.0
	40歳～64歳 (n= 93)	23.7	48.4	1.1	1.1	7.5	15.1	3.2
	65歳以上 (n= 10)	10.0	50.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 56)	3.6	67.9	1.8	0.0	7.1	17.9	1.8
	その他 (n= 91)	37.4	37.4	4.4	3.3	5.5	8.8	3.3
地 域 別	東部地域 (n= 37)	27.0	51.4	5.4	0.0	10.8	2.7	2.7
	西部地域 (n= 46)	19.6	60.9	0.0	0.0	6.5	13.0	0.0
	南部地域 (n= 30)	23.3	30.0	3.3	6.7	3.3	26.7	6.7
	北部地域 (n= 26)	34.6	50.0	3.8	0.0	3.8	7.7	0.0
程 度 害 別	1級 (n= 5)	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	2級 (n= 73)	21.9	52.1	5.5	0.0	4.1	15.1	1.4
	3級 (n= 45)	31.1	48.9	2.2	2.2	6.7	8.9	0.0

難病

- 年代別にみると、「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション」の割合は、18歳～39歳で73.7%と最も高く、65歳以上で45.4%と最も低くなっている。
- 地域別にみると、「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション」の割合は、東部地域で3割程度と全体より高くなっており、西部地域と南部地域では、1割台と全体より低くなっている。

図表 4-24 今後の居住形態の意向【難病】

(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別)

			ンアと親 パーや 一緒に トに弟 、一な マ戸ど ン建の シて、 ヨ、族	トに自 、一分 マ戸の ン建配 シて偶 、者、 ンアと パーた 一緒に	グ ル ー プ ホ ー ム	入 所 施 設	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全	体	(N=200)	20.5	52.0	1.0	4.0	3.5	14.5	4.5
年 代 別	18歳～39歳	(n= 19)	21.1	73.7	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
	40歳～64歳	(n= 75)	28.0	54.7	1.3	0.0	2.7	12.0	1.3
	65歳以上	(n= 97)	14.4	45.4	1.0	8.2	5.2	17.5	8.2
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n= 41)	0.0	51.2	4.9	9.8	9.8	14.6	9.8
	その他	(n=157)	25.5	52.9	0.0	2.5	1.3	14.6	3.2
地 域 別	東部地域	(n= 44)	31.8	45.5	0.0	4.5	0.0	11.4	6.8
	西部地域	(n= 54)	13.0	57.4	0.0	5.6	7.4	13.0	3.7
	南部地域	(n= 56)	17.9	53.6	3.6	3.6	0.0	17.9	3.6
	北部地域	(n= 38)	23.7	52.6	0.0	0.0	7.9	13.2	2.6

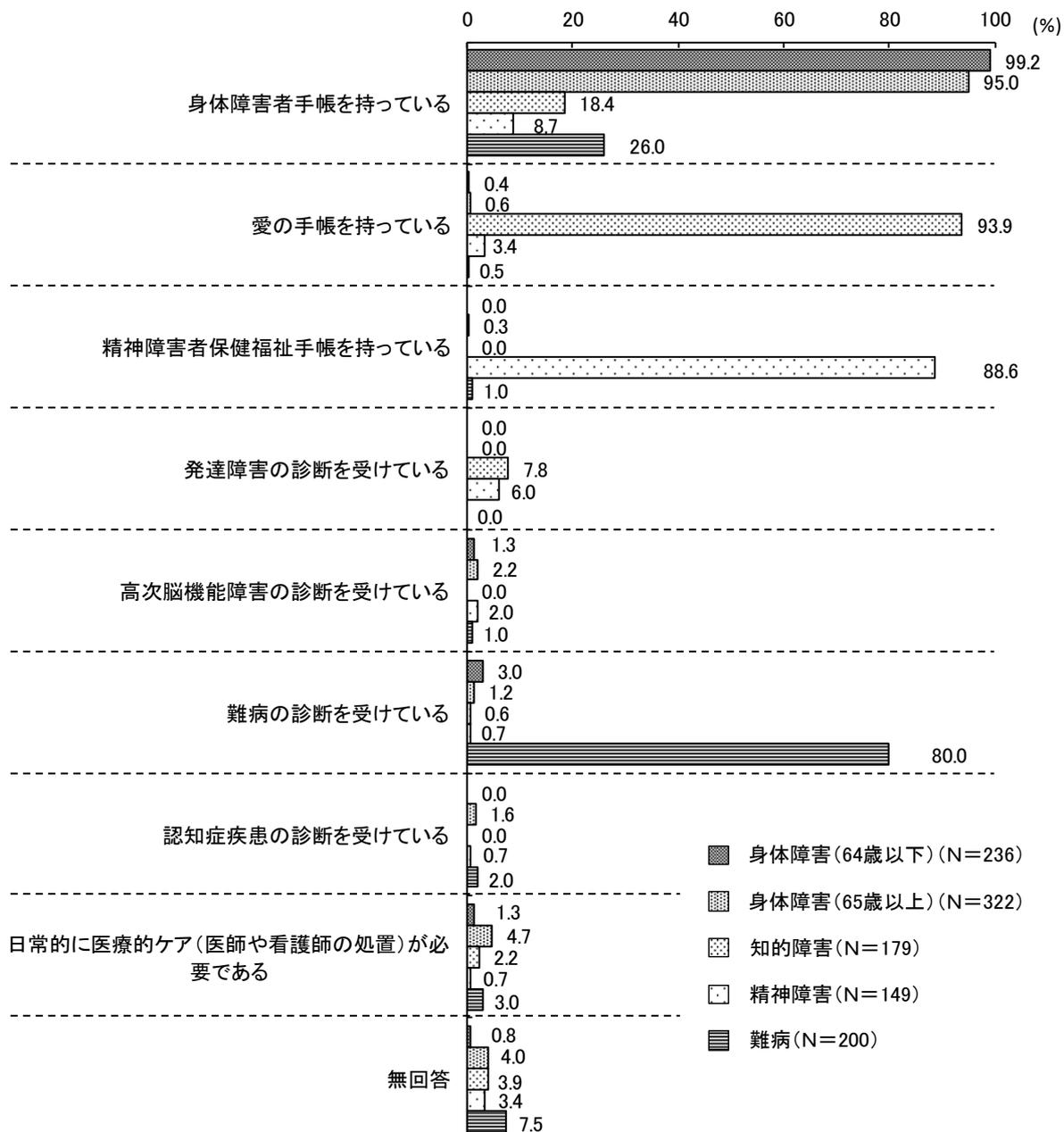
3 障害の状況と日常生活

(1) 持っている手帳の種類と等級 (問8)

問8 あなた(あて名のご本人)がお持ちの手帳または受けている診断名について、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級と診断名をご記入ください。

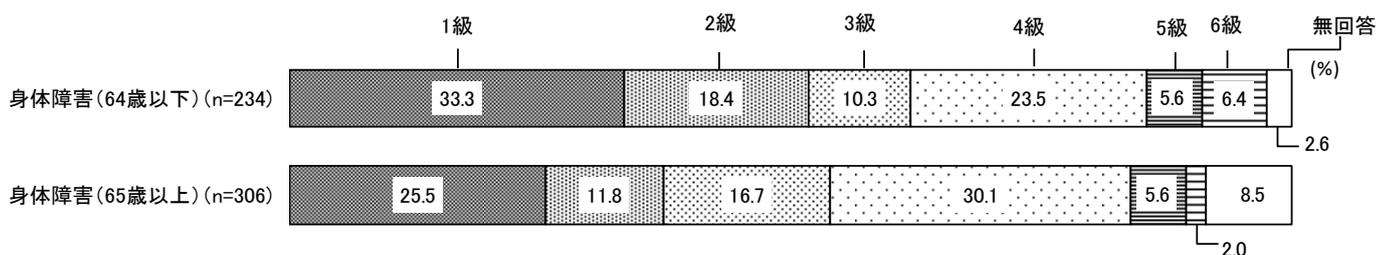
○ 持っている手帳の種類は、身体障害(64歳以下)は、「身体障害者手帳を持っている(99.2%)」、身体障害(65歳以上)は、「身体障害者手帳を持っている(95.0%)」、知的障害は、「愛の手帳を持っている(93.9%)」、精神障害は「精神障害者保健福祉手帳を持っている(88.6%)」、難病は、「難病の診断を受けている(80.0%)」がそれぞれ最も多い。

図表 4-25 手帳の種類 (全体：複数回答)



- 手帳の等級は、身体障害（64歳以下）では、身体障害者手帳の「1級（33.3%）」が最も多く、身体障害（65歳以上）では、身体障害者手帳の「4級（30.1%）」が最も多くなっている。知的障害では、愛の手帳の「4度（46.4%）」が最も多く、精神障害では、精神障害者保健福祉手帳の「2級（55.3%）」が最も多くなっている。

図表 4-26 身体障害者手帳の等級【身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）】
（全体）＜身体障害者手帳を持っている人＞



図表 4-27 愛の手帳の等級【知的障害】（全体）
＜愛の手帳を持っている人＞



図表 4-28 精神障害者保健福祉手帳の等級【精神障害】（全体）
＜精神障害者保健福祉手帳を持っている人＞



(2) 障害の部位 (問8-1)

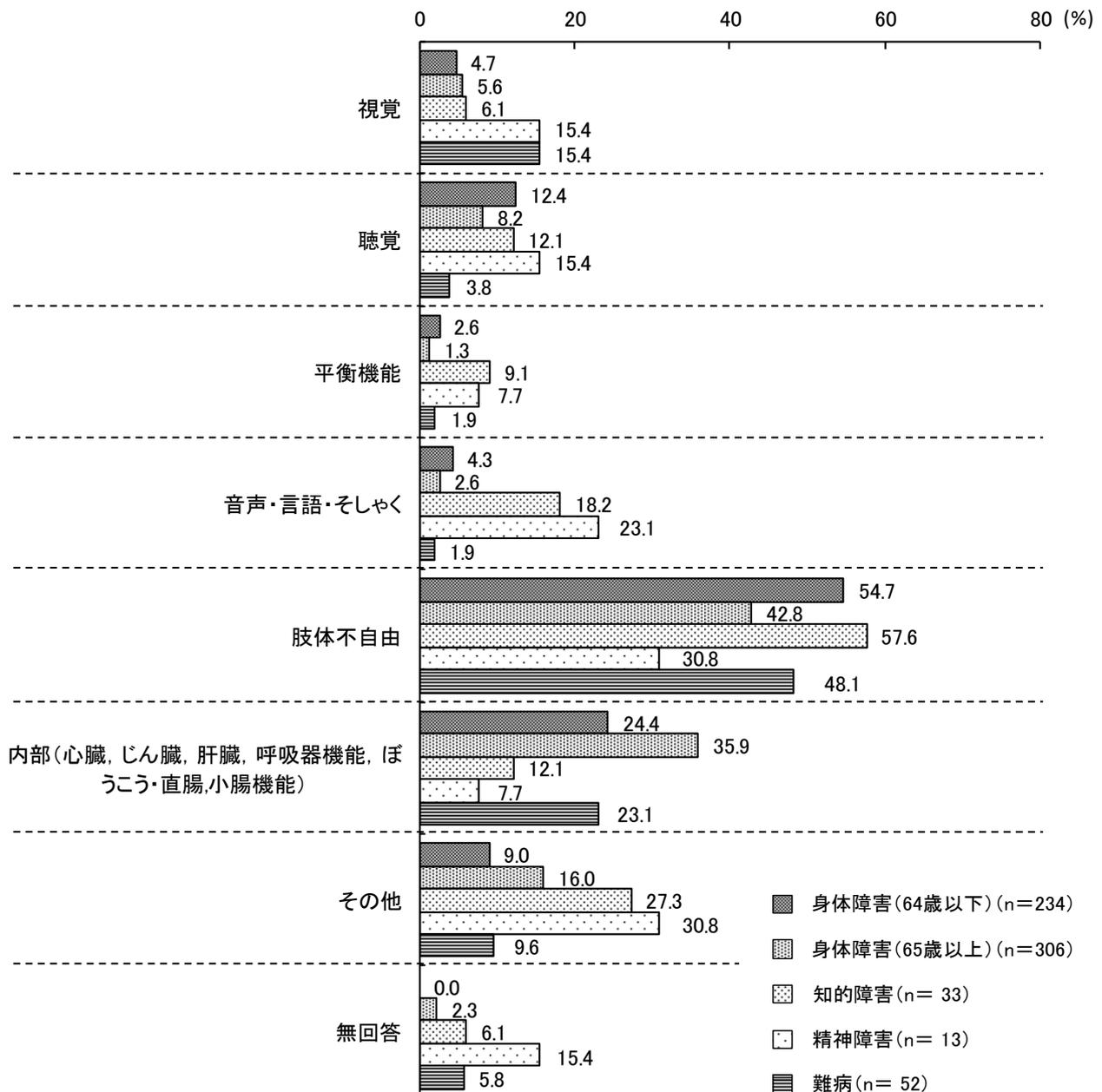
問8-1 問8で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。障害の部位はどれですか。(いくつでも○)

また、○をしたもののうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

- 身体障害者手帳を持っていると答えた方に**障害の部位**をたずねたところ、身体障害 (64歳以下)、身体障害 (65歳以上) とともに「肢体不自由」が最も多く、割合はそれぞれ 54.7%、42.8%となっている。
- **主な障害の部位**も身体障害 (64歳以下)、身体障害 (65歳以上) とともに「肢体不自由」が最も多くなっている。

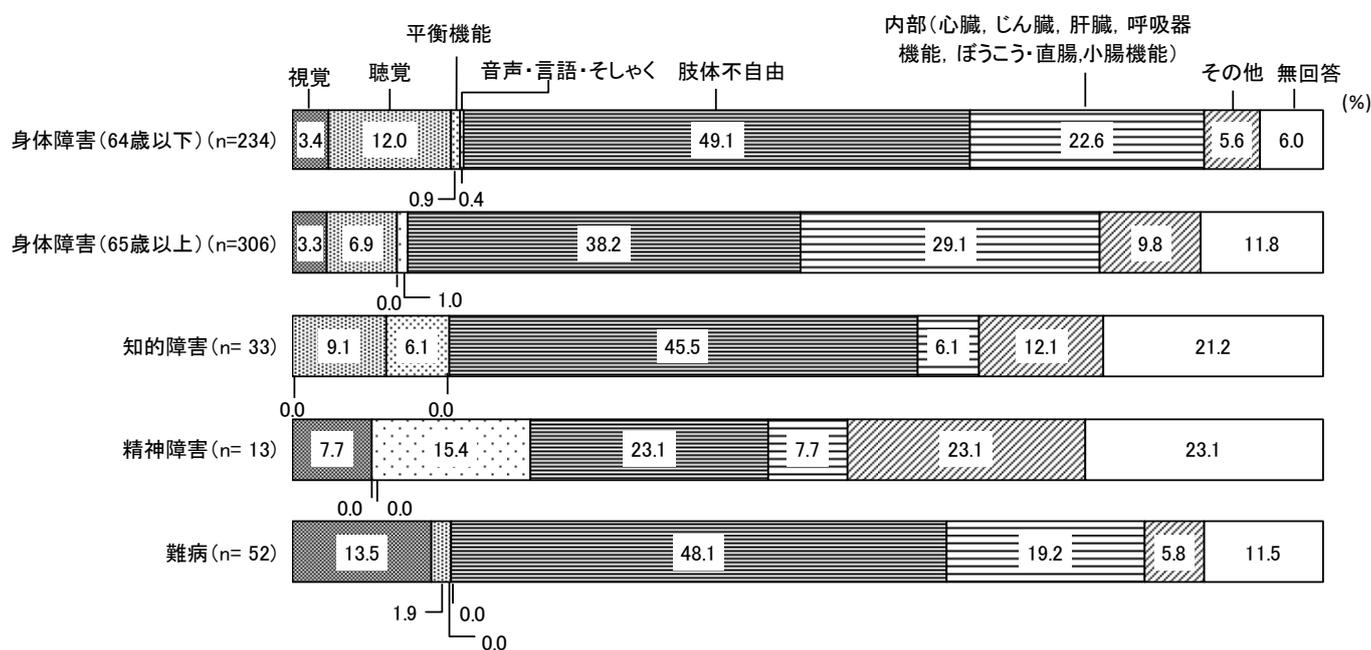
図表 4-29 障害の部位 (全体：複数回答)

<身体障害者手帳を持っている人>



図表 4-30 障害の部位 (主な障害) (全体)

<身体障害者手帳を持っている人>



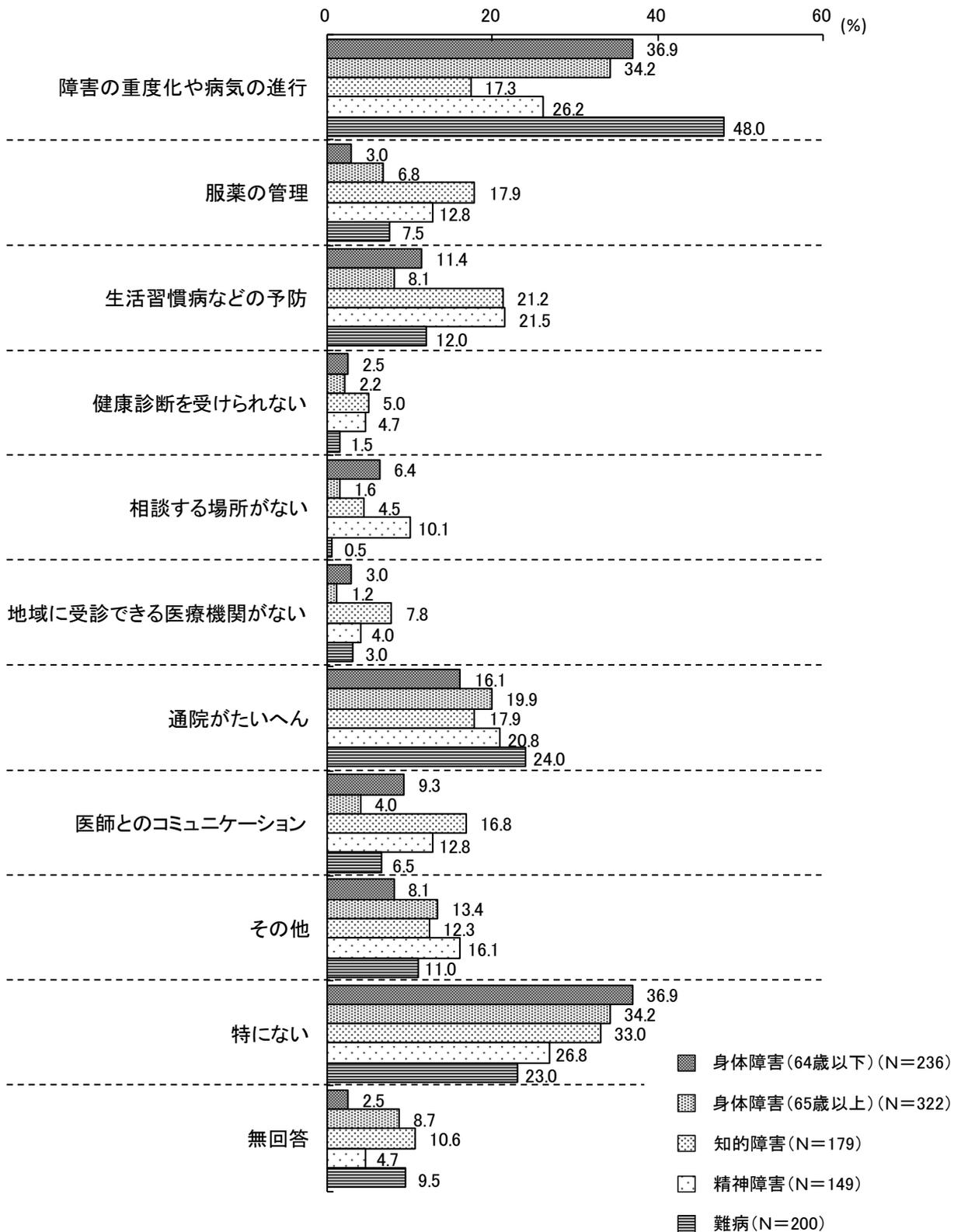
(3) 健康や医療について困っていること (問9)

問9 あなたは、ご自分の健康や医療などについて困っていることや不安なことはありますか。(いくつでも○)

- 健康や医療について困っていることは、身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 精神障害, 難病ともに「障害の重度化や病気の進行」が最も多く, 割合はそれぞれ 36.9%, 34.2%, 26.2%, 48.0%となっている。知的障害は「生活習慣病などの予防 (21.2%)」が最も多くなっている。
- そして, 身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 難病ともに「通院がたいへん」が続いており, 割合はそれぞれ 16.1%, 19.9%, 24.0%となっている。知的障害は「服薬の管理 (17.9%)」と「通院がたいへん (17.9%)」が同率で続いている。精神障害は「生活習慣病などの予防 (21.5%)」が続いている。

II アンケート調査の結果

図表 4-31 健康や医療について困っていること（全体：複数回答）



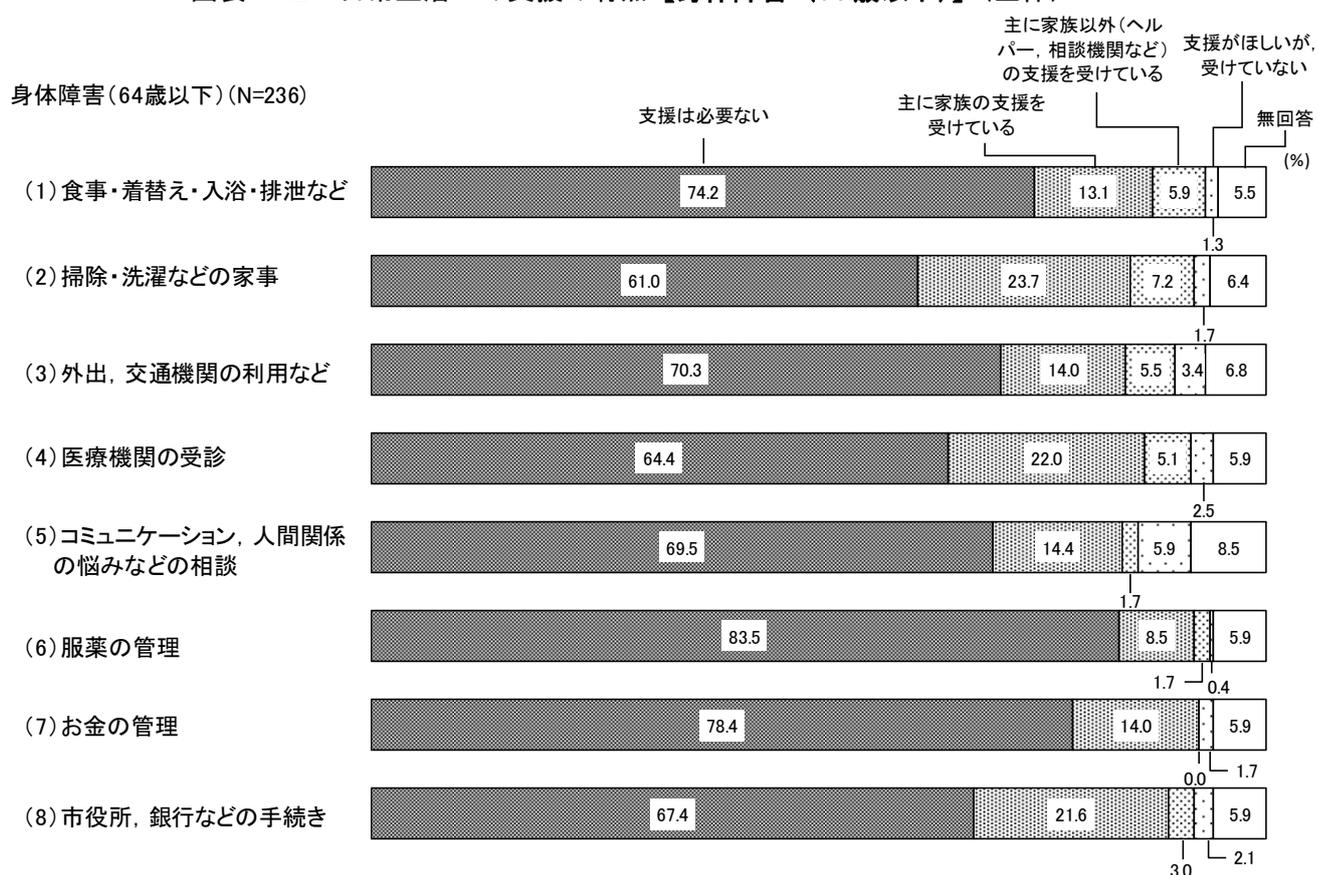
（4）日常生活への支援の有無（問10）

問10 あなたは現在、家族、ヘルパーなどによる支援を受けていますか。

（1）～（8）について、それぞれ1つに○をつけてください。

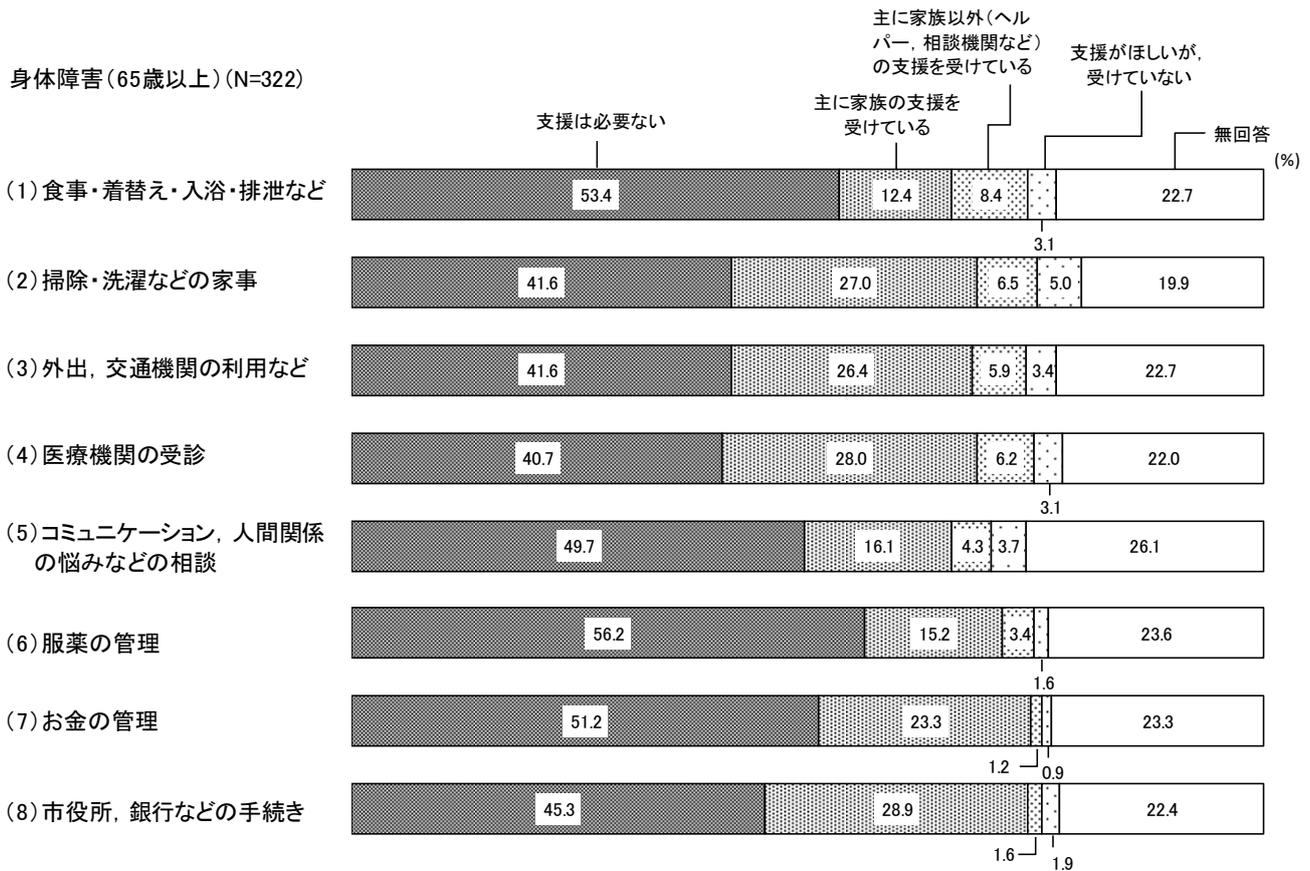
- 日常生活の8項目について家族、ヘルパーなどによる支援の有無をたずねた。
- **身体障害（64歳以下）**は、「主に家族の支援を受けている」、「主に家族以外（ヘルパー、相談機関など）の支援を受けている」を合わせた《支援を受けている》の割合は、『掃除、洗濯などの家事（30.9%）』が最も高く、『医療機関の受診（27.1%）』、『市役所、銀行などでの手続き（24.6%）』が続いている。
- **身体障害（65歳以上）**は、《支援を受けている》の割合は、『医療機関の受診（34.2%）』が最も高く、『掃除、洗濯などの家事（33.5%）』、『外出、交通機関の利用など（32.3%）』が続いている。
- **知的障害**は、《支援を受けている》の割合は、『市役所、銀行などでの手続き（79.3%）』が最も高く、『お金の管理（73.7%）』、『掃除、洗濯などの家事（69.8%）』が続いている。
- **精神障害**は、《支援を受けている》の割合は、『コミュニケーション、人間関係の悩みなどの相談（40.3%）』が最も高く、『掃除、洗濯などの家事（39.0%）』、『市役所、銀行などでの手続き（32.2%）』が続いている。
- **難病**は、《支援を受けている》の割合は、『医療機関の受診（25.0%）』が最も高く、『外出、交通機関の利用など（24.5%）』、『掃除、洗濯などの家事（24.0%）』が続いている。

図表 4-32 日常生活への支援の有無【身体障害（64歳以下）】（全体）

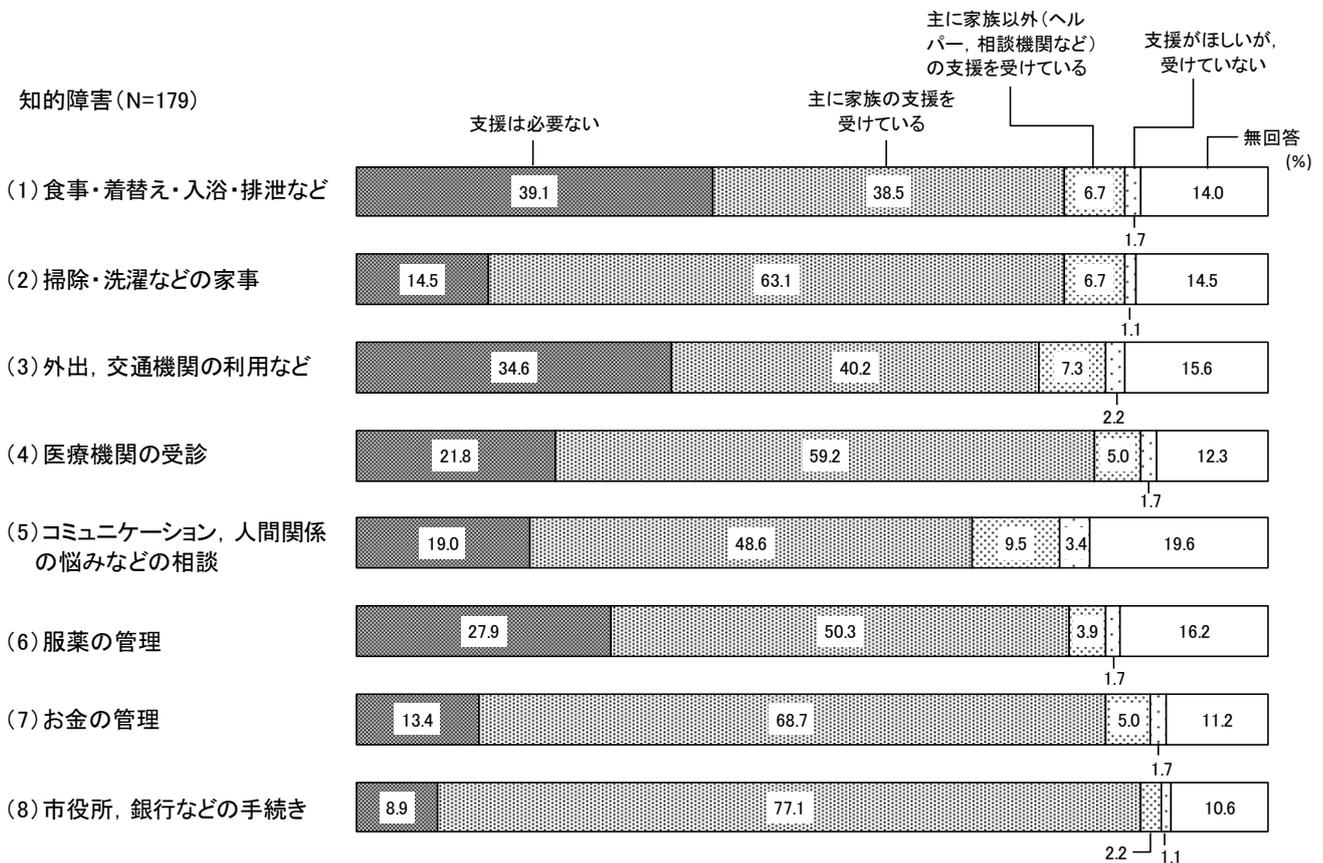


II アンケート調査の結果

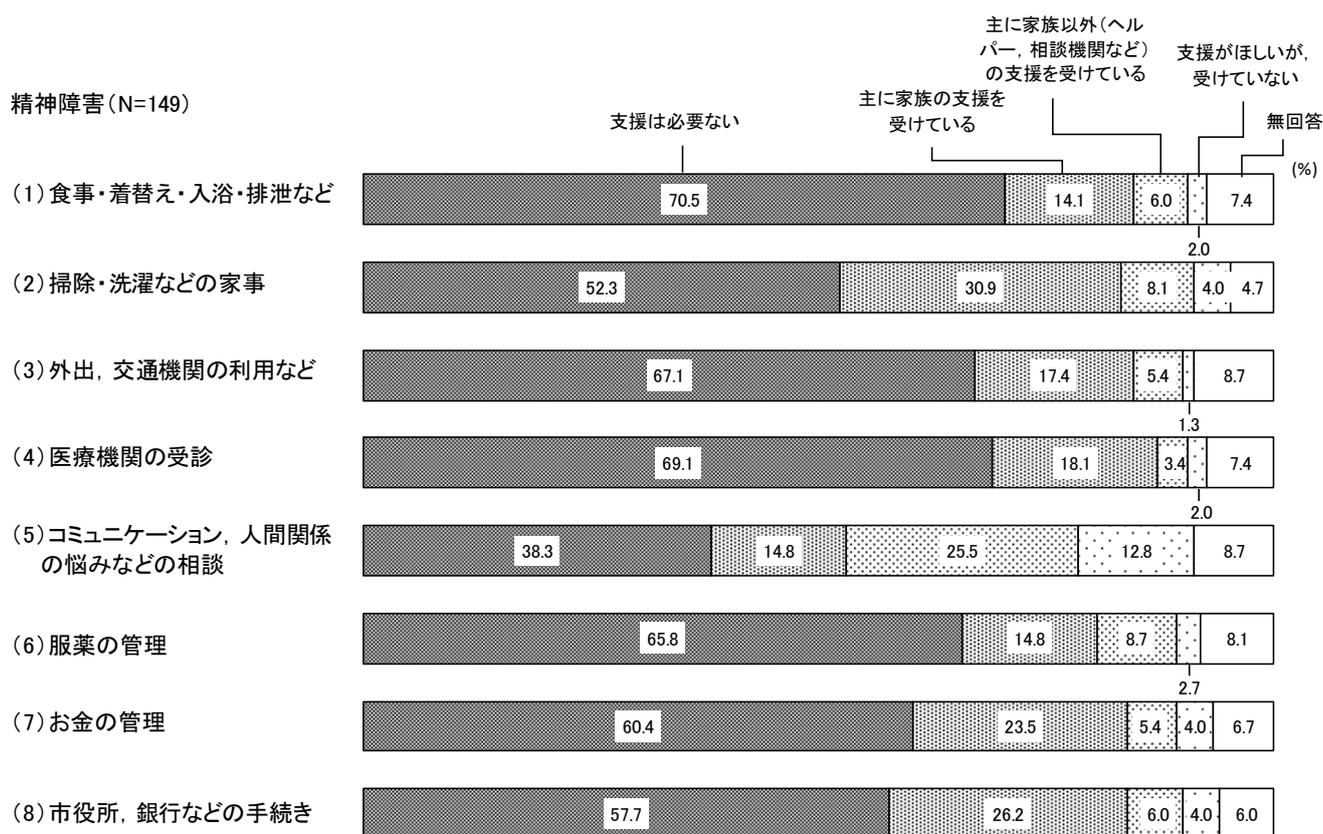
図表 4-33 日常生活への支援の有無【身体障害（65歳以上）】（全体）



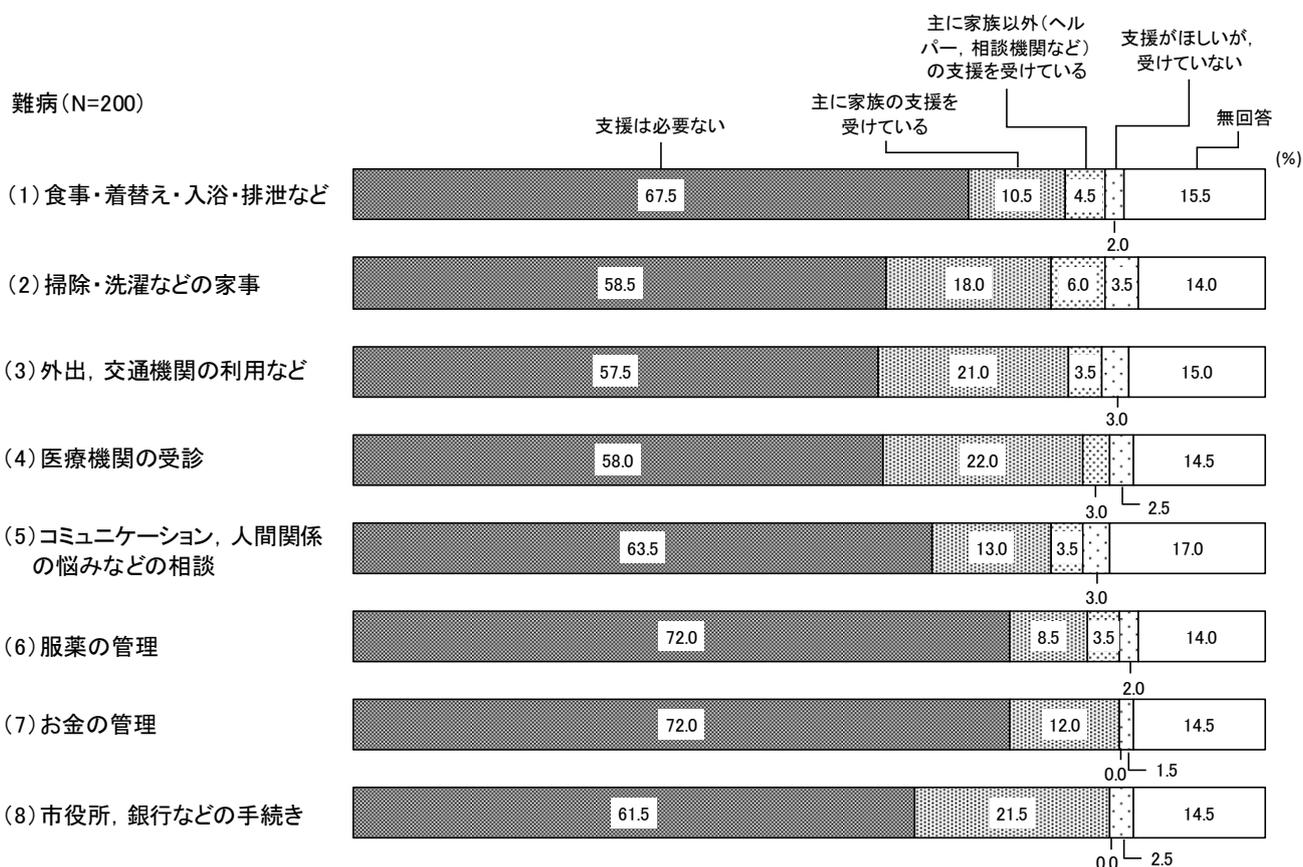
図表 4-34 日常生活への支援の有無【知的障害】（全体）



図表 4-35 日常生活への支援の有無【精神障害】（全体）



図表 4-36 日常生活への支援の有無【難病】（全体）

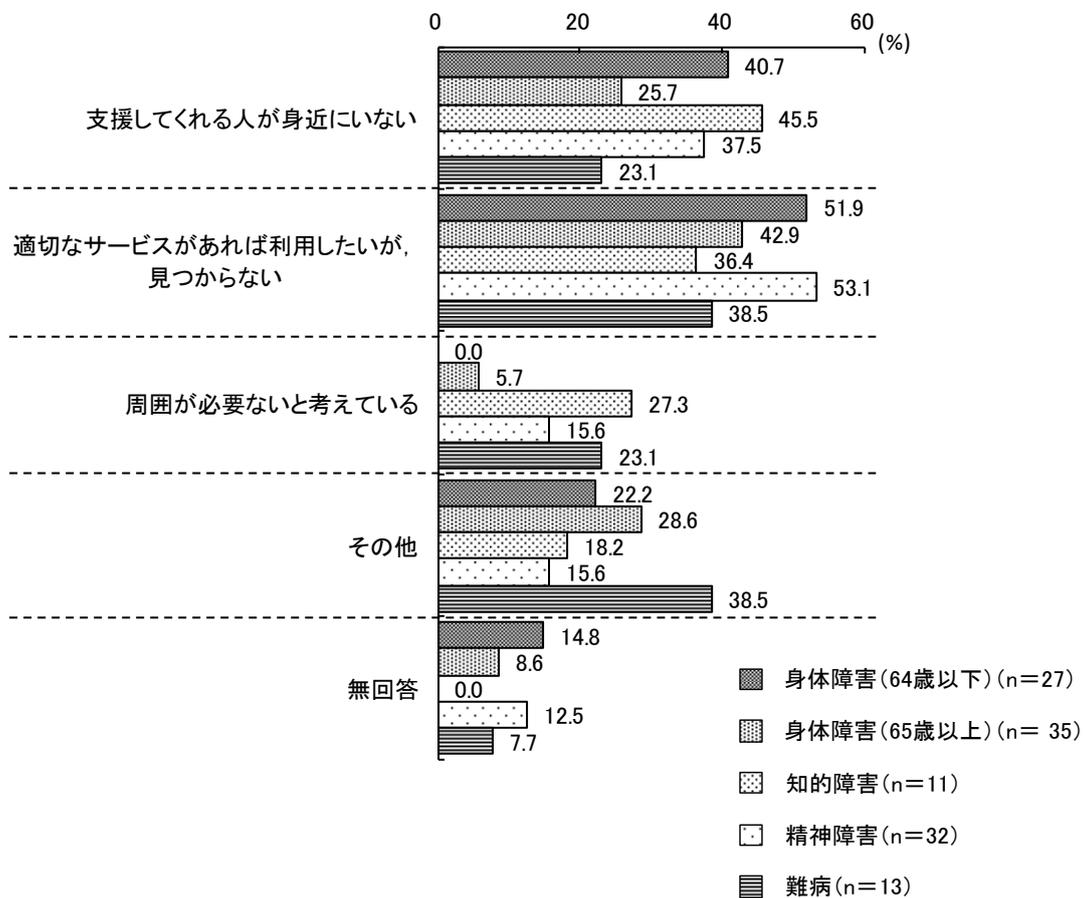


(5) 支援を受けていない理由 (問 10-1)

問 10-1 問 10 で「支援がほしいが、受けていない」と答えた方におたずねします。支援を受けていない理由はどのようなことですか。(いくつでも○)

- 問 10 で「支援がほしいが受けていない」と答えた人にその理由をたずねた。
- 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 精神障害, 難病ともに「適切なサービスがあれば利用したいが, 見つからない」が最も多く, 割合はそれぞれ 51.9%, 42.9%, 53.1%, 38.5%となっている。知的障害は「支援してくれる人が身近にいない (45.5%)」が最も多くなっている。

図表 4-37 支援を受けていない理由 (全体: 複数回答)
 <「支援がほしいが, 受けていない」と回答した人>



（6）主な介護者の続柄・性別・年齢（問11）

問11 あなたを主に介護や支援をしているご家族はどなたですか。あて名のご本人からみた続柄で回答してください。（1つに○）
また、○をつけた方の性別にも○をつけて、年齢をご記入ください。

- **身体障害（64歳以下）**の主な介護者は「配偶者（28.0%）」が最も多く、配偶者の性別は、「男性」が40.9%、「女性」が53.0%、平均年齢は56.7歳である。
- **身体障害（65歳以上）**の主な介護者は「配偶者（37.6%）」が最も多く、配偶者の性別は、「男性」が37.2%、「女性」が58.7%、平均年齢は74.7歳である。
- **知的障害**の主な介護者は「親（76.0%）」が最も多く、親の性別は、「男性」が7.4%、「女性」が77.2%、平均年齢は62.2歳である。
- **精神障害**の主な介護者は「親（40.9%）」が最も多く、親の性別は、「男性」が19.7%、「女性」が60.7%、平均年齢は68.9歳である。
- **難病**の主な介護者は「配偶者（38.5%）」が最も多く、配偶者の性別は、「男性」が55.8%、「女性」が37.7%、平均年齢は64.6歳である。

図表 4-38 主な介護者の続柄（全体）

	配偶者	親	子どもを含む（配偶者含む）	子ども（配偶者含む）	孫（配偶者含む）	兄弟姉妹	祖父母	族その他の親	いない	無回答
身体障害（64歳以下）（N=236）	28.0	17.4	4.2	0.0	4.2	0.4	0.4	33.5	11.9	
身体障害（65歳以上）（N=322）	37.6	0.3	26.7	0.0	2.2	0.0	1.2	16.5	15.5	
知的障害（N=179）	0.0	76.0	0.6	0.0	4.5	0.6	0.6	8.4	9.5	
精神障害（N=149）	10.7	40.9	1.3	0.0	4.7	0.7	0.7	30.9	10.1	
難病（N=200）	38.5	4.5	12.0	0.0	1.0	0.0	0.5	28.0	15.5	

図表 4-39 主な介護者の性別・平均年齢（全体）

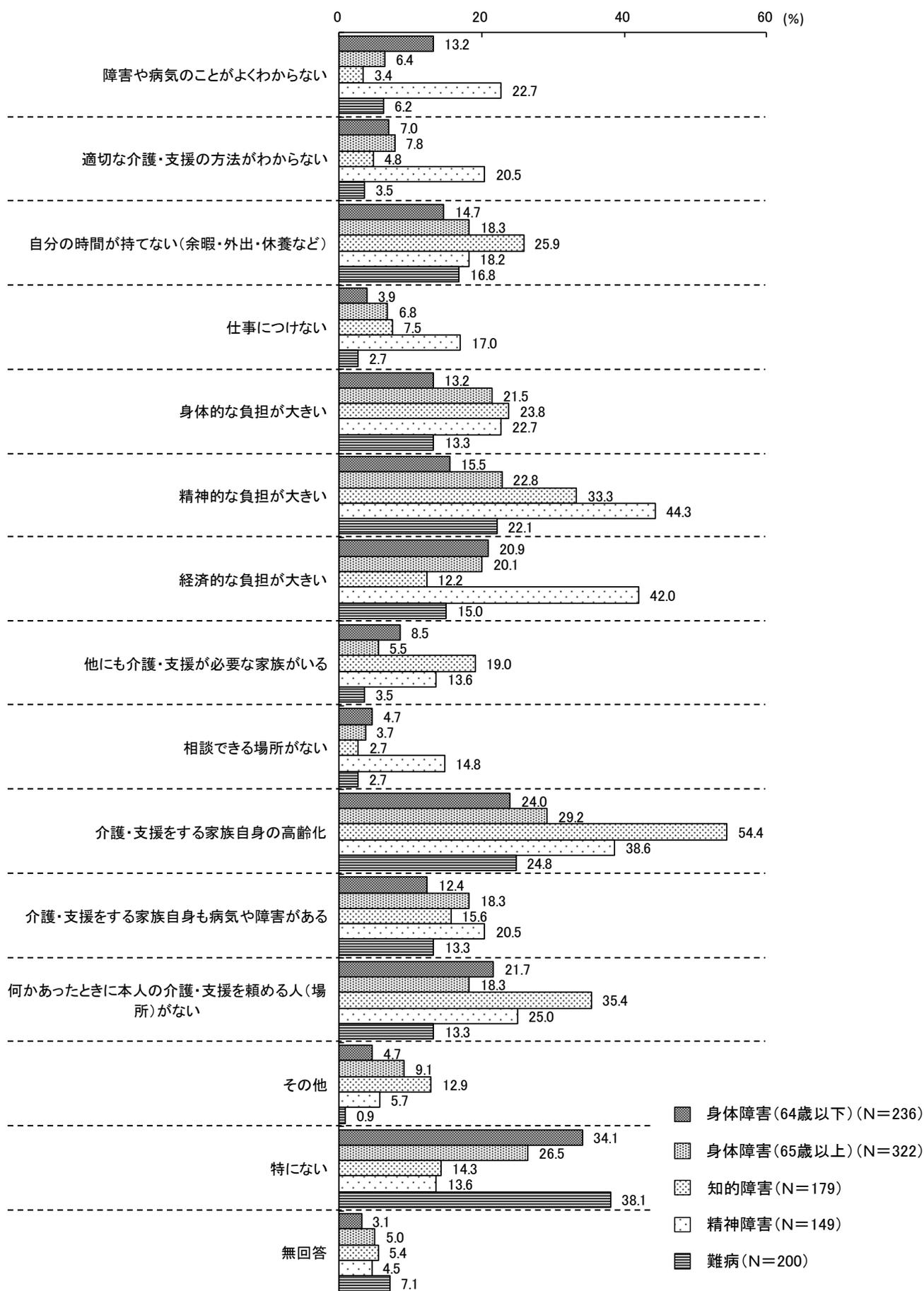
		性別			平均年齢
		男性	女性	無回答	
身体障害(64歳以下)	配偶者 (n= 66)	40.9	53.0	6.1	56.7
	親 (n= 41)	4.9	78.0	17.1	68.8
	子ども（子どもの配偶者を含む） (n= 10)	60.0	30.0	10.0	25.3
	孫（孫の配偶者を含む） (n= 0)	-	-	-	-
	兄弟姉妹 (n= 10)	30.0	70.0	0.0	57.0
	祖父母 (n= 1)	0.0	100.0	0.0	70.0
その他の親族 (n= 1)	100.0	0.0	0.0	47.0	
身体障害(65歳以上)	配偶者 (n=121)	37.2	58.7	4.1	74.7
	親 (n= 1)	0.0	0.0	100.0	87.0
	子ども（子どもの配偶者を含む） (n= 86)	31.4	58.1	10.5	52.2
	孫（孫の配偶者を含む） (n= 0)	-	-	-	-
	兄弟姉妹 (n= 7)	14.3	85.7	0.0	68.7
	祖父母 (n= 0)	-	-	-	-
その他の親族 (n= 4)	0.0	100.0	0.0	69.3	
知的障害	配偶者 (n= 0)	-	-	-	-
	親 (n=136)	7.4	77.2	15.4	62.2
	子ども（子どもの配偶者を含む） (n= 1)	100.0	0.0	0.0	46.0
	孫（孫の配偶者を含む） (n= 0)	-	-	-	-
	兄弟姉妹 (n= 8)	25.0	75.0	0.0	63.9
	祖父母 (n= 1)	0.0	100.0	0.0	80.0
その他の親族 (n= 1)	100.0	0.0	0.0	年齢不明	
精神障害	配偶者 (n= 16)	81.3	18.8	0.0	51.2
	親 (n= 61)	19.7	60.7	19.7	68.9
	子ども（子どもの配偶者を含む） (n= 2)	0.0	100.0	0.0	35.5
	孫（孫の配偶者を含む） (n= 0)	-	-	-	-
	兄弟姉妹 (n= 7)	85.7	14.3	0.0	60.0
	祖父母 (n= 1)	100.0	0.0	0.0	81.0
その他の親族 (n= 1)	100.0	0.0	0.0	年齢不明	
難病	配偶者 (n= 77)	55.8	37.7	6.5	64.6
	親 (n= 9)	22.2	66.7	11.1	66.8
	子ども（子どもの配偶者を含む） (n= 24)	16.7	75.0	8.3	47.3
	孫（孫の配偶者を含む） (n= 0)	-	-	-	-
	兄弟姉妹 (n= 2)	0.0	100.0	0.0	70.5
	祖父母 (n= 0)	-	-	-	-
その他の親族 (n= 1)	0.0	100.0	0.0	65.0	

(7) 主な介護者の不安や困りごと（問 11-1）

問 11-1 あなたを主に介護や支援をしているご家族は、介護にあたってどのような不安や困りごとがありますか。（いくつでも○）

- 主な介護者の不安や困りごとは、「特にない」を除き、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、難病ともに「介護・支援をする家族自身の高齢化」が最も多く、割合はそれぞれ、24.0%、29.2%、54.4%、24.8%となっている。精神障害では「精神的な負担が大きい」が最も多く、44.3%となっている。また、「特にない」の割合は、身体障害（64歳以下）と難病で3割を超えている。

図表 4-40 主な介護者の不安や困りごと (全体：複数回答)

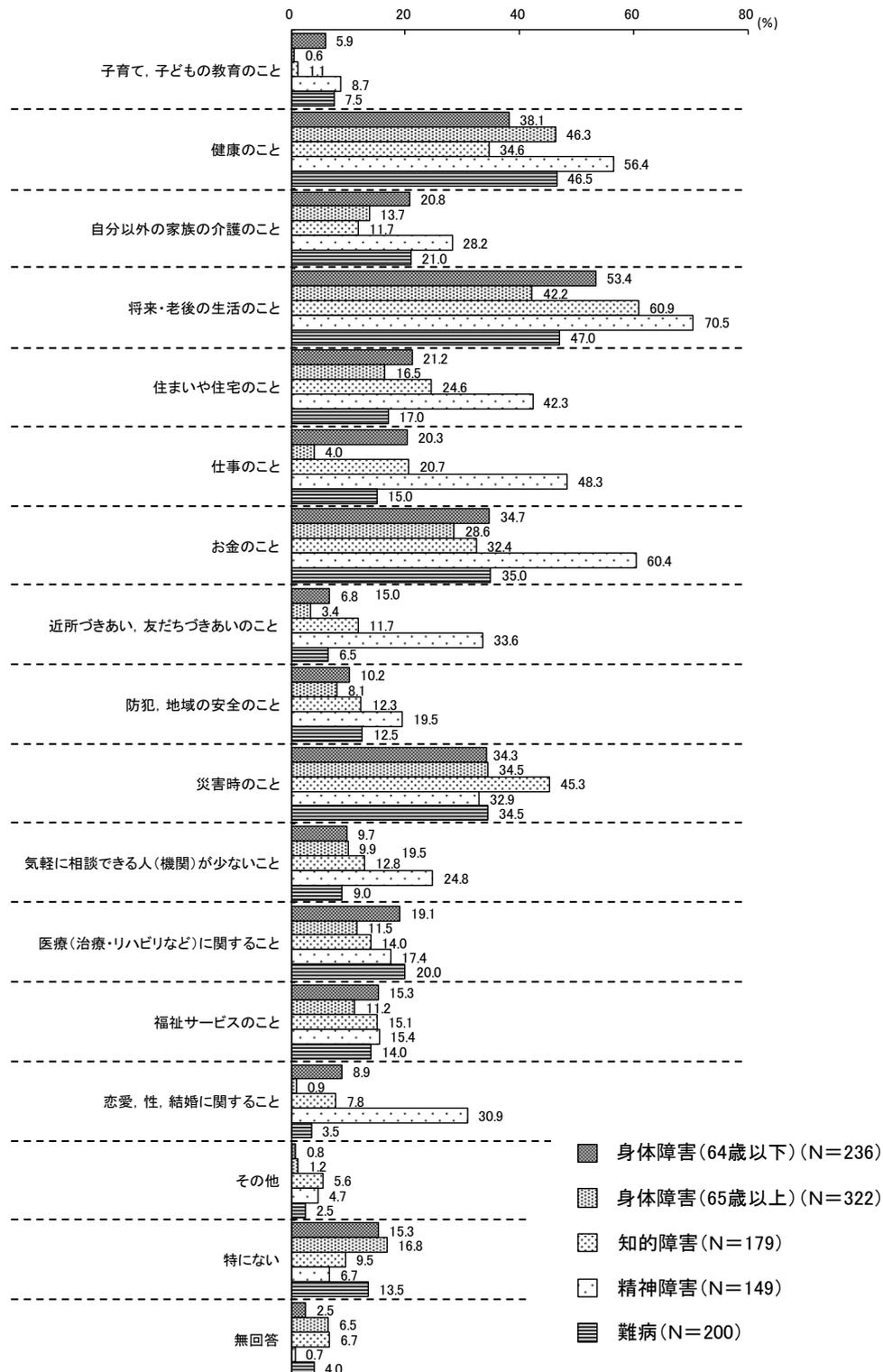


(8) 地域の暮らしの中での不安や課題 (問 12)

問 12 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題、心配に感じることがありますか。身近に感じる不安や課題をお答えください。(いくつでも○)

○ 身体障害 (64 歳以下)、知的障害、精神障害、難病ともに「将来・老後の生活のこと」が最も多く、その割合はそれぞれ 53.4%、60.9%、70.5%、47.0%となっている。身体障害 (65 歳以上) では「健康のこと (46.3%)」が最も多くなっている。

図表 4-41 地域の暮らしの中での不安や課題 (全体：複数回答)

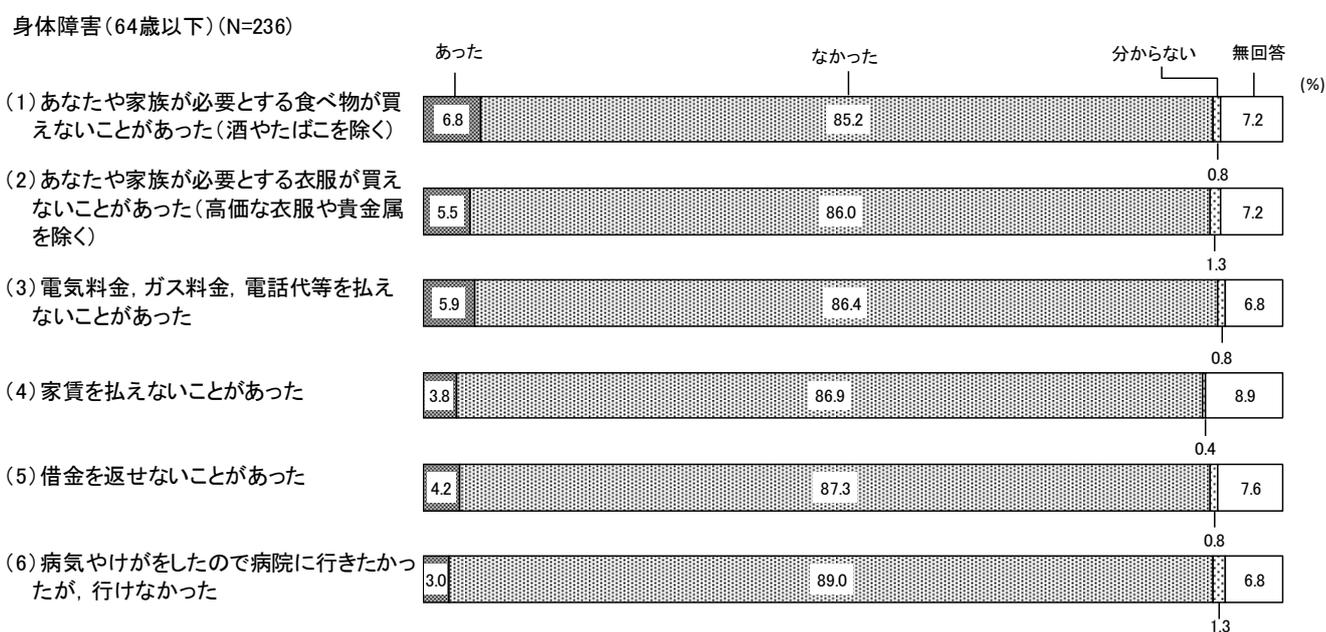


(9) 経済的な理由で困った経験の有無 (問13)

問13 あなたは、過去1年間の間に、お金がないという理由で次のような経験がありましたか。(1)～(6)について、それぞれ1つに○をつけてください。

- **身体障害 (64歳以下)** は「あった」の割合は、『あなたや家族が必要とする食べ物が買えないことがあった(酒やたばこを除く) (6.8%)』が最も高くなっている。
- **身体障害 (65歳以上)** は「あった」の割合は、『借金を返せないことがあった (4.3%)』が最も高くなっている。
- **知的障害** は「あった」の割合は、『あなたや家族が必要とする食べ物が買えないことがあった (酒やたばこを除く) (2.8%)』と『借金を返せないことがあった (2.8%)』が同率で最も高くなっている。
- **精神障害** は「あった」の割合は、『あなたや家族が必要とする衣服が買えないことがあった (高価な衣服や貴金属を除く) (14.8%)』が最も高くなっている。
- **難病** は「あった」の割合は、『あなたや家族が必要とする衣服が買えないことがあった (高価な衣服や貴金属を除く) (3.5%)』、『借金を返せないことがあった (3.5%)』が同率で最も高くなっている。

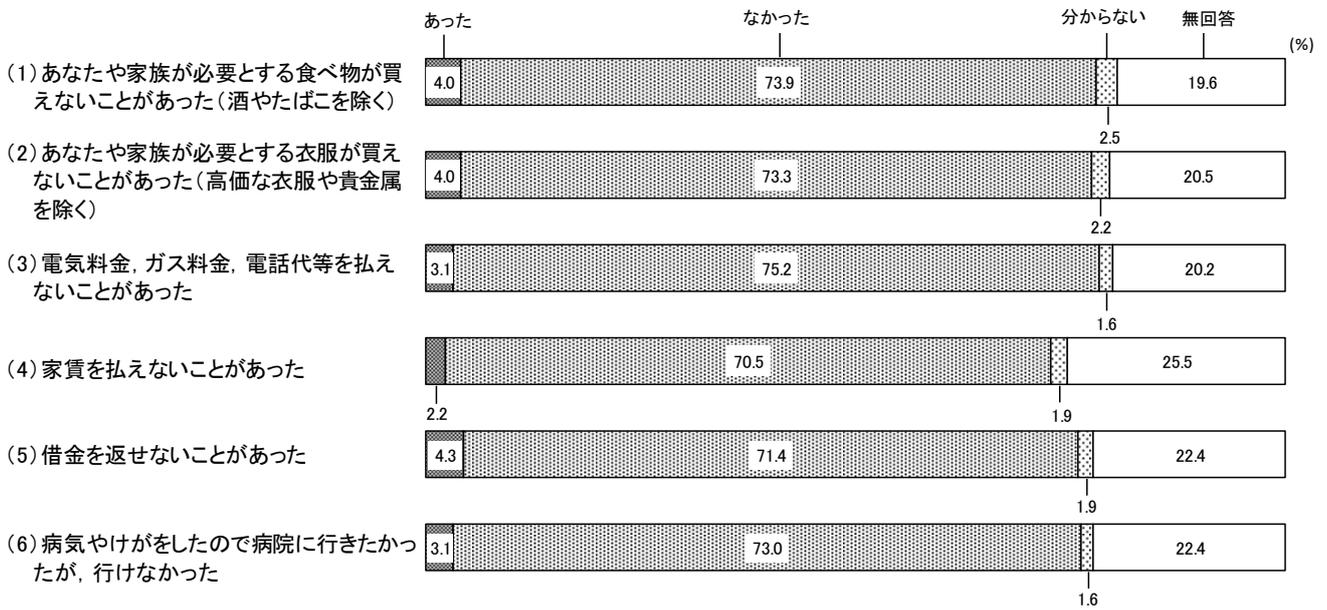
図表 4-42 経済的な理由で困った経験の有無【身体障害 (64歳以下)】(全体)



II アンケート調査の結果

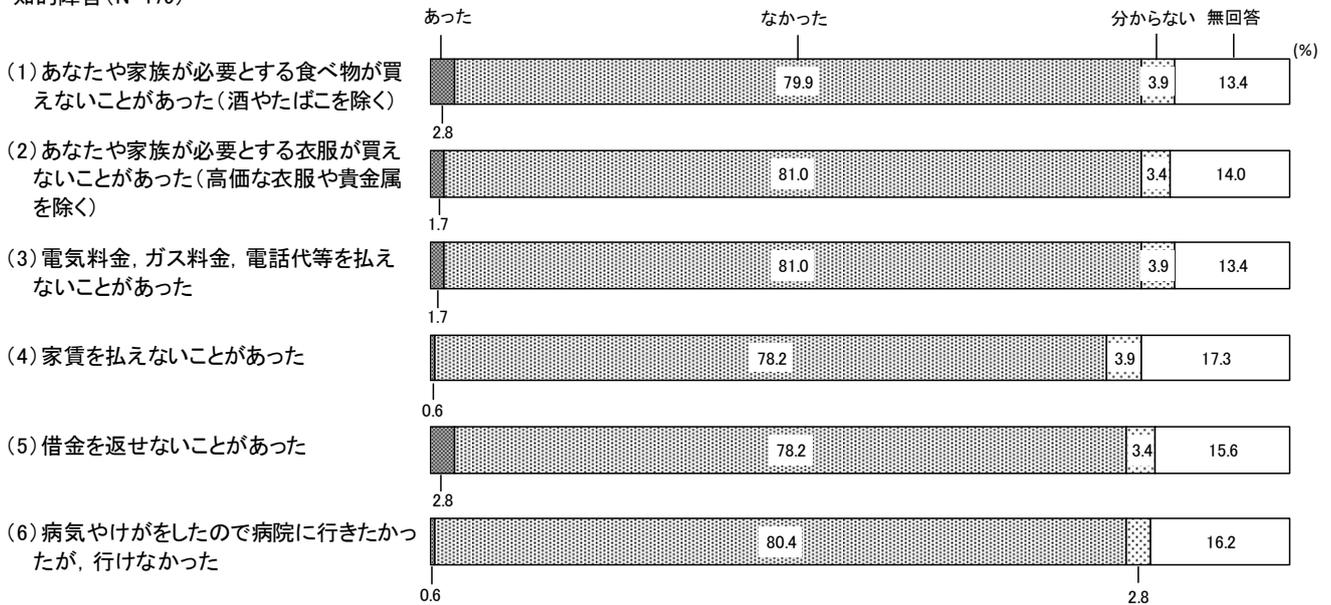
図表 4-43 経済的な理由で困った経験の有無【身体障害（65歳以上）】（全体）

身体障害（65歳以上）(N=322)



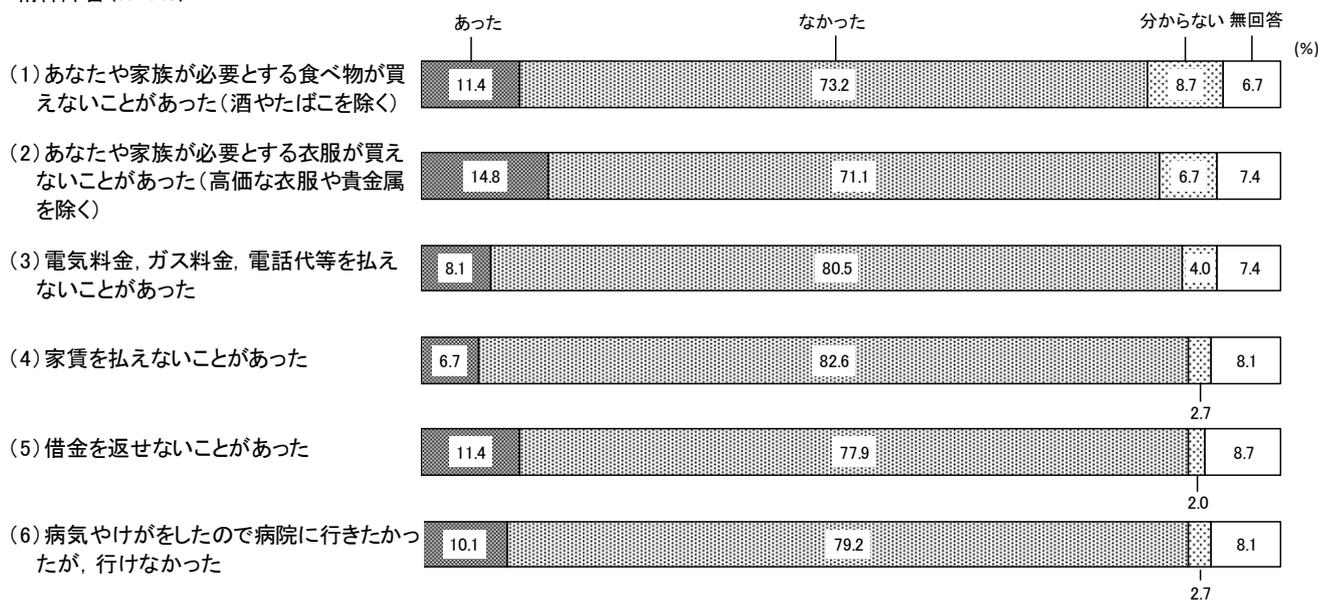
図表 4-44 経済的な理由で困った経験の有無【知的障害】（全体）

知的障害(N=179)



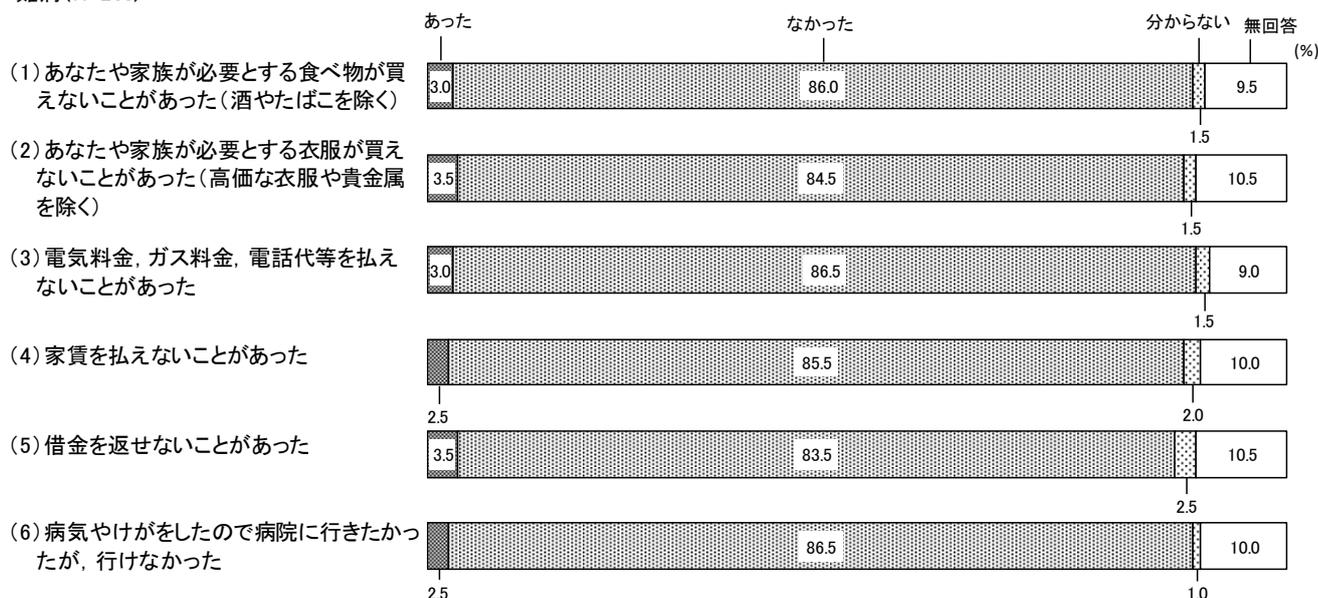
図表 4-45 経済的な理由で困った経験の有無【精神障害】（全体）

精神障害 (N=149)



図表 4-46 経済的な理由で困った経験の有無【難病】（全体）

難病 (N=200)



(10) 困ったときの身近な相談相手（問 14）

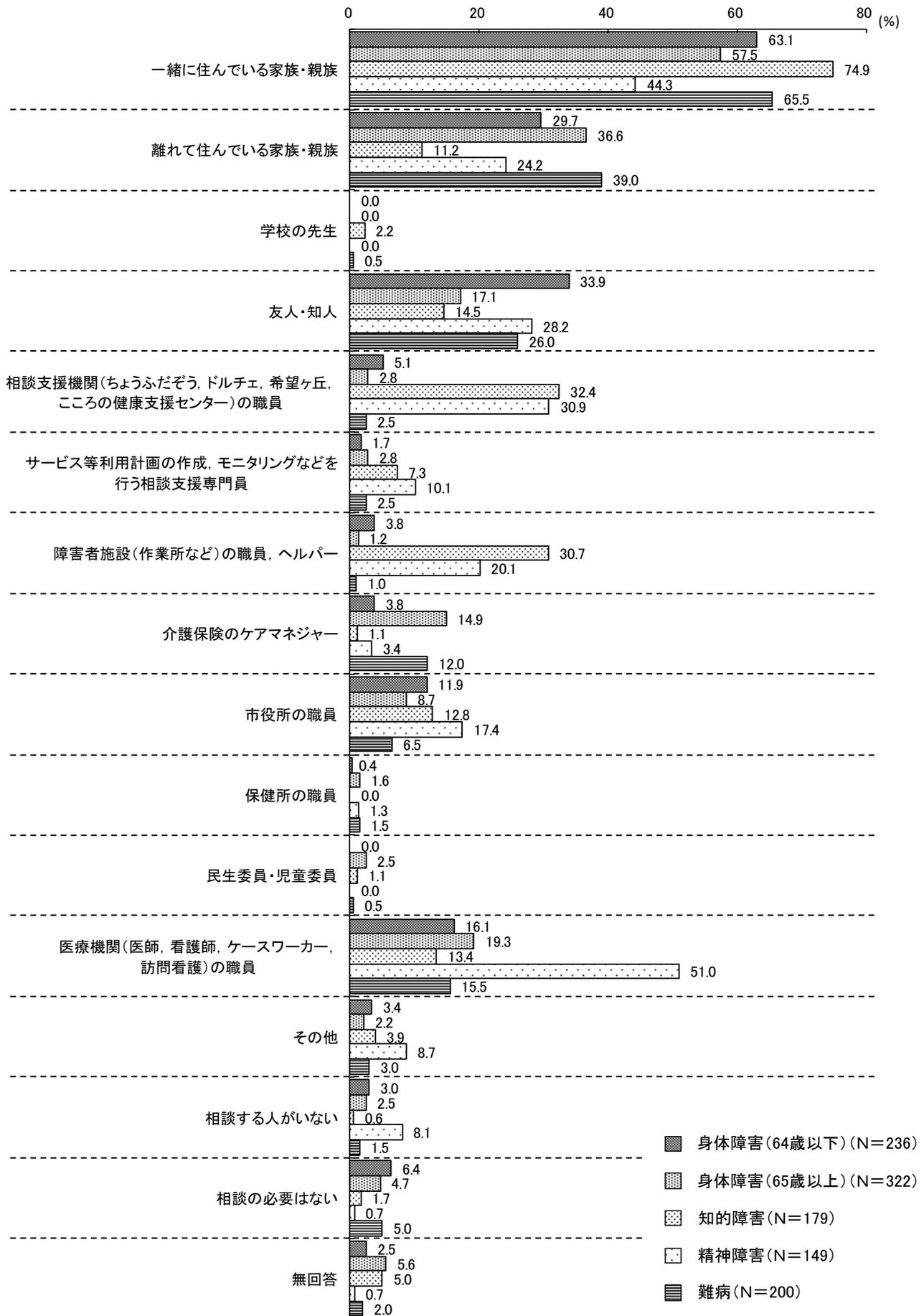
問 14 あなたは、悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。

（いくつでも○）

- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、難病ともに「一緒に住んでいる家族・親族」が最も多く、割合はそれぞれ 63.1%、57.5%、74.9%、65.5%となっている。精神障害では、「医療機関（医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護）の職員（51.0%）」が最も多くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 4-47 困ったときの身近な相談相手（全体：複数回答）



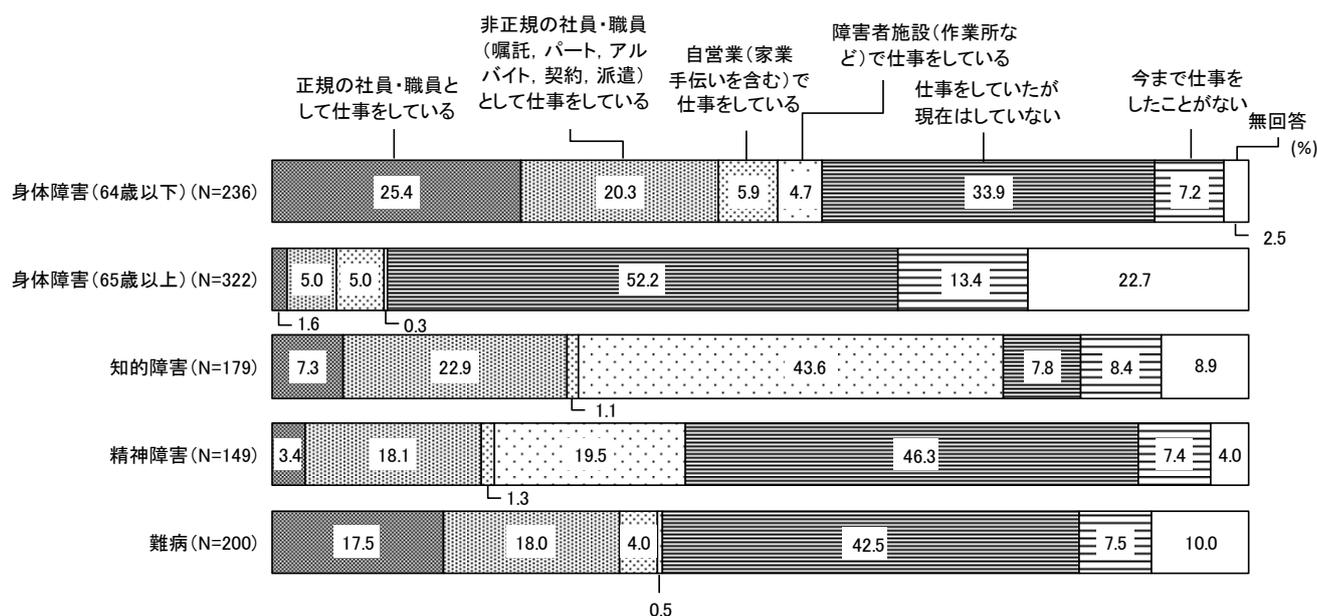
4 就労等の状況

(1) 就労形態 (問15)

問15 あなたは、現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

- **身体障害 (64歳以下)** は《仕事をしている》*の割合は56.3%であり、そのうち「正規の社員・職員として仕事をしている (25.4%)」が最も多くなっている。また、「仕事をしてきたが現在はしていない」は33.9%、「今まで仕事をしたことがない」は7.2%となっている。
- **身体障害 (65歳以上)** は「仕事をしてきたが現在はしていない (52.2%)」が最も多くなっている。《仕事をしている》の割合は11.9%、「今まで仕事をしたことがない」は13.4%となっている。
- **知的障害** は《仕事をしている》の割合は74.9%であり、そのうち「障害者施設 (作業所など) で仕事をしている (43.6%)」が最も多くなっている。また、「仕事をしてきたが現在はしていない」は7.8%、「今まで仕事をしたことがない」は8.4%となっている。
- **精神障害** は《仕事をしている》の割合は42.3%であり、そのうち「障害者施設 (作業所など) で仕事をしている (19.5%)」が最も多くなっている。また、「仕事をしてきたが現在はしていない」は46.3%、「今まで仕事をしたことがない」は7.4%となっている。
- **難病** は《仕事をしている》の割合は40.0%であり、そのうち「非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) として仕事をしている (18.0%)」が最も多くなっている。また、「仕事をしてきたが現在はしていない」は42.5%、「今まで仕事をしたことがない」は7.5%となっている。

図表4-48 就労形態 (全体)



* 《仕事をしている》: 「正規の社員・職員として仕事をしている」, 「非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) として仕事をしている」, 「自営業 (家業手伝いを含む) で仕事をしている」, 「障害者施設 (作業所など) で仕事をしている」の合計

II アンケート調査の結果

身体障害（64歳以下）

- 年代別にみると18歳～39歳は「正規の社員・職員として仕事をしている」が4割を超え、全体より高くなっており、「仕事をしていたが現在はしていない」が1割台と全体より低くとなっている。

図表 4-49 就労形態【身体障害（64歳以下）】

（全体、年代別、障害程度別）

		(%)						
		正 規 の 社 員 ・ 職 員 と し て	託 非 正 規 の 社 員 ・ 職 員 （ 合 同 契 約 、 派 遣 ） と し て	自 営 業 （ 家 業 手 伝 い を 含 む ） で し て	障 害 者 施 設 （ 作 業 所 な ど ） で し て	し て い な い が 現 在 は	な い 今 ま で し て い な い が 現 在 は	無 回 答
全	体 (N=236)	25.4	20.3	5.9	4.7	33.9	7.2	2.5
年 代 別	18歳～39歳 (n=41)	43.9	19.5	4.9	7.3	12.2	12.2	0.0
	40歳～64歳 (n=178)	21.3	21.9	5.6	4.5	39.3	6.7	0.6
程 度 別	1級 (n=78)	16.7	16.7	10.3	6.4	34.6	12.8	2.6
	2級 (n=43)	25.6	18.6	2.3	4.7	37.2	4.7	7.0
	3級 (n=24)	29.2	16.7	4.2	0.0	37.5	8.3	4.2
	4級 (n=55)	32.7	27.3	3.6	3.6	29.1	3.6	0.0
	5級 (n=13)	23.1	23.1	15.4	0.0	38.5	0.0	0.0
	6級 (n=15)	33.3	20.0	0.0	6.7	33.3	6.7	0.0

身体障害（65歳以上）

- 年代別、障害程度別にみると、すべての年代、すべての等級で「仕事をしていたが現在はしていない」が最も多くなっている。

図表 4-50 就労形態【身体障害（65歳以上）】

（全体、年代別、障害程度別）

		(%)						
		正 規 の 社 員 ・ 職 員 と し て	託 非 正 規 の 社 員 ・ 職 員 （ 合 同 契 約 、 派 遣 ） と し て	自 営 業 （ 家 業 手 伝 い を 含 む ） で し て	障 害 者 施 設 （ 作 業 所 な ど ） で し て	し て い な い が 現 在 は	な い 今 ま で し て い な い が 現 在 は	無 回 答
全	体 (N=322)	1.6	5.0	5.0	0.3	52.2	13.4	22.7
年 代 別	65歳～74歳 (n=105)	1.0	8.6	7.6	1.0	56.2	10.5	15.2
	75歳～84歳 (n=120)	1.7	5.0	2.5	0.0	48.3	15.0	27.5
	85歳以上 (n=61)	0.0	0.0	8.2	0.0	47.5	16.4	27.9
程 度 別	1級 (n=78)	1.3	6.4	2.6	0.0	52.6	16.7	20.5
	2級 (n=36)	0.0	0.0	5.6	2.8	50.0	13.9	27.8
	3級 (n=51)	2.0	7.8	3.9	0.0	47.1	11.8	27.5
	4級 (n=92)	3.3	5.4	7.6	0.0	54.3	13.0	16.3
	5級 (n=17)	0.0	11.8	5.9	0.0	58.8	5.9	17.6
	6級 (n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3

知的障害

- 年代別にみると、年代があがるにつれ、「正規の社員・職員として仕事をしている」と「非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣）として仕事をしている」の割合が低くなっている。
- 障害程度別では2度と3度では「障害者施設（作業所など）で仕事をしている」の割合が7割を超え、4度では「非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣）として仕事をしている」が4割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-51 就労形態【知的障害】
(全体, 年代別, 障害程度別)

		(%)						
		正規の社員・職員として	非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト、派遣）として	自営業（家庭手伝を含む）	障害者施設（作業所など）で仕事をしている	仕事をしていないが現在は	今まで仕事をしたことが	無回答
全体	(N=179)	7.3	22.9	1.1	43.6	7.8	8.4	8.9
年代別	18歳～39歳 (n=102)	7.8	25.5	1.0	43.1	8.8	8.8	4.9
	40歳～64歳 (n= 57)	5.3	22.8	1.8	45.6	5.3	7.0	12.3
	65歳以上 (n= 10)	0.0	10.0	0.0	40.0	10.0	0.0	40.0
障害程度別	1度 (n= 11)	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	63.6	9.1
	2度 (n= 43)	0.0	2.3	0.0	76.7	4.7	9.3	7.0
	3度 (n= 31)	9.7	6.5	0.0	71.0	3.2	3.2	6.5
	4度 (n= 78)	12.8	44.9	1.3	20.5	10.3	2.6	7.7

精神障害

- 障害程度別にみると、2級では「障害者施設（作業所など）で仕事をしている（24.7%）」が全体より5.2ポイント、3級では「非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣）として仕事をしている（28.9%）」が全体より10.8ポイント高くなっている。

図表 4-52 就労形態【精神障害】
(全体, 年代別, 障害程度別)

		(%)						
		正規の社員・職員として	非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト、派遣）として	自営業（家庭手伝を含む）	障害者施設（作業所など）で仕事をしている	仕事をしていないが現在は	今まで仕事をしたことが	無回答
全体	(N=149)	3.4	18.1	1.3	19.5	46.3	7.4	4.0
年代別	18歳～39歳 (n= 39)	5.1	12.8	5.1	20.5	41.0	12.8	2.6
	40歳～64歳 (n= 93)	3.2	22.6	0.0	22.6	45.2	3.2	3.2
	65歳以上 (n= 10)	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	20.0	10.0
障害程度別	1級 (n= 5)	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
	2級 (n= 73)	2.7	17.8	1.4	24.7	42.5	6.8	4.1
	3級 (n= 45)	4.4	28.9	2.2	13.3	46.7	2.2	2.2

難病

○ 年代別にみると、18歳～39歳は「正規の社員・職員として仕事をしている（52.6%）」が、40歳～64歳は「非正規の社員・職員（嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣）として仕事をしている（32.0%）」が最も多くなっている。一方、65歳以上は、「仕事をしていたが現在はしていない（59.8%）」が全体より17.3ポイント高くなっている。

図表 4-53 就労形態【難病】

（全体，年代別）

		（%）							
		て正 仕規 事の 社し 員・ 職員 とし	とバ しイ てト 仕事 をし てい る	（非 嘱託 の社 員・ 職員 アル	る含 む） 自 営業 で（ 家事 業を し手 伝い を	ど） 障 害者 施設 を（ 作業 所な	は仕 事を してい ない が現 在	が今 まで 仕事を したこ と	無 回 答
全	体	(N=200)	17.5	18.0	4.0	0.5	42.5	7.5	10.0
年 代 別	18歳～39歳	(n= 19)	52.6	21.1	0.0	0.0	26.3	0.0	0.0
	40歳～64歳	(n= 75)	26.7	32.0	8.0	0.0	26.7	5.3	1.3
	65歳以上	(n= 97)	3.1	6.2	2.1	0.0	59.8	10.3	18.6

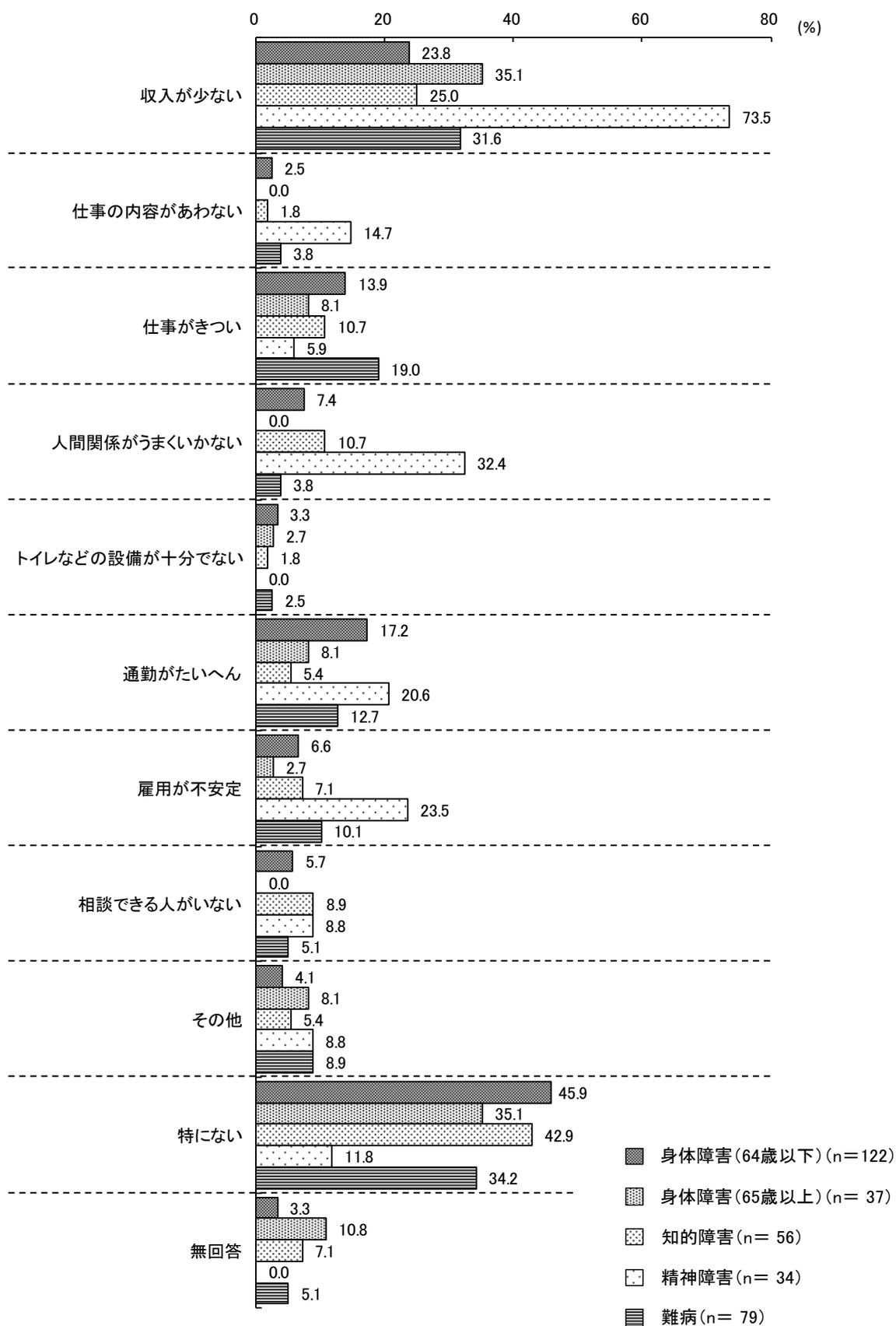
（2）仕事をする上での不安（問 15-1）

問 15-1 仕事をする上で不安がありますか。（いくつでも○）

- 収入を伴う仕事をしていると回答した人に、仕事をする上での不安をたずねた。
- 「特にない」を除くと、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「収入が少ない」が最も多く、割合はそれぞれ23.8%、35.1%、25.0%、73.5%、31.6%となっている。「特にない」の割合は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、難病で3～4割となっている。
- そして、身体障害（64歳以下）は「通勤がたいへん（17.2%）」、身体障害（65歳以上）は「仕事がきつい（8.1%）」、「通勤がたいへん（8.1%）」、「その他（8.1%）」、知的障害は「仕事がきつい（10.7%）」、「人間関係がうまくいかない（10.7%）」、精神障害は「人間関係がうまくいかない（32.4%）」、難病は「仕事がきつい（19.0%）」が続いている。

図表 4-54 仕事をする上での不安（全体：複数回答）

<収入を伴う仕事をしている人>

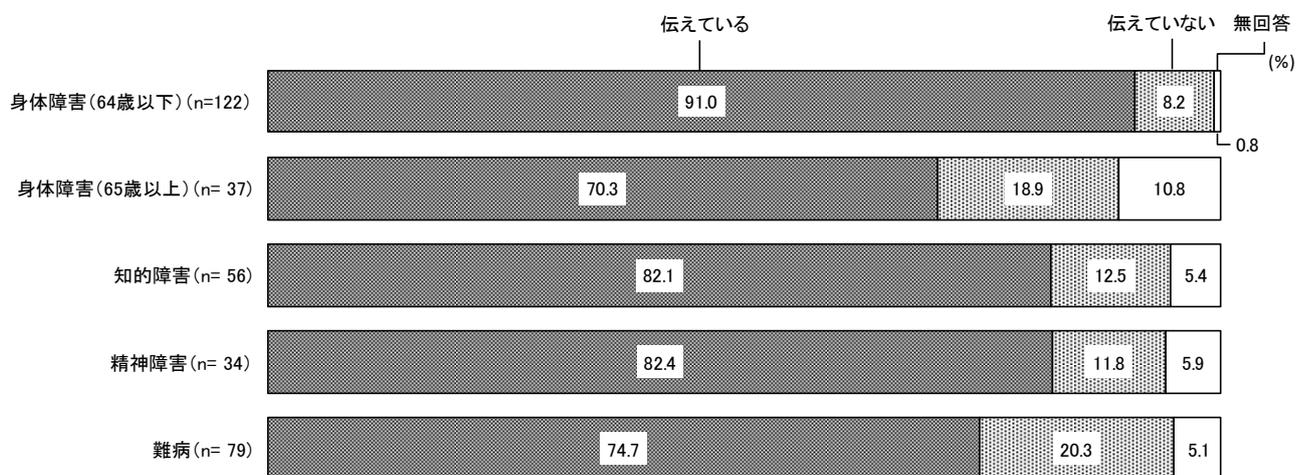


(3) 勤務先への障害・病気のあることの伝達 (問 15-2)

問 15-2 あなたは、勤務先に自分の障害、病気などについて伝えてありますか。(1つに○)

- 収入を伴う仕事をしていると回答した人に勤務先への障害・病気のあることを伝えているかたずねた。
- 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 知的障害, 精神障害, 難病ともに「伝えている」がそれぞれ 91.0%, 70.3%, 82.1%, 82.4%, 74.7%となっている。

図表 4-55 勤務先への障害・病気のあることの伝達 (全体)
 <収入を伴う仕事をしている人>

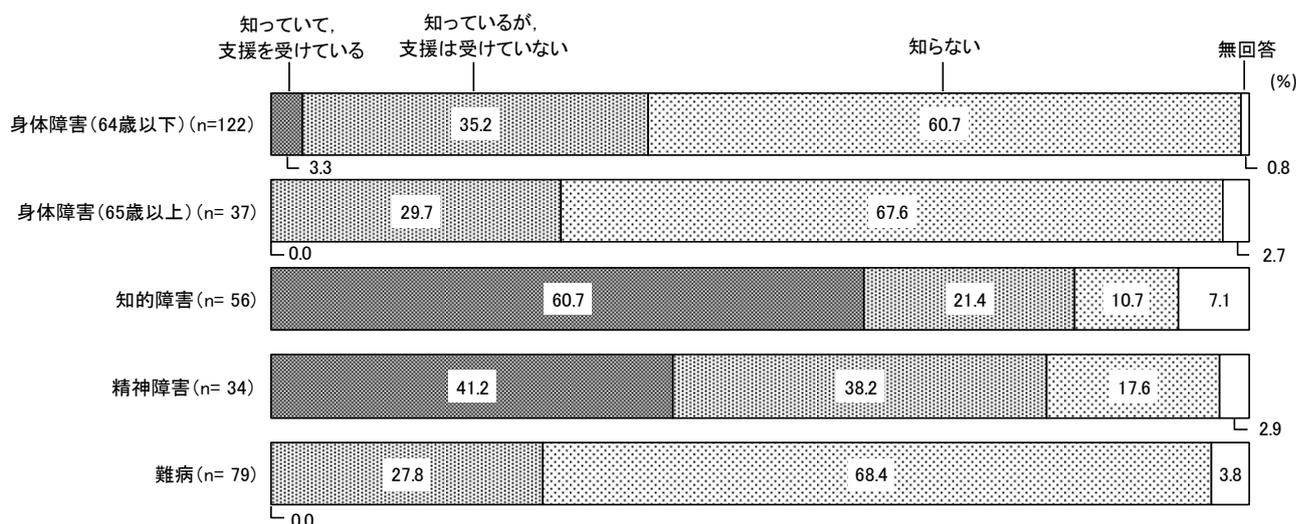


（4）「障害者就労支援センター」の認知状況（問 15-3）

問 15-3 あなたは、障害者の就労を支援する「障害者就労支援センター」（ちょうふだぞう、こころの健康支援センター就労支援室ライズ）を知っていますか、また、支援を受けていますか。（1つに○）

- 収入を伴う仕事をしていると回答した人の「障害者就労支援センター」の認知度をたずねた。
- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、難病ともに「知らない」が最も多く、6割を超えている。
- 知的障害と精神障害は「知っていて、支援を受けている」が最も多く、割合はそれぞれ60.7%、41.2%となっている。

図表 4-56 「障害者就労支援センター」の認知状況（全体）
 <収入を伴う仕事をしている人>

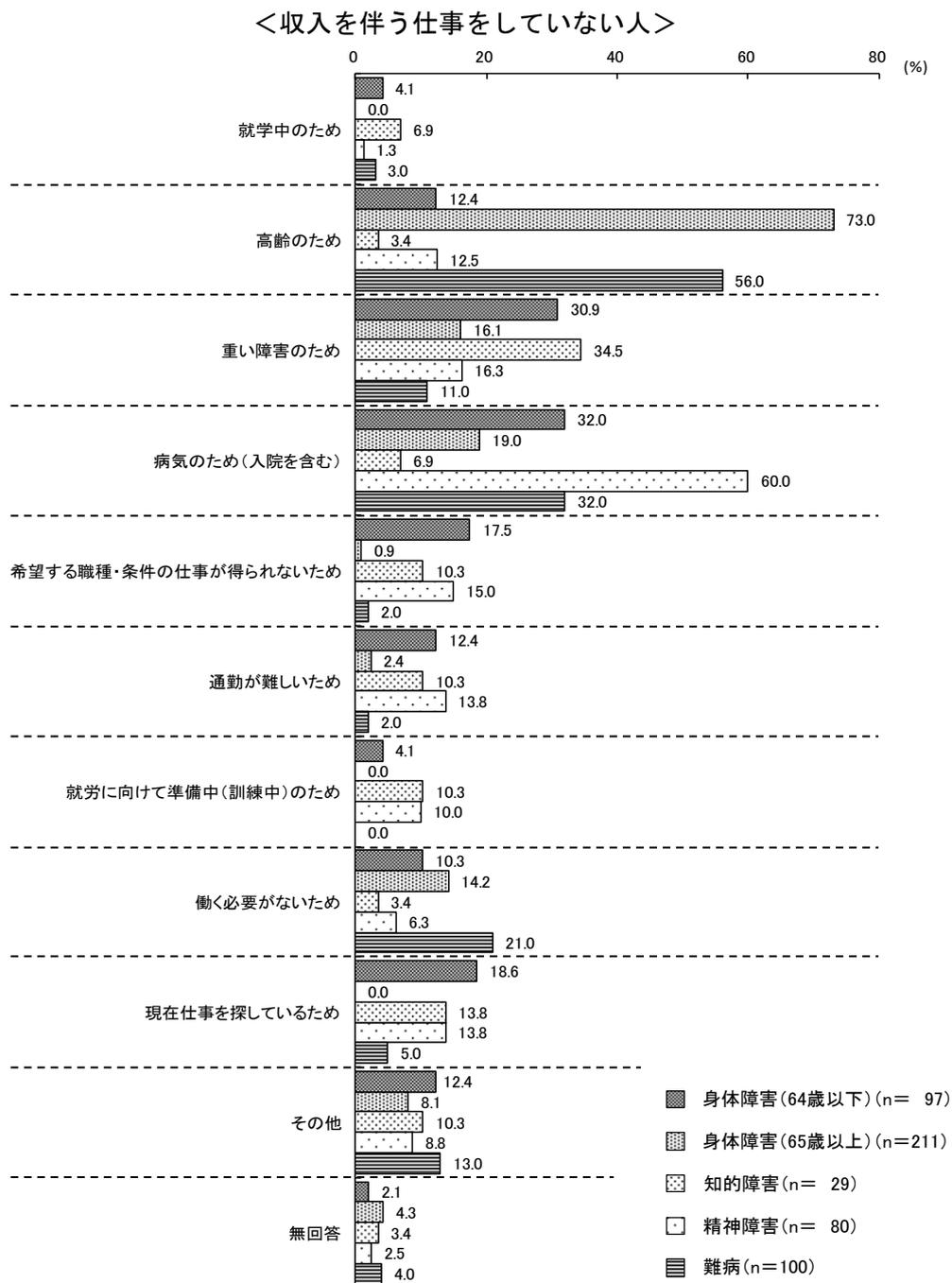


（5）仕事をしていない理由（問 15-4）

問 15-4 問 15 で「5, 6」と答えた方におたずねします。
 仕事をしていない理由は次のどれですか。（いくつでも○）

- 収入を伴う仕事をしていないと回答した人に、仕事をしていない理由をたずねた。
- 身体障害（64歳以下）、精神障害ともに「病気のため（入院を含む）」が最も多く、割合はそれぞれ32.0%、60.0%となっている。身体障害（65歳以上）、難病ともに「高齢のため」が最も多く、割合はそれぞれ73.0%、56.0%となっている。知的障害は「重い障害のため（34.5%）」が最も多くなっている。

図表 4-57 仕事をしていない理由（全体：複数回答）

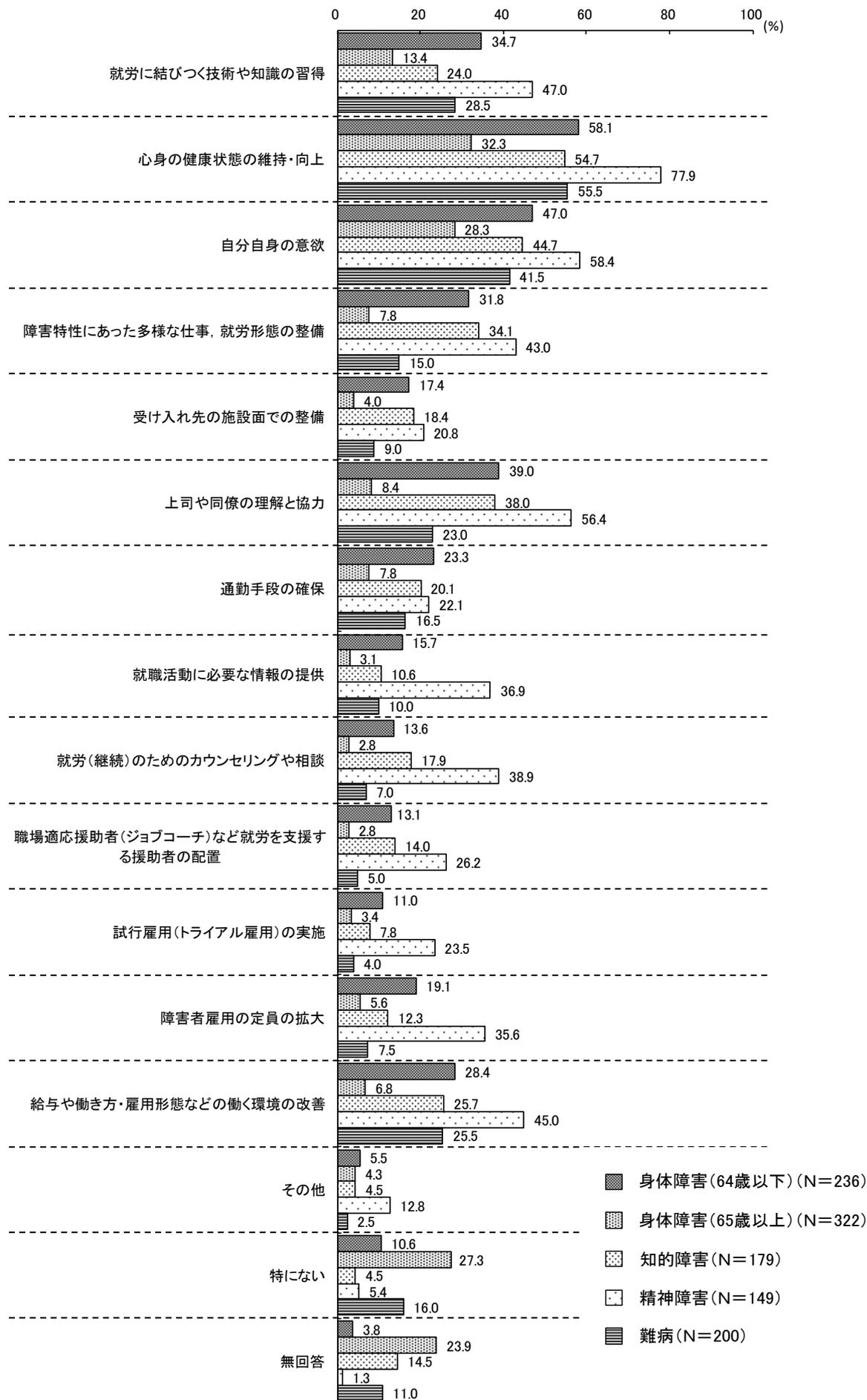


(6) 仕事をするために必要だと思うこと（問16）

問16 仕事をするために、あなたが必要と思うことは何ですか。（いくつでも○）

- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「心身の健康状態の維持・向上」が最も多く、割合はそれぞれ58.1%、32.3%、54.7%、77.9%、55.5%となっている。
- そして、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「自分自身の意欲」が続いており、割合はそれぞれ47.0%、28.3%、44.7%、58.4%、41.5%となっている。

図表 4-58 仕事をするために必要だと思うこと (全体：複数回答)

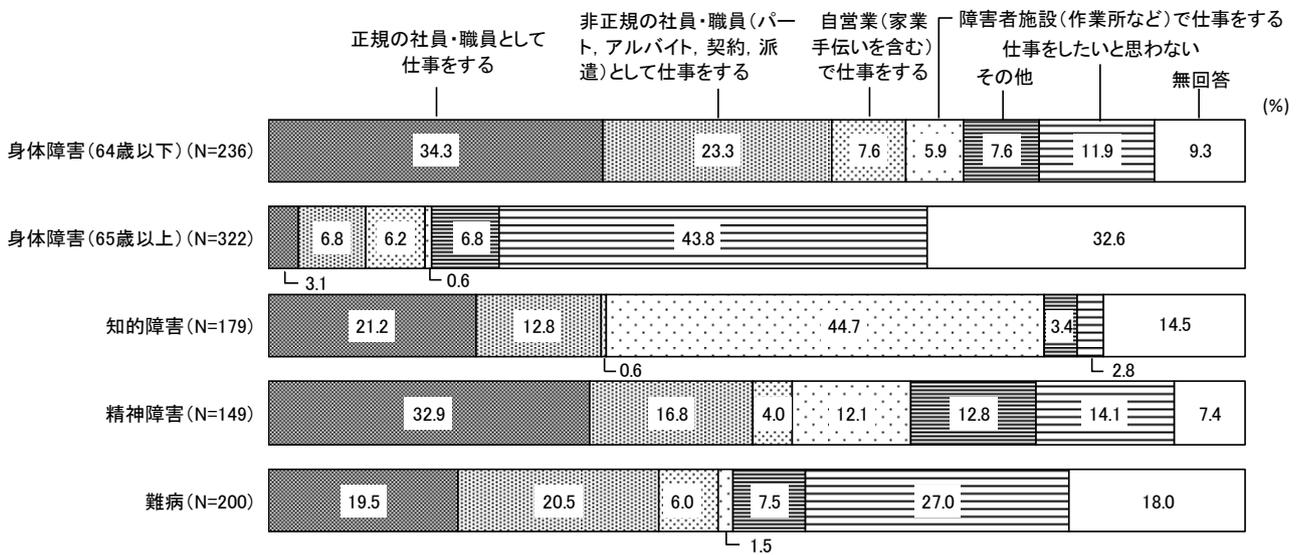


(7) 今後したい仕事 (問 17)

問 17 あなたは、今後どのような仕事がしたいですか。現在働いている場合は、これからも同じ仕事を続けたい場合も含まれます。(1つに○)

○ 身体障害 (64 歳以下), 精神障害ともに「正規の社員・職員として仕事をする」が最も多く、割合はそれぞれ 34.3%, 32.9%となっている。身体障害 (65 歳以上), 難病ともに「仕事をしたいと思わない」が最も多く、割合はそれぞれ 43.8%, 27.0%となっている。知的障害は「障害者施設 (作業所など) で仕事をする (44.7%)」が最も多くなっている。

図表 4-59 今後したい仕事 (全体)

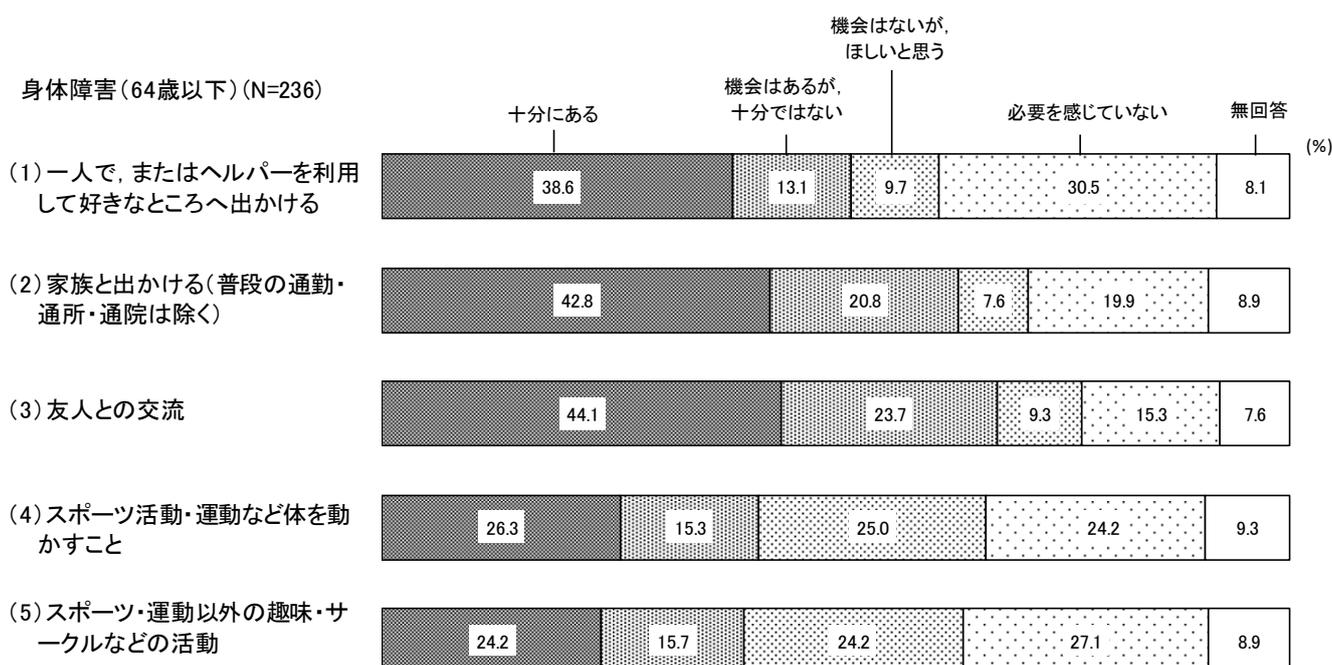


（8）仕事や通所施設以外での活動の機会の有無（問18）

問18 仕事や普段通っている施設での活動以外に、あなたは普段の生活の中で以下のような活動を行う、または活動に参加する機会がありますか。
 （1）～（5）について、それぞれ1つに○をつけてください。

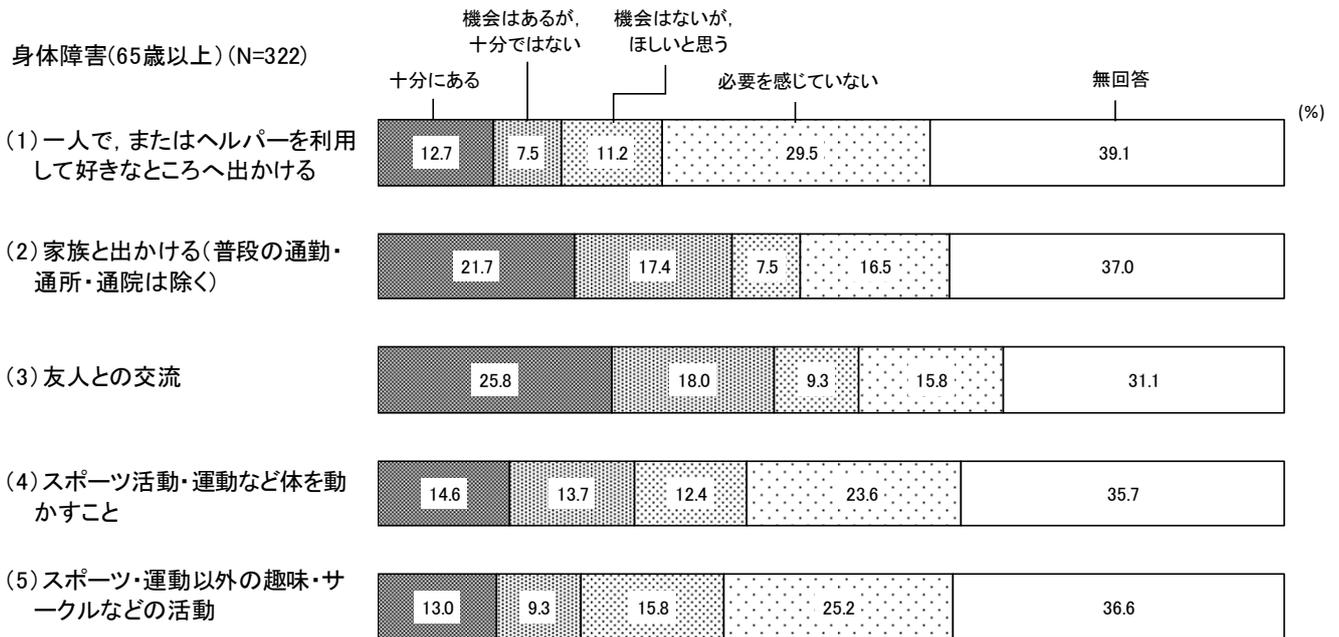
- 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無についてたずねた。
- **身体障害（64歳以下）**は「十分にある」と「機会はあるが、十分ではない」を合わせた《機会はある》の割合は『友人との交流』、『家族と出かける（普段の通勤・通所・通院は除く）』がそれぞれ67.8%，63.6%と高くなっている。
- **身体障害（65歳以上）**は《機会はある》の割合は『友人との交流』、『家族と出かける（普段の通勤・通所・通院は除く）』がそれぞれ43.8%，39.1%と高くなっている。
- **知的障害**は《機会はある》の割合は『家族と出かける（普段の通勤・通所・通院は除く）』、『一人で、またはヘルパーを利用して好きなところへ出かける』がそれぞれ68.2%，46.9%と高くなっている。
- **精神障害**は《機会はある》の割合は『友人との交流』、『一人で、またはヘルパーを利用して好きなところへ出かける』がそれぞれ53.7%，52.3%と高くなっている。
- **難病**は《機会はある》の割合は『友人との交流』、『家族と出かける（普段の通勤・通所・通院は除く）』がそれぞれ59.5%，56.0%と高くなっている。

図表 4-60 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【身体障害（64歳以下）】（全体）

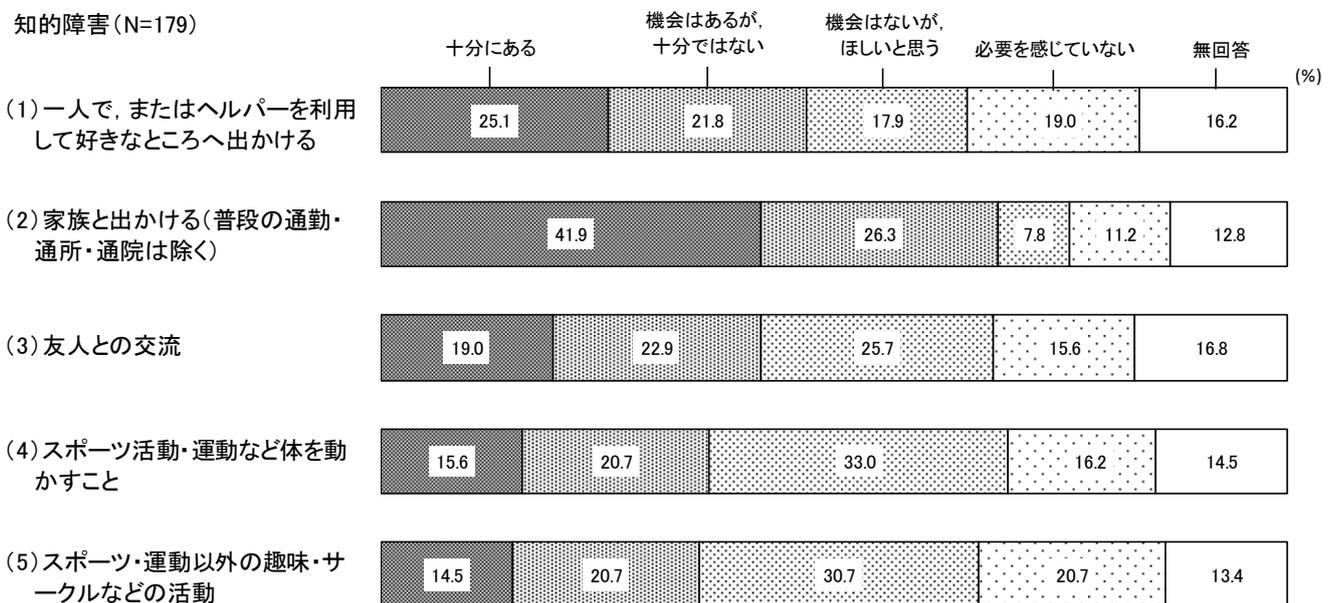


II アンケート調査の結果

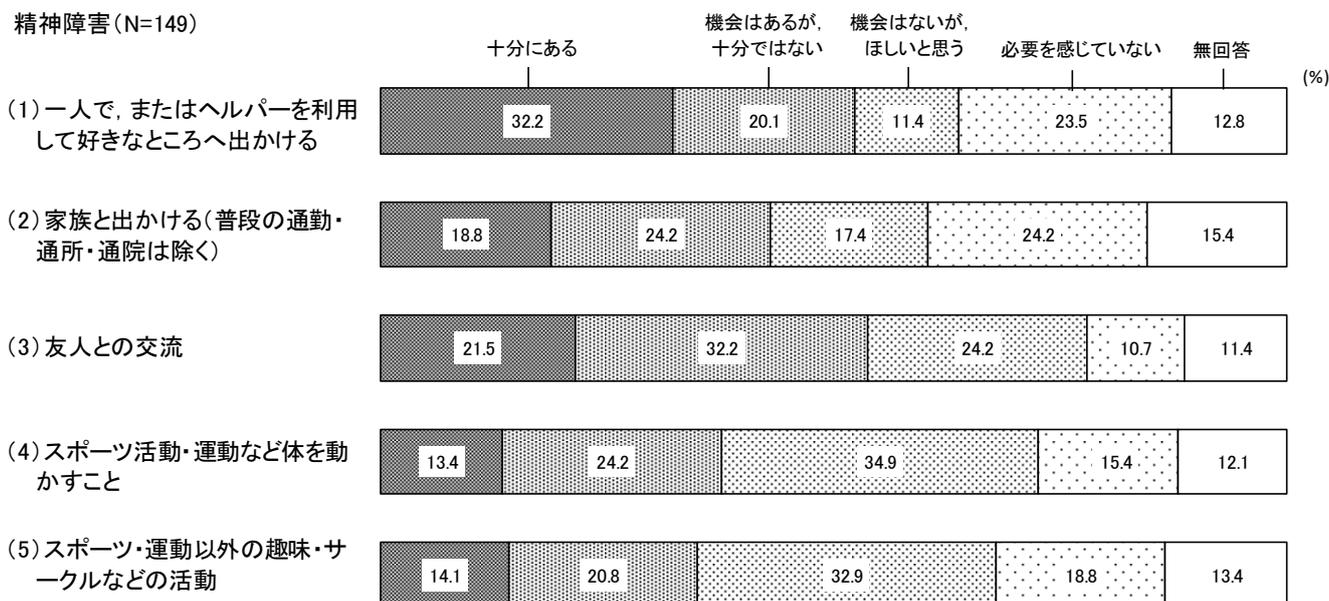
図表 4-61 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【身体障害（65歳以上）】（全体）



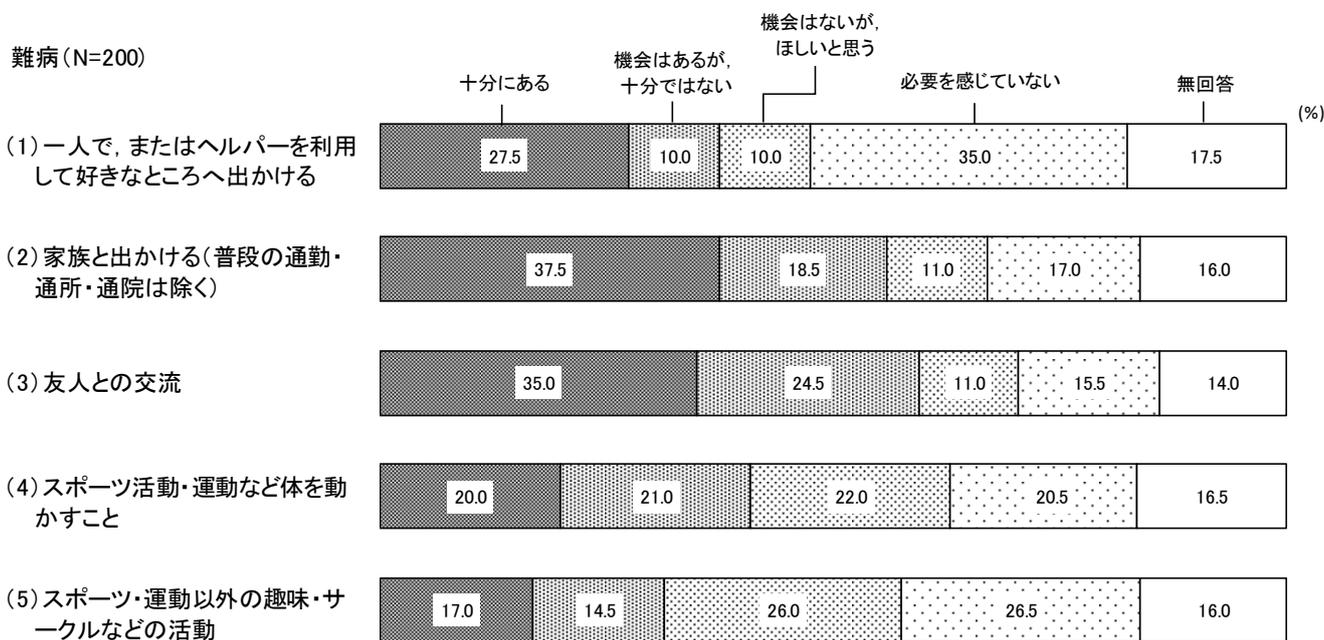
図表 4-62 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【知的障害】（全体）



図表 4-63 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【精神障害】（全体）



図表 4-64 仕事や通所施設以外での活動の機会の有無【難病】（全体）



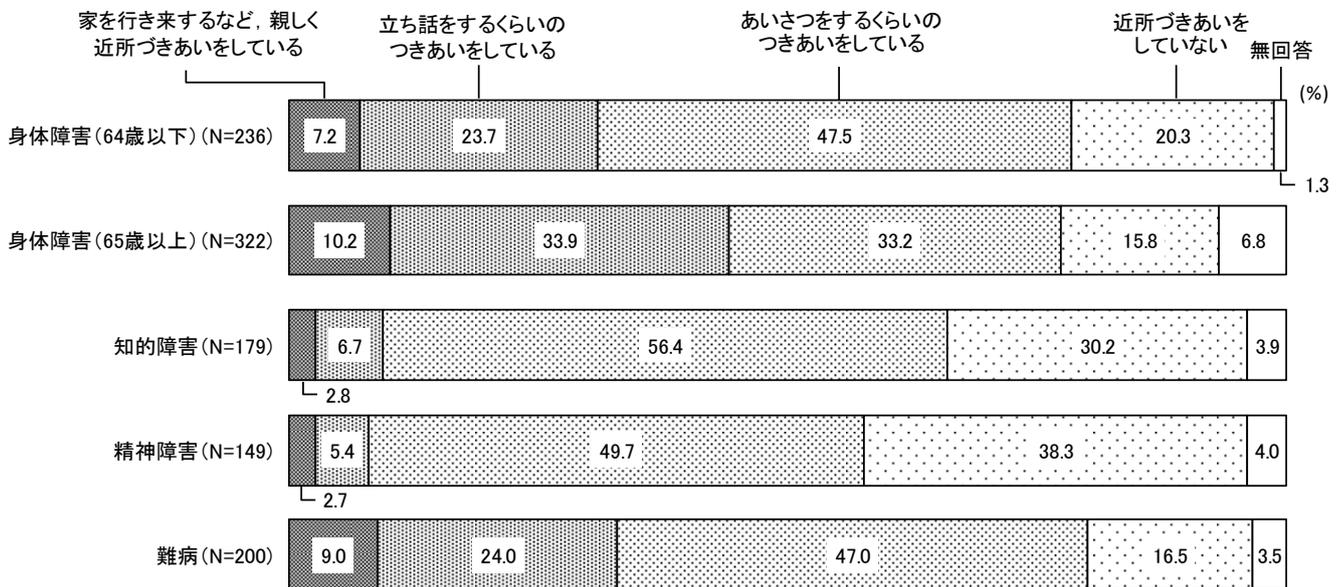
5 地域のつながり

(1) 近所づきあいの状況 (問 19)

問 19 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

- 身体障害 (64 歳以下), 知的障害, 精神障害, 難病ともに「あいさつをするくらいにつきあいをしている」が最も多く, 割合はそれぞれ 47.5%, 56.4%, 49.7%, 47.0%となっている。身体障害 (65 歳以上) は「立ち話をするくらいにつきあいをしている (33.9%)」が最も多くなっている。
- また, 知的障害, 精神障害では「近所づきあいをしていない」が 3 割を超え, 高くなっている。

図表 4-65 近所づきあいの状況 (全体)



身体障害（64歳以下）

- 年代別にみると、18歳～39歳は「近所づきあいをしていない」が4割を超え、全体より高くなっており、近所づきあいをしていない人が多い傾向がうかがえる。
- 家族構成別にみると、ひとり暮らしは「近所づきあいをしていない」が4割を超え、全体より高くなっており、近所づきあいをしていない人が多い傾向がうかがえる。
- 地域別にみると、「近所づきあいをしていない」の割合は、西部地域で30.8%と最も高く、北部地域は4.4%と最も低くなっている。

図表 4-66 近所づきあいの状況【身体障害（64歳以下）】

（全体、年代別、家族構成別、地域別）

（%）

		きどあ、いをし、く、て近すい所るづな	てい、いのち、るつ、話を、あす、いる、を、く、し	しらあ、てい、いの、さ、る、つ、つ、き、を、あ、す、い、る、を、く	て近、い、所、な、づ、き、あ、い、を、し	無回答
全 体 (N=236)		7.2	23.7	47.5	20.3	1.3
年 代 別	18歳～39歳 (n= 41)	2.4	9.8	46.3	41.5	0.0
	40歳～64歳 (n=178)	9.0	25.3	50.0	15.2	0.6
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 52)	3.8	9.6	42.3	42.3	1.9
	その他 (n=183)	8.2	27.3	49.2	14.2	1.1
地 域 別	東部地域 (n= 39)	10.3	25.6	43.6	20.5	0.0
	西部地域 (n= 78)	2.6	19.2	46.2	30.8	1.3
	南部地域 (n= 66)	10.6	22.7	45.5	19.7	1.5
	北部地域 (n= 45)	6.7	28.9	60.0	4.4	0.0

身体障害（65歳以上）

- 地域別にみると、東部地域は「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている（13.1%）」と「立ち話をするくらいのつきあいをしている（44.3%）」の割合がどちらも全体を上回っており、近所づきあいが活発な傾向がうかがえる。

図表 4-67 近所づきあいの状況【身体障害（65歳以上）】

（全体、年代別、家族構成別、地域別）

（%）

		きどあ、いをし、く、て近すい所るづな	てい、いのち、るつ、話を、あす、いる、を、く、し	しらあ、てい、いの、さ、る、つ、つ、き、を、あ、す、い、る、を、く	て近、い、所、な、づ、き、あ、い、を、し	無回答
全 体 (N=322)		10.2	33.9	33.2	15.8	6.8
年 代 別	65歳～74歳 (n=105)	13.3	33.3	33.3	15.2	4.8
	75歳～84歳 (n=120)	9.2	37.5	28.3	17.5	7.5
	85歳以上 (n= 61)	9.8	26.2	37.7	14.8	11.5
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 77)	15.6	31.2	28.6	18.2	6.5
	その他 (n=241)	8.3	34.9	34.9	15.4	6.6
地 域 別	東部地域 (n= 61)	13.1	44.3	19.7	14.8	8.2
	西部地域 (n= 82)	6.1	31.7	40.2	15.9	6.1
	南部地域 (n= 96)	10.4	30.2	37.5	17.7	4.2
	北部地域 (n= 68)	11.8	32.4	33.8	11.8	10.3

知的障害

- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは、「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている(10.5%)」と「立ち話をするくらいのつきあいをしている(10.5%)」がどちらも全体を上回っており、近所づきあいが活発な傾向がうかがえる。
- **地域別**にみると、東部地域と北部地域では、「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている(東部：3.3%、北部2.9%)」と「立ち話をするくらいのつきあいをしている(東部：13.3%、北部：8.8%)」がどちらも全体を上回っており、近所づきあいが活発な傾向がうかがえる。

図表 4-68 近所づきあいの状況【知的障害】

(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別)

		(%)				
		きどあ い親 をし しく て近 い所 るづ な	てい いの るつ 話を きあ す いる をく し	しら あ てい いの さ つ つ き あ す い る を	て近 い所 なづ き あ い を し	無 回 答
全	体 (N=179)	2.8	6.7	56.4	30.2	3.9
年 代 別	18歳～39歳 (n=102)	2.9	6.9	61.8	28.4	0.0
	40歳～64歳 (n= 57)	1.8	3.5	56.1	31.6	7.0
	65歳以上 (n= 10)	10.0	30.0	10.0	40.0	10.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 19)	10.5	10.5	63.2	15.8	0.0
	その他 (n=158)	1.9	6.3	55.7	31.6	4.4
地 域 別	東部地域 (n= 30)	3.3	13.3	50.0	33.3	0.0
	西部地域 (n= 50)	2.0	4.0	72.0	20.0	2.0
	南部地域 (n= 54)	3.7	3.7	51.9	35.2	5.6
	北部地域 (n= 34)	2.9	8.8	52.9	32.4	2.9

精神障害

- 年代別にみると、40歳～64歳は「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている (3.2%)」と「立ち話をするくらいのつきあいをしている (6.5%)」の割合がどちらもわずかに全体を上回っている。
- 地域別にみると、南部地域では、「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている (6.7%)」と「立ち話をするくらいのつきあいをしている (6.7%)」の割合がどちらも全体を上回っており、近所づきあいが活発な傾向がうかがえる。

図表 4-69 近所づきあいの状況【精神障害】
(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別)

			きど家 あ、を い親行 をしき しく来 て近す い所る るづな	てい立 いのち るつ話 きを あす いる をく しら	しらあ ていい いのさ るつつ きを あす いる をく	て近 い所 なづ いき あ いを し	無 回 答
全 体		(N=149)	2.7	5.4	49.7	38.3	4.0
年 代 別	18歳～39歳	(n= 39)	2.6	2.6	48.7	41.0	5.1
	40歳～64歳	(n= 93)	3.2	6.5	49.5	37.6	3.2
	65歳以上	(n= 10)	0.0	10.0	50.0	30.0	10.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n= 56)	3.6	7.1	41.1	44.6	3.6
	その他	(n= 91)	2.2	4.4	54.9	34.1	4.4
地 域 別	東部地域	(n= 37)	2.7	5.4	43.2	43.2	5.4
	西部地域	(n= 46)	2.2	2.2	60.9	34.8	0.0
	南部地域	(n= 30)	6.7	6.7	33.3	46.7	6.7
	北部地域	(n= 26)	0.0	11.5	65.4	23.1	0.0

難病

- 年代別にみると18歳～39歳は「近所づきあいをしていない」が4割を超え、全体より高くなっており、近所づきあいをしていない人が多い傾向がうかがえる。
- 家族構成別にみると、ひとり暮らしは「近所づきあいをしていない (41.5%)」が4割を超え、全体より高くなっており、近所づきあいをしていない人が多い傾向がうかがえる。

図表 4-70 近所づきあいの状況【難病】
(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別)

			きど家 あ、を い親行 をしき しく来 て近す い所る るづな	てい立 いのち るつ話 きを あす いる をく しら	しらあ ていい いのさ るつつ きを あす いる をく	て近 い所 なづ いき あ いを し	無 回 答
全 体		(N=200)	9.0	24.0	47.0	16.5	3.5
年 代 別	18歳～39歳	(n= 19)	5.3	5.3	42.1	47.4	0.0
	40歳～64歳	(n= 75)	10.7	24.0	48.0	14.7	2.7
	65歳以上	(n= 97)	8.2	27.8	46.4	12.4	5.2
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n= 41)	12.2	22.0	22.0	41.5	2.4
	その他	(n=157)	7.6	24.8	53.5	10.2	3.8
地 域 別	東部地域	(n= 44)	9.1	22.7	47.7	20.5	0.0
	西部地域	(n= 54)	13.0	24.1	40.7	20.4	1.9
	南部地域	(n= 56)	5.4	21.4	53.6	14.3	5.4
	北部地域	(n= 38)	7.9	34.2	42.1	10.5	5.3

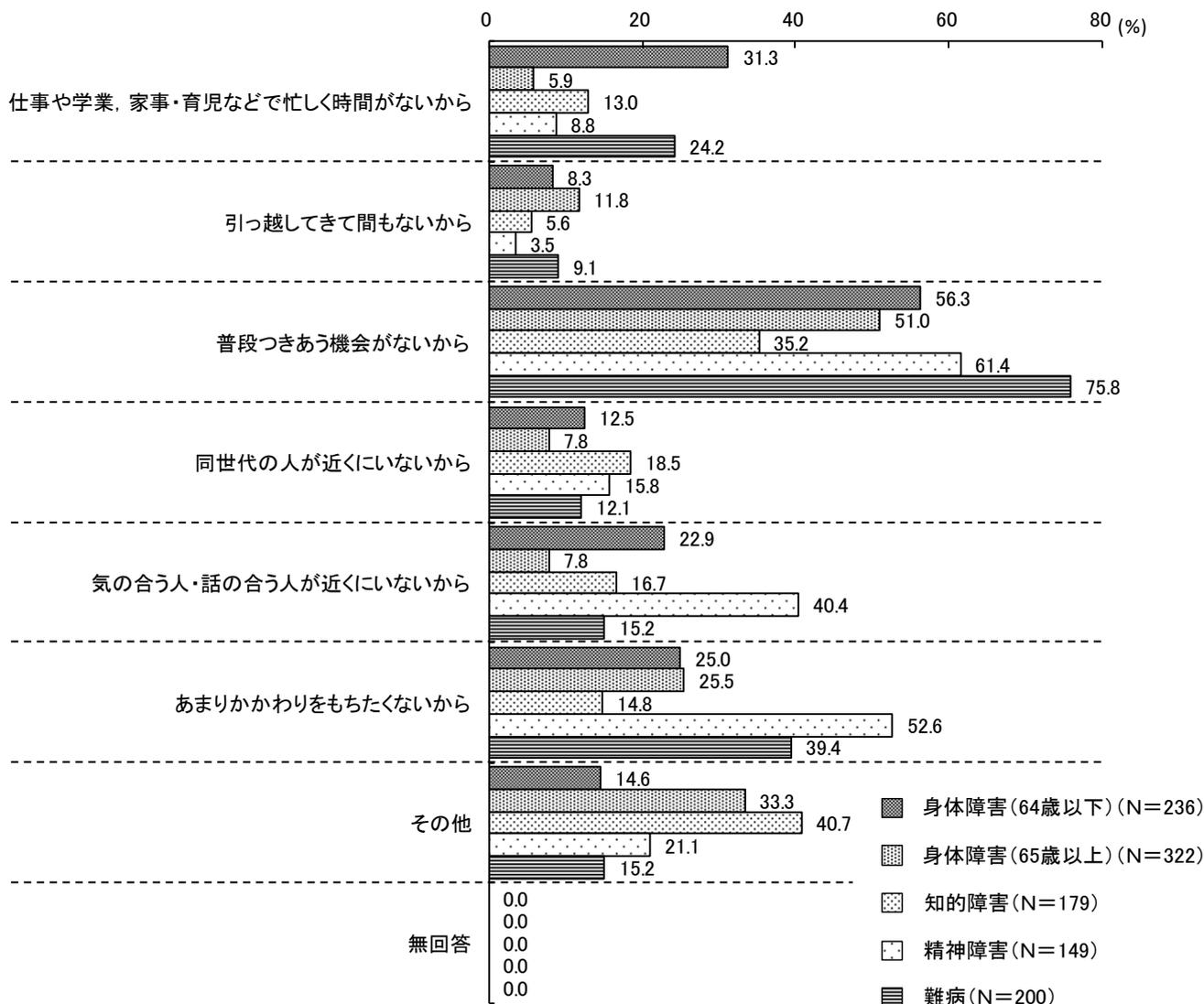
(2) 近所づきあいをしていない理由 (問 19-1)

問 19-1 問 19 で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。
 近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 「近所づきあいをしていない」人に、近所づきあいをしていない主な理由をたずねた。
- 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 知的障害, 精神障害, 難病ともに「普段つきあう機会がないから」が最も多く, 割合はそれぞれ 56.3%, 51.0%, 35.2%, 61.4%, 75.8%となっている。
- そして, 身体障害 (65 歳以上), 精神障害, 難病ともに「あまりかかわりを持ちたくないから」が続いており, 割合はそれぞれ 25.5%, 52.6%, 39.4%となっている。身体障害 (64 歳以下) は「仕事や学業, 家事・育児などで忙しく時間がないから (31.3%)」, 知的障害は「同世代の人が近くにいないから (18.5%)」が続いている。

図表 4-71 近所づきあいをしていない理由 (全体: 複数回答)

<近所づきあいをしていない人>



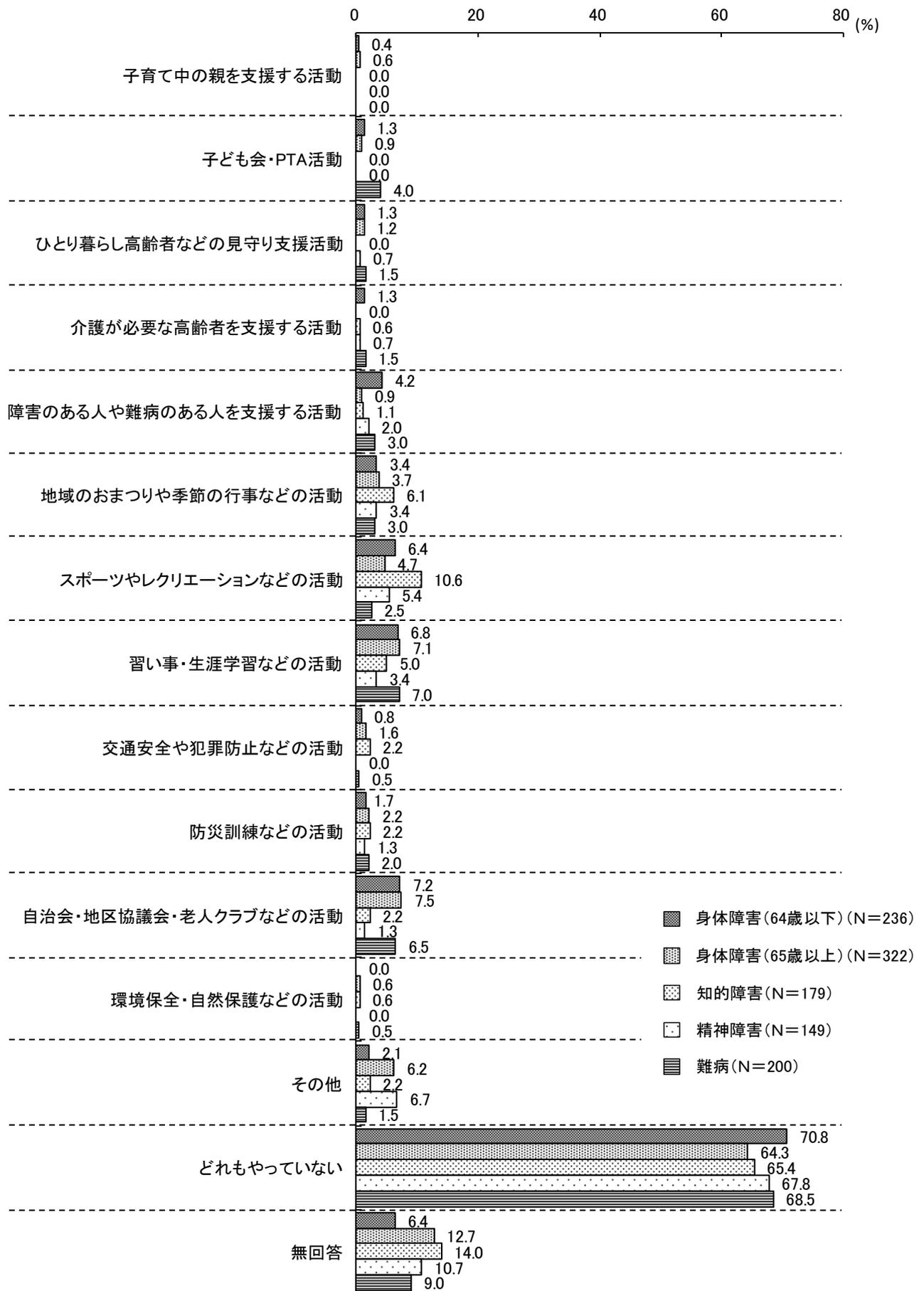
（3）地域活動・ボランティア活動で、やっている活動（問20）

問20 次のような地域活動・ボランティア活動などについて、あなたがやっている活動はありますか。（いくつでも○）

- 地域活動・ボランティア活動で、やっている活動についてたずねた。
- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「どれもやっていない」が最も多く、割合はそれぞれ70.8%、64.3%、65.4%、67.8%、68.5%となっており、6割以上は地域活動やボランティア活動をしていない。
- やっている活動として最も多いのは、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）ともに「自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動」が最も多く、割合はそれぞれ7.2%、7.5%となっている。知的障害、精神障害ともに「スポーツやレクリエーションなどの活動」が最も多く、割合はそれぞれ10.6%、5.4%となっている。難病では「習い事・生涯学習などの活動（7.0%）」が最も多くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 4-72 地域活動・ボランティア活動で、やっている活動（全体：複数回答）



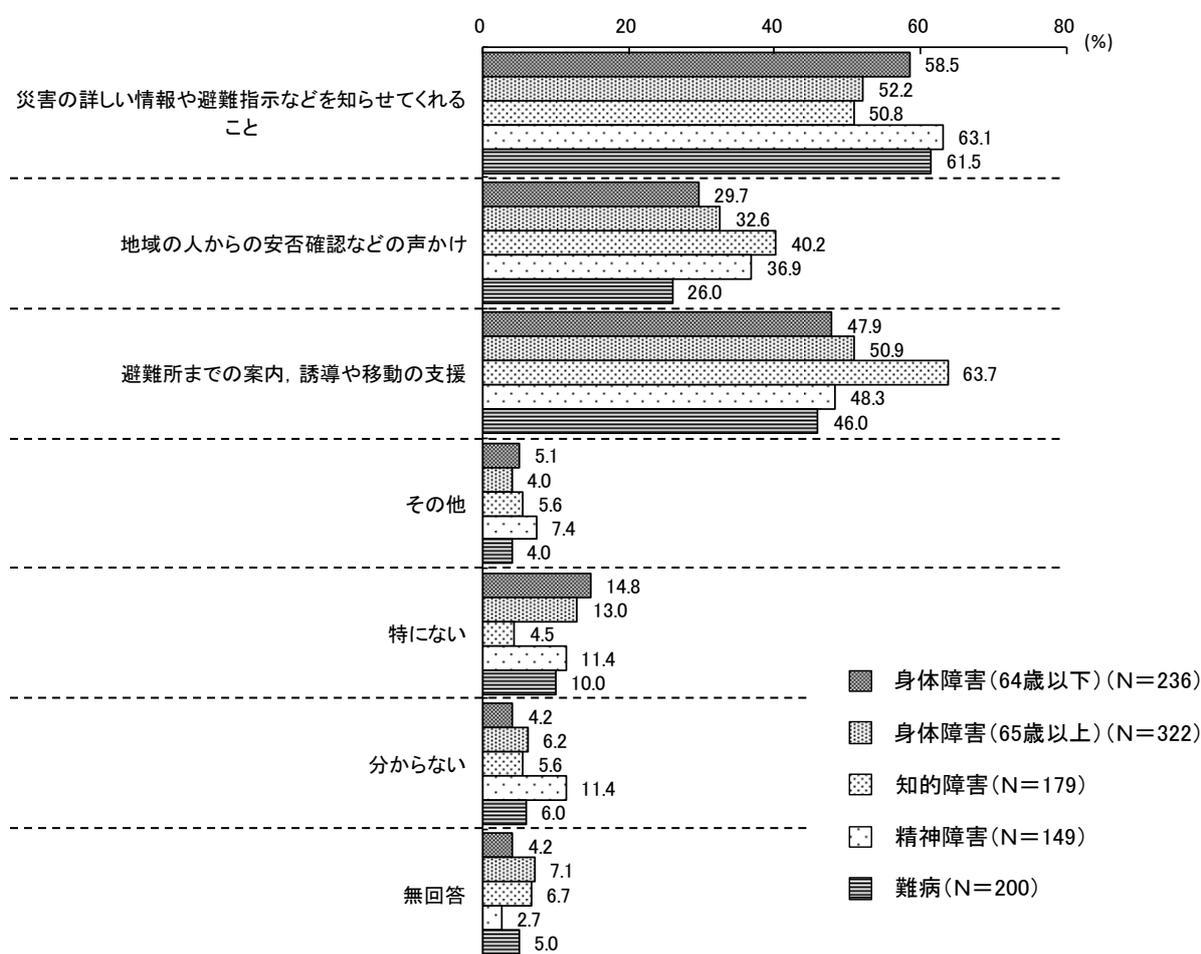
6 災害時の対応

(1) 災害時の避難の際、避難所へ行くまでの間に必要だと思う支援（問21）

問21 あなたにとって、地震などの災害が発生したときに、災害発生から避難所に行くまでの間に必要と思われる支援は何ですか。（いくつでも○）

○ 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、精神障害、難病ともに「災害の詳しい情報や避難指示などを知らせてくれること」が最も多く、割合はそれぞれ58.5%、52.2%、50.8%、63.1%、61.5%となっている。知的障害は「避難所までの案内、誘導や移動の支援（63.7%）」が最も多くなっている。

図表 4-73 災害時の避難の際、避難所へ行くまでの間に必要だと思う支援（全体：複数回答）



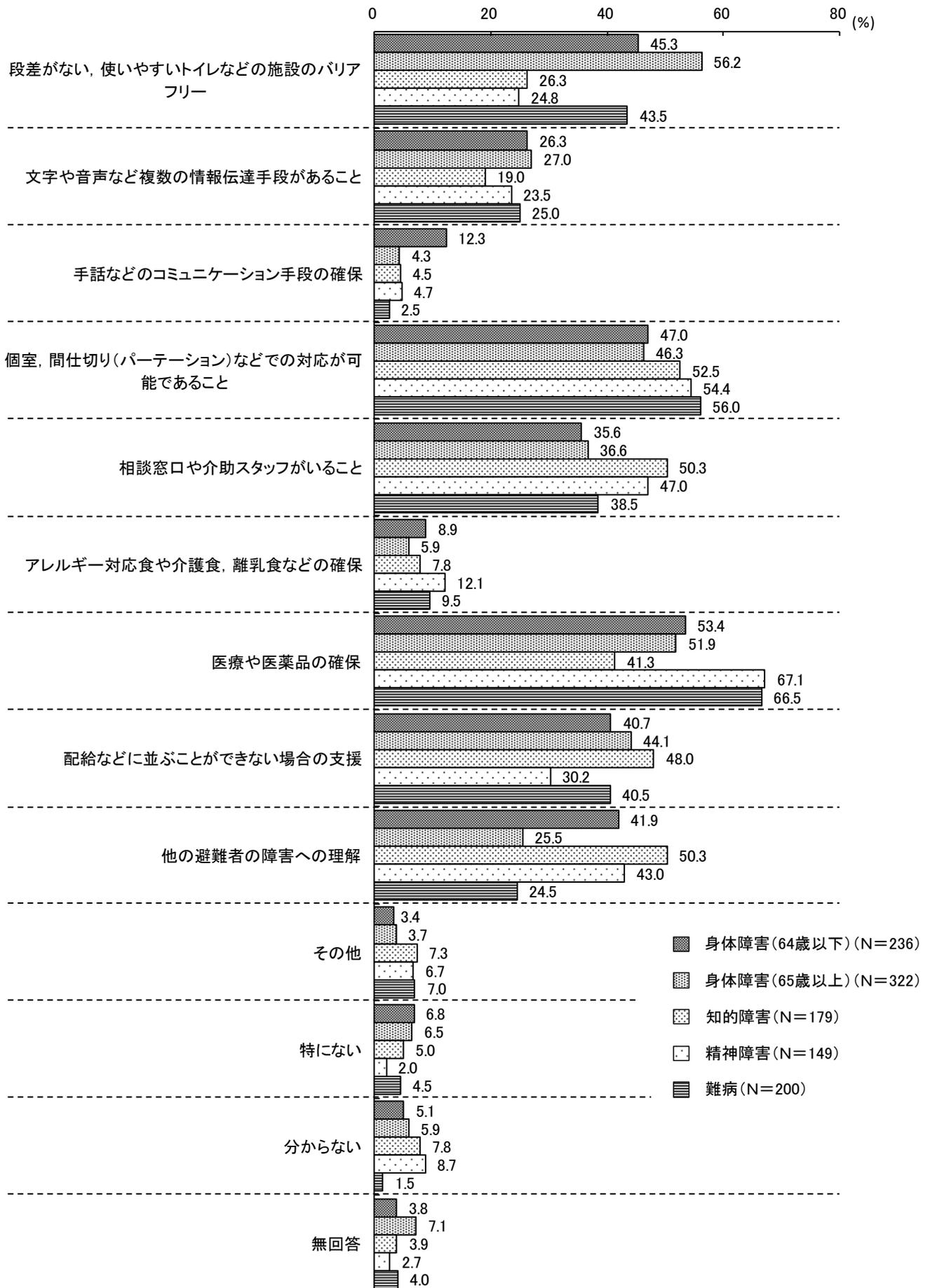
(2) 避難所で必要だと思う支援（問22）

問22 あなたにとって、地震などの災害が発生したときに、避難所において必要と思われる支援は何ですか。（いくつでも○）

○ 身体障害（64歳以下）、精神障害、難病ともに「医療や医薬品の確保」が最も多く、割合はそれぞれ53.4%、67.1%、66.5%となっている。身体障害（65歳以上）は「段差がない、使いやすいトイレなどの施設のバリアフリー（56.2%）」、知的障害は「個室、間仕切り（パーテーション）などでの対応が可能であること（52.5%）」が最も多くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 4-74 避難所で必要だと思う支援（全体：複数回答）



7 福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方

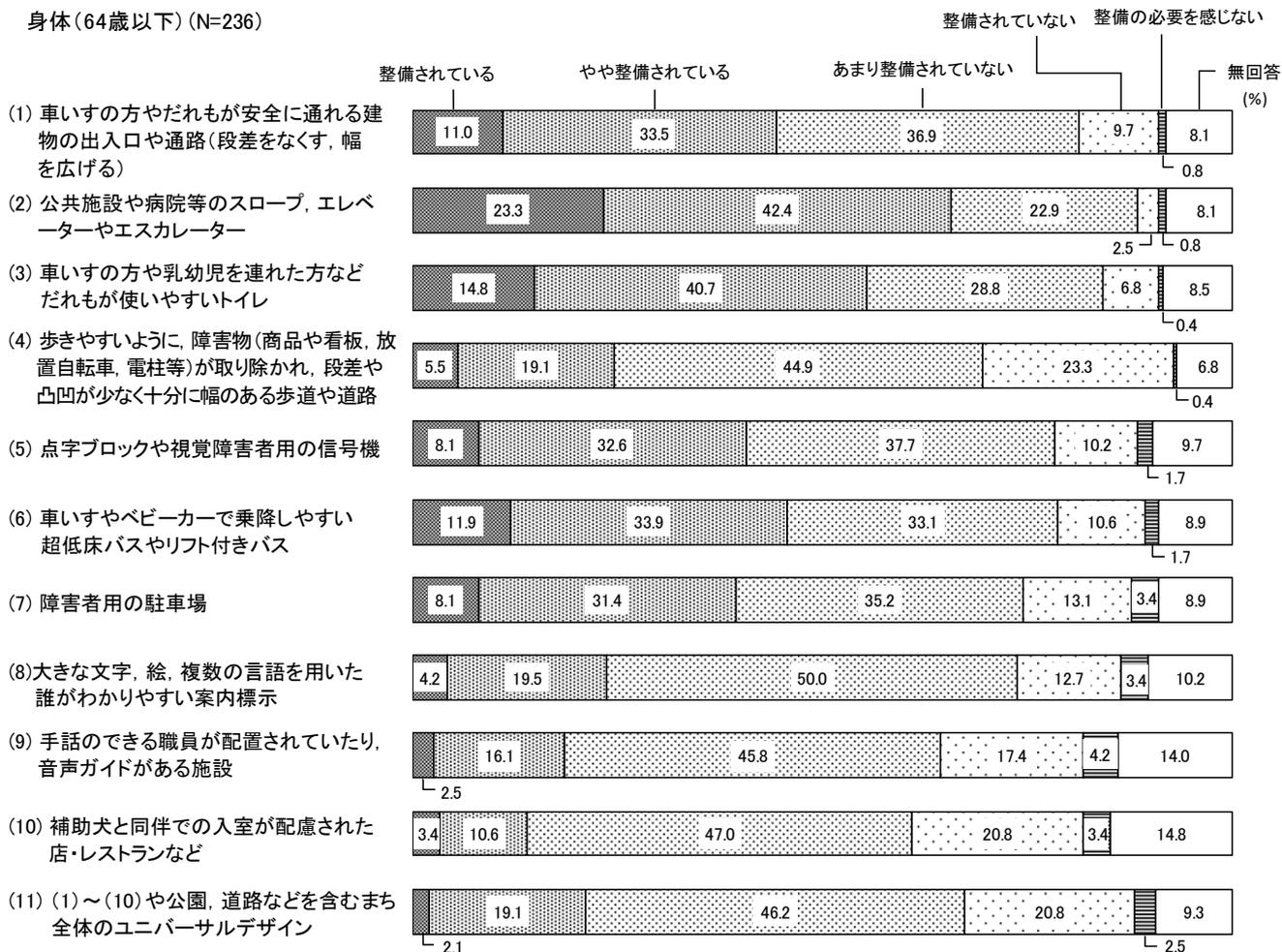
（1）バリアフリー化の状況（問23）

問23 あなたは、現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いますか。

（1）～（11）について、それぞれ1つに○をつけてください。

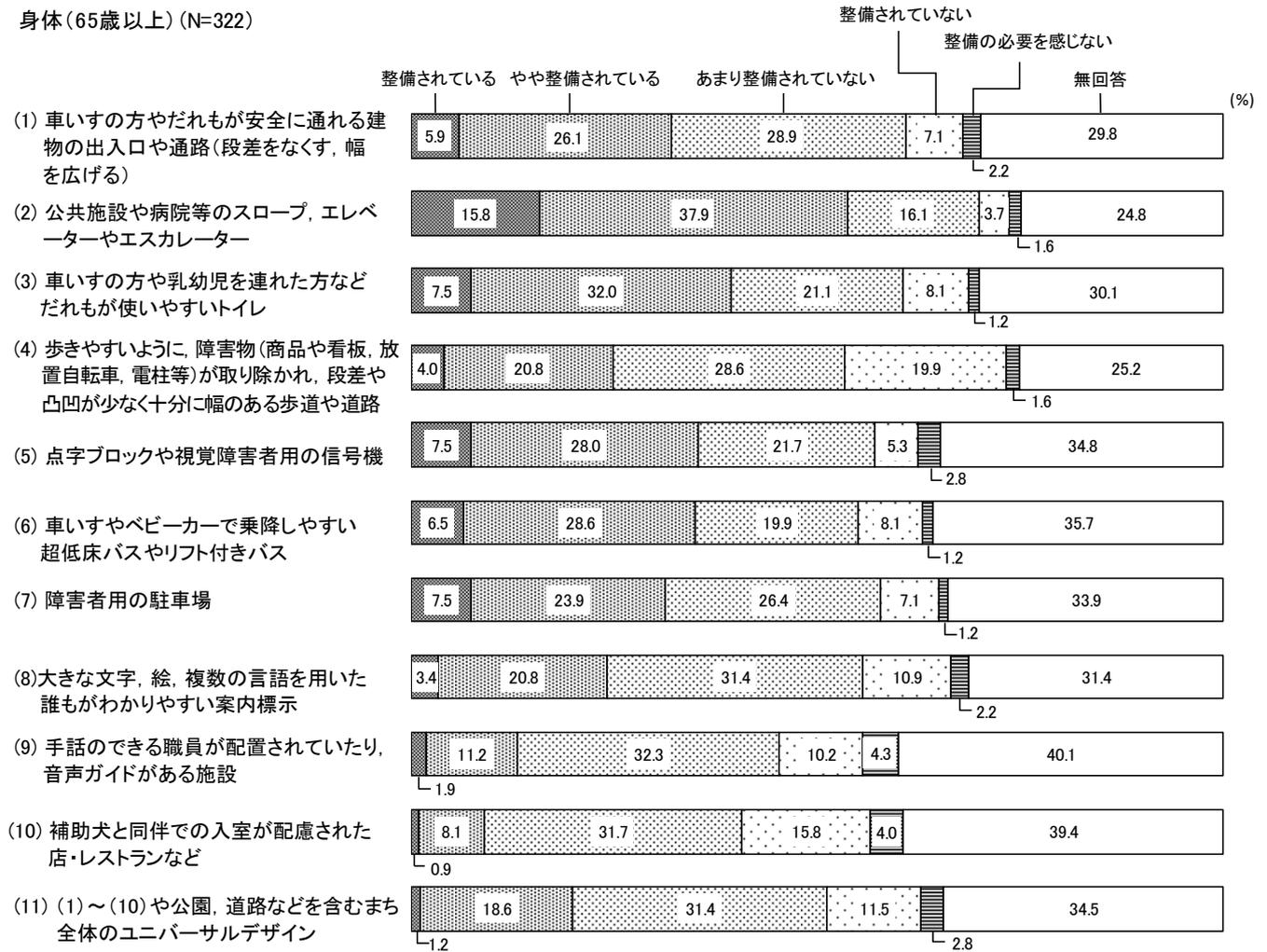
- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「整備されている」と「やや整備されている」を合わせた《整備されている》の割合は、『公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター』が最も多く、割合はそれぞれ65.7%、53.7%、65.4%、65.7%、62.0%となっている。
- そして、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに『車いすの方や乳幼児を連れた方などだれもが使いやすいトイレ』が続いており、《整備されている》の割合はそれぞれ55.5%、39.5%、54.2%、53.7%、50.0%となっている。

図表4-75 バリアフリー化の状況【身体障害（64歳以下）】（全体）



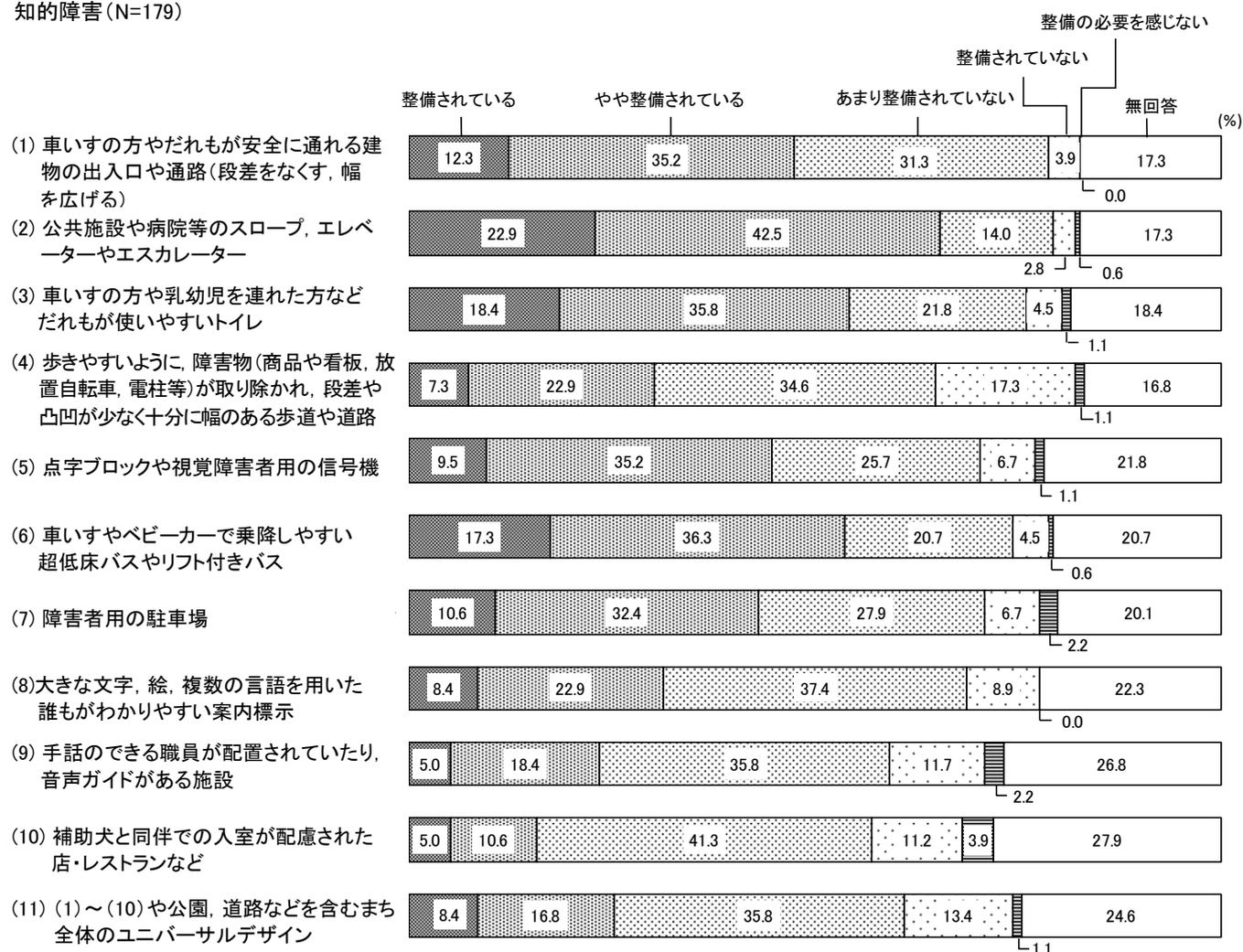
II アンケート調査の結果

図表 4-76 バリアフリー化の状況【身体障害（65歳以上）】（全体）



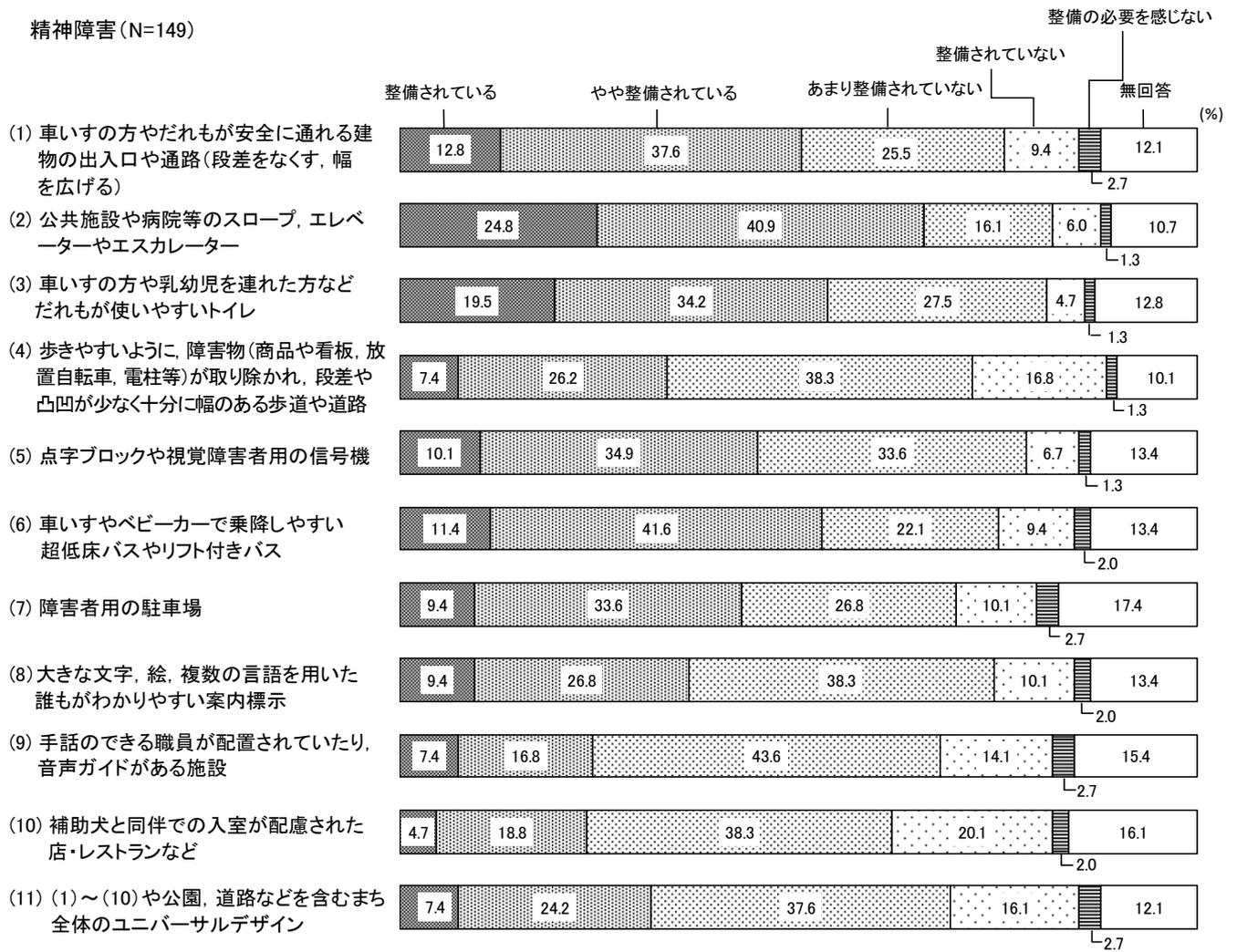
図表 4-77 バリアフリー化の状況【知的障害】（全体）

知的障害(N=179)



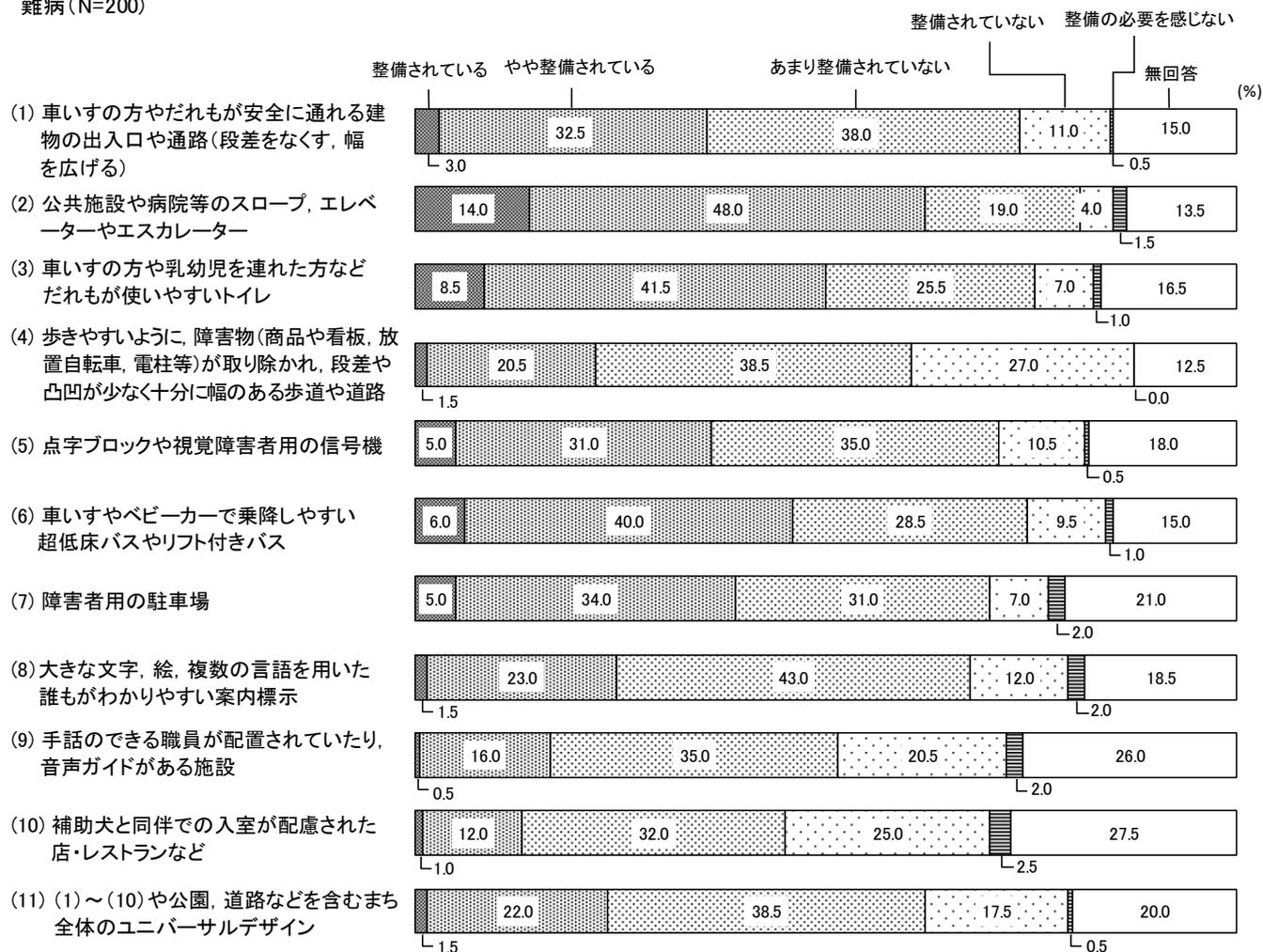
Ⅱ アンケート調査の結果

図表 4-78 バリアフリー化の状況【精神障害】(全体)



図表 4-79 バリアフリー化の状況【難病】(全体)

難病(N=200)

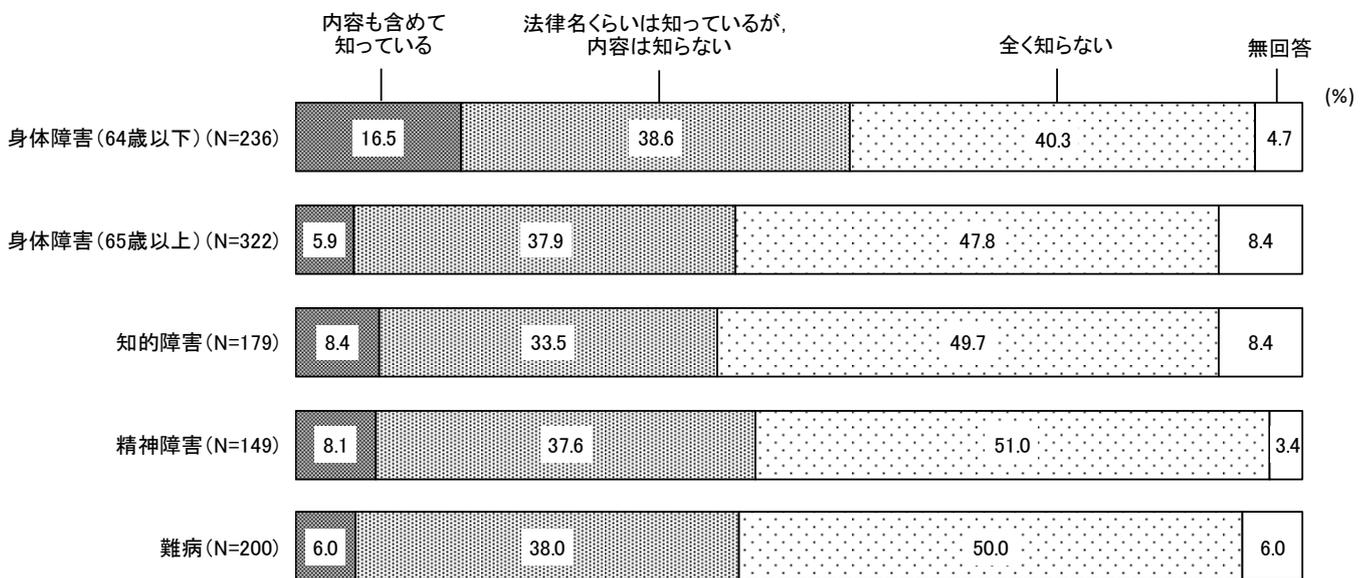


(2) 障害者差別解消法の認知度 (問 24)

問 24 平成 28 年 4 月から、「障害者差別解消法 (障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」が施行されました。あなたは、「障害者差別解消法)」について、どのくらい知っていましたか。(1つに○)

- 障害者差別解消法の認知度は、身体障害 (64 歳以下)、身体障害 (65 歳以上)、知的障害、精神障害、難病ともに「全く知らない」が最も多く、割合はそれぞれ 40.3%、47.8%、49.7%、51.0%、50.0%となっている。

図表 4-80 障害者差別解消法の認知度 (全体)



身体障害 (64歳以下)

- 年代別にみると18歳～39歳は「内容も含めて知っている」の割合が2割を超え、全体より高くなっている。
- 地域別にみると、「内容も含めて知っている」の割合は、南部地域で22.7%と最も高く、北部地域で6.7%と最も低くなっている。
- 障害程度別にみると、2級と3級で、「内容も含めて知っている」の割合が2割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-81 障害者差別解消法の認知度【身体障害 (64歳以下)】

(全体, 年代別, 地域別, 障害程度別)

			知内 つ容 ても い含 るめ て	内知法 容つ律 はて名 知いく らるら ながい 、は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体		(N=236)	16.5	38.6	40.3	4.7
別 年代	18歳～39歳	(n= 41)	24.4	29.3	46.3	0.0
	40歳～64歳	(n=178)	16.3	42.1	36.0	5.6
地 域 別	東部地域	(n= 39)	15.4	41.0	41.0	2.6
	西部地域	(n= 78)	19.2	38.5	37.2	5.1
	南部地域	(n= 66)	22.7	31.8	40.9	4.5
	北部地域	(n= 45)	6.7	48.9	40.0	4.4
障 害 程 度 別	1級	(n= 78)	15.4	39.7	35.9	9.0
	2級	(n= 43)	25.6	41.9	27.9	4.7
	3級	(n= 24)	25.0	45.8	29.2	0.0
	4級	(n= 55)	12.7	30.9	54.5	1.8
	5級	(n= 13)	15.4	30.8	46.2	7.7
	6級	(n= 15)	0.0	60.0	40.0	0.0

II アンケート調査の結果

身体障害（65歳以上）

- 年代別にみると、65歳～74歳と85歳以上では「内容も含めて知っている（65歳～74歳：6.7%、85歳以上：6.6%）」の割合が、全体より高くなっている。
- 地域別にみると、東部地域、南部地域、北部地域では「内容も含めて知っている（東部：8.2%、南部：8.3%、北部：7.4%）」の割合が全体より高くなっている。

図表 4-82 障害者差別解消法の認知度【身体障害（65歳以上）】
（全体、年代別、地域別、障害程度別）

			知内 つ容 ても い含 るめ て	内知法 容つ律 はて名 知いく らるら ながい 、は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体 (N=322)			5.9	37.9	47.8	8.4
年 代 別	65歳～74歳 (n=105)		6.7	40.0	44.8	8.6
	75歳～84歳 (n=120)		4.2	35.0	55.0	5.8
	85歳以上 (n= 61)		6.6	31.1	49.2	13.1
地 域 別	東部地域 (n= 61)		8.2	37.7	44.3	9.8
	西部地域 (n= 82)		1.2	39.0	47.6	12.2
	南部地域 (n= 96)		8.3	42.7	44.8	4.2
	北部地域 (n= 68)		7.4	29.4	58.8	4.4
程 度 別	1級 (n= 78)		7.7	37.2	50.0	5.1
	2級 (n= 36)		5.6	33.3	50.0	11.1
	3級 (n= 51)		3.9	43.1	41.2	11.8
	4級 (n= 92)		6.5	40.2	48.9	4.3
	5級 (n= 17)		0.0	47.1	35.3	17.6
	6級 (n= 6)		0.0	0.0	66.7	33.3

知的障害

- 地域別にみると、「全く知らない」の割合は、西部地域で62.0%と最も高く、東部地域で36.7%と最も低くなっている。

図表 4-83 障害者差別解消法の認知度【知的障害】
（全体、年代別、地域別、障害程度別）

			知内 つ容 ても い含 るめ て	内知法 容つ律 はて名 知いく らるら ながい 、は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体 (N=179)			8.4	33.5	49.7	8.4
年 代 別	18歳～39歳 (n=102)		8.8	39.2	48.0	3.9
	40歳～64歳 (n= 57)		10.5	28.1	52.6	8.8
	65歳以上 (n= 10)		0.0	30.0	30.0	40.0
地 域 別	東部地域 (n= 30)		3.3	53.3	36.7	6.7
	西部地域 (n= 50)		8.0	26.0	62.0	4.0
	南部地域 (n= 54)		7.4	38.9	42.6	11.1
	北部地域 (n= 34)		8.8	26.5	55.9	8.8
程 度 別	1度 (n= 11)		27.3	36.4	36.4	0.0
	2度 (n= 43)		7.0	34.9	39.5	18.6
	3度 (n= 31)		6.5	32.3	54.8	6.5
	4度 (n= 78)		7.7	34.6	52.6	5.1

精神障害

- 年代別にみると、年代があがるにつれ、「全く知らない」の割合が高くなっている。
- 地域別にみると、西部地域と北部地域では「全く知らない」の割合が5割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-84 障害者差別解消法の認知度【精神障害】

(全体, 年代別, 地域別, 障害程度別)

			知内 つ容 ても い含 るめ て	内知法 容つ律 はて名 知いく らるら ながい 、は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体		(N=149)	8.1	37.6	51.0	3.4
年 代 別	18歳～39歳	(n= 39)	2.6	46.2	46.2	5.1
	40歳～64歳	(n= 93)	11.8	34.4	50.5	3.2
	65歳以上	(n= 10)	0.0	10.0	90.0	0.0
地 域 別	東部地域	(n= 37)	8.1	40.5	45.9	5.4
	西部地域	(n= 46)	4.3	41.3	54.3	0.0
	南部地域	(n= 30)	10.0	40.0	43.3	6.7
	北部地域	(n= 26)	11.5	26.9	57.7	3.8
程 度 別	1級	(n= 5)	0.0	20.0	80.0	0.0
	2級	(n= 73)	9.6	35.6	50.7	4.1
	3級	(n= 45)	11.1	46.7	42.2	0.0

難病

- 年代別にみると、18歳～39歳は「全く知らない」が7割を超え、全体より高くなっている。
- 地域別にみると、「法律名くらいは知っているが、内容は知らない」と「全く知らない」を合わせた《内容は知らない》の割合は、南部地域で94.7%と最も高く、西部地域では79.7%と最も低くなっている。

図表 4-85 障害者差別解消法の認知度【難病】

(全体, 年代別, 地域別)

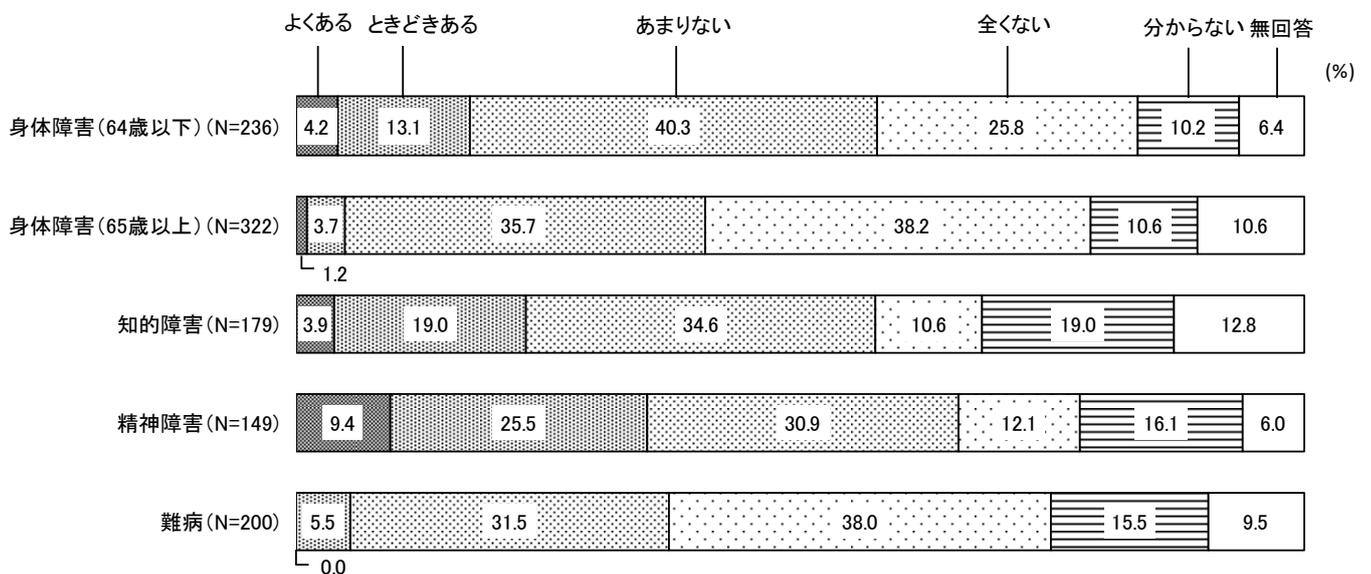
			知内 つ容 ても い含 るめ て	内知法 容つ律 はて名 知いく らるら ながい 、は	全 く 知 ら な い	無 回 答
全 体		(N=200)	6.0	38.0	50.0	6.0
年 代 別	18歳～39歳	(n= 19)	5.3	21.1	73.7	0.0
	40歳～64歳	(n= 75)	8.0	34.7	52.0	5.3
	65歳以上	(n= 97)	5.2	43.3	44.3	7.2
地 域 別	東部地域	(n= 44)	4.5	38.6	52.3	4.5
	西部地域	(n= 54)	13.0	24.1	55.6	7.4
	南部地域	(n= 56)	1.8	39.3	55.4	3.6
	北部地域	(n= 38)	5.3	50.0	36.8	7.9

(3) 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無 (問 25)

問 25 あなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。(1つに○)

- 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無は、「よくある」と「ときどきある」を合わせた《ある》の割合は、身体障害 (64 歳以下) は 17.3%、身体障害 (65 歳以上) は 4.9%、知的障害は 22.9%、精神障害は 34.9%、難病は 5.5% となっている。

図表 4-86 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無 (全体)



- 問 25 で障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じるということが、「よくある」、「ときどきある」と回答した人にその具体的な内容についてたずねた。以下、主な理由を掲載する。

身体障害 (64 歳以下)

- 「ジロジロ見られる」、「嫌な態度や顔をされる」、「うるさいと言われる」、「からかわれる」、「笑われる」などの意見があげられた。中には「レストランで近くの席に座ろうとした人が、子どもを見て遠くの席にかえた」という経験や、見た目では分からない障害のある人から「周囲から変な目で見られる」といった経験をしたことがあげられた。

身体障害 (65 歳以上)

- 「ジロジロ見られる」、「嫌な態度や顔をされる」、「杖を時々、足でけられる」、「『障害だからできないよ』と最初からきめつけられる」、「家族から、『めんどうだ』と日に何度も言われる」、「バスに乗ったりした時、運転手が冷たく扱う」、「電車の乗降をお願いしても、車掌さんの感じが悪い時がある」などの経験があげられた。

知的障害

- 「ジロジロ見られる」、「嫌な態度や顔をされる」、「避けられる」、「笑われる」、「ヒソヒソ話をされる」、「指をさされる」などの意見があげられた。また、「公園やスーパーに行った時、大きい声を出して、まわりの人たちが『うるさい』とか、『見た目が普通なのに何が障害者ですか。』と理解してくれない」などの経験があげられた。

精神障害

- 「嫌な態度や顔をされる」、「言葉による差別を受けた」、「病名を言いふらされた」などの意見があげられた。また、障害を理由に「不動産店でアパートを探している際、断られた」、「仕事をクビになった」という経験をしたことがあげられた。

難病

- 「優先席に座っていると疑いの目で見られる」、「じゃま者扱いされる」、「難病名を告げると、『怖くて診察できない』、『薬が出せない』と言われた」、「内部障害だから、障害だと分かると仕事などでの対応が変わる」、「駐車場で車イスのステッカーはあるが、身体障害者手帳のない人の車が停まる場所がなく、体調の具合が悪い時に車イスの駐車スペースに停めたら、嫌がらせに赤いコーンを車の上に置かれたり、注意されたりする」などの経験があげられた。

(4) してほしい支援や配慮 (合理的配慮)・心に残っている支援や配慮 (問26)

問26 あなたが、役所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や配慮 (合理的配慮)、またはこれまでに心に残っている支援や配慮があればお書きください。

- 役所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や配慮 (合理的配慮)、また、これまでに心に残っている支援や配慮について自由記述形式でたずねた。以下に主なものを掲載する。

身体障害 (64歳以下)

① してほしい支援や配慮 (合理的配慮)

(声かけに関すること)

- ・こちらから声をかけやすい配置に係の人がいてほしい。「何かお手伝いすることありますか。」と言ってくれることがうれしい。(女性、40歳代)

(役所やお店などでの待ち時間に関すること)

- ・病院に設備されているテレビは字幕がついていない。筆談用具が用意されていないところが多い。(女性、50歳代)

(支援について)

- ・困ったことに対する対応のわかりやすい案内や声のかけやすいスタッフがわかりやすいところに見つかるようにしてほしい。(男性, 20 歳代)
- ・代筆や小銭が出せないなので手伝ってもらいたい。空調がききすぎていて入れないことが多い。(女性, 50 歳代)
- ・書類のやりとりは可能な限り、郵送等で対応してほしい。(男性, 50 歳代)

(バリアフリーについて)

- ・私は、就職のため1人で東京に上京してきました。東京に来て、飲食店はもちろんスーパー等のバリアフリー化が足りないと感じています。エレベーターやエスカレーターがなく、階段しかない店舗もあり、不便を感じることもあります。(女性, 20 歳代)

② 心に残っている支援や配慮

(声かけに関すること)

- ・杖をついているせいか、受付の方、電車の中や、お店の方々に、親切にしてください、感謝しています。小学生に声をかけられたこともあります。(女性, 60 歳代)

(役所やお店などでの待ち時間に関すること)

- ・立って行列にならんでいるときに椅子を出してくれた。(男性, 30 歳代)

(支援について)

- ・何度か通うとストローやスプーンを用意してくれるレストランがあった。どの窓口か分からない時に気軽に話かけてくれた。(男性, 30 歳代)
- ・役所、福祉窓口は良く話を聞いて良い対応して下さる。(男性, 40 歳代)
- ・ホテルのレストランで、杖をついていただけで半身まひであることを伝えていなかったが、肉料理がナイフを使わず食べられる大きさに切られて出していただいたこと。(男性, 30 歳代)
- ・現在、働かせていただいていることに感謝しています。面接の時に健康面を聞かれて、人工弁が入っていることとお話しましたが、来てくださいとのことでした。部署も考えてくださいました。障害のある人に理解がある会社と思います。(女性, 60 歳代)
- ・お店で買物カゴをレジの台に置く時にそっとカゴをレジの台においてくれたこと。(女性, 60 歳代)

身体障害（65歳以上）

① してほしい支援や配慮（合理的配慮）

（声かけに関すること）

- ・市役所でウロウロしていたら、何の用事か、声かけをしてほしい。（男性、70歳代）
- ・障害のある方とあった時、声をかけてほしい。自分の心筋梗塞が発生し、電車の中で汗をダラダラかいている時、胸はきょうれつに痛く、誰も声をかけてくれなかった。つらかった。（男性、70歳代）

（役所やお店などでの待ち時間に関すること）

- ・特に病院（かかりつけ）に設備されているテレビは字幕がついていないので困っている。（女性、70歳代）

（支援について）

- ・公式の書類を書かなければいけない時、回りに手伝ってくれる人がいない人はどうすればいいのか知りたい（税の申告など）。（男性、60歳代）
- ・レストランで食事をする時に手で開閉するドアを開けに来てくれない時はドアを開けながら車イスを押すのがとても大変なので気を配っていただけると助かります。（男性、60歳代）
- ・中途失聴・難聴者は手話より文字の情報の方が助かる場合が多い。聞こえない人は手話ができるだろうと思っている人が多い。（女性、60歳代）

（理解の促進について）

- ・白杖を理解していない人が多い。視覚障害を持っていることをわからない人が多いので嫌な思いをすることが多い。ぶつけられてケガをすることも多い。（男性、70歳代）

② 心に残っている支援や配慮

（声かけに関すること）

- ・市役所で、何も聞いていないのに、「何の用件ですか」と話しかけてくれた時、気持ちが楽になった。（男性、70歳代）

（支援について）

- ・役所でペットボトルのふたがあけられず職員の方に頼んだとき、「喜んで」と言ってくれて心よく開けてくれました。（女性、60歳代）
- ・その時々はその場にに応じてさりげなく手助けしてもらえます。（女性、年齢不明）
- ・足が不自由なので、皆さんが気づかってくださります。心くばりに感謝しています。（女性、80歳以上）

知的障害

① してほしい支援や配慮（合理的配慮）

（声かけに関すること）

- ・声をかけてほしい。（女性，60 歳代）

（支援について）

- ・レストランなどでは、（出入口に近い）端っこのテーブルや個室的空间を申し出た場合、心よく了承してほしい。（男性，20 歳代，抜粋）

（理解の促進について）

- ・見た目は普通ですけど、特に店の人たちやお客が理解してくれない。理解と支援がほしいです。（男性，10 歳代，抜粋）

② 心に残っている支援や配慮

（声かけに関すること）

- ・関係のない人が、そのような時に、積極的に暖かい言葉をかけてくださったり、笑顔ややさしい態度を示してくださる。（女性，30 歳代）
- ・「何かお手伝いすることありますか」と声をかけてくれる方もいるので、ありがたい。以前、ノンステップバスがない頃、乗客の方が、頼まなくてもさっと車イスを持ち上げてくれていた。ありがたかった。（女性，10 歳代）

（支援について）

- ・「あの子はなぜこの場所に1人でのいるんだろう、おかしいな」と思った方が親を探す手助けをしてくれたり、障がい者関係の機関に連絡を取ってくれたこと。（女性，20 歳代）
- ・車イスで走行中、雨が降ってきたのでコンビニに入って店員さんにカッパをかけてもらいました。心よくしてくれて助かりました。（女性，20 歳代）
- ・勤務先では、障害のある人として配慮してくれ、大型台風等天候が悪化しそうな場合は、仕事を早く切り上げたり、休みにしたり（公休扱い）、交通事情を考えて配慮してくれている。（男性，30 歳代）
- ・狭い駐車場（車と車の間がせまい）に車を駐車し車イスに本人を乗せようとする時、地面に落としてしまうことが数回あった。気づいた方がすぐかけよって手伝ってくれて助かった。（女性，40 歳代）
- ・排泄の失敗をした時に、いやな顔せずまわりに気付かれないよう処理、支援をしていただいた。（女性，20 歳代）

精神障害

① してほしい支援や配慮(合理的配慮)

(声かけに関すること)

- ・具合が悪くてうずくまっている時など、休む場所へ誘導してもらえたらありがたいと思いますが、声をかけてもらえることも少ないです。(会社やお店など)
(女性, 30歳代)

(支援について)

- ・会社には、障害を伝えているのに、就業時間での合理的配慮がまったくなされていない。出勤時間、残業など。(男性, 40歳代)
- ・パニック発作が発症した場合、服薬して発作がおさまるまで作業を中断することを許してほしい。(男性, 50歳代)
- ・電車で席を譲ってほしい。杖をついていても知らないふりをしてゲームをしている人が多い。(女性, 40歳代)

② 心に残っている支援や配慮

(支援について)

- ・口頭だけでは説明が理解しづらいので、紙に書いてほしい時がある。音の聞き分けが苦手なので、さわがしいところだと聞きとれない。調布市役所の対応はとても親切で分かりやすかった。今、自分が何をすべきか紙に書いてくれた。(女性, 20歳代)
- ・自分でとり出したり、しまったりするのが苦手で、手伝ってもらったり、「ない」や「空っぽ」が判断できず、忘れ物が不安になるので、何も忘れてないことを教えてもらったりする。(女性, 30歳代)
- ・就労移行支援事業所の人会社に来て、話を聞いてくれた。(男性, 40歳代)
- ・市役所の福祉課で的確に必要な書類等をおしえてくれる。それ以外はあまり合理的に感じない。一般の人の配慮はまったくあてにしてない。(女性, 40歳代)
- ・市役所でパニック発作が起きた時、落ち着かせてくださった。水を持ってきてくださった(女性, 40歳代)

難病

① してほしい支援や配慮（合理的配慮）

（支援について）

- ・難病者だとすぐに見てわかるキーホルダー等，証明書（現在のが大きすぎる！！）があったらうれしい！（女性，40歳代）
- ・ある施設で身体障害者マーク（警察に相談して車体に貼ってもよいと言われた）を貼っているのに毎回，地下の駐車場に案内される。車イスだけが身体障害者ではないのと思う。調布市のヘルプカードを窓に置いても何の役にもたたない。（女性，50歳代，抜粋）
- ・各所に拡大読書器がほしい。書類の書き入れや，店での価格が小さすぎてわからない。（女性，50歳代）

（バリアフリーについて）

- ・病院，役所や駅等は車イス対応トイレがあるが，その他ではあまりないので，こまるのではないかと思う。（女性，60歳代）

② 心に残っている支援や配慮

（支援について）

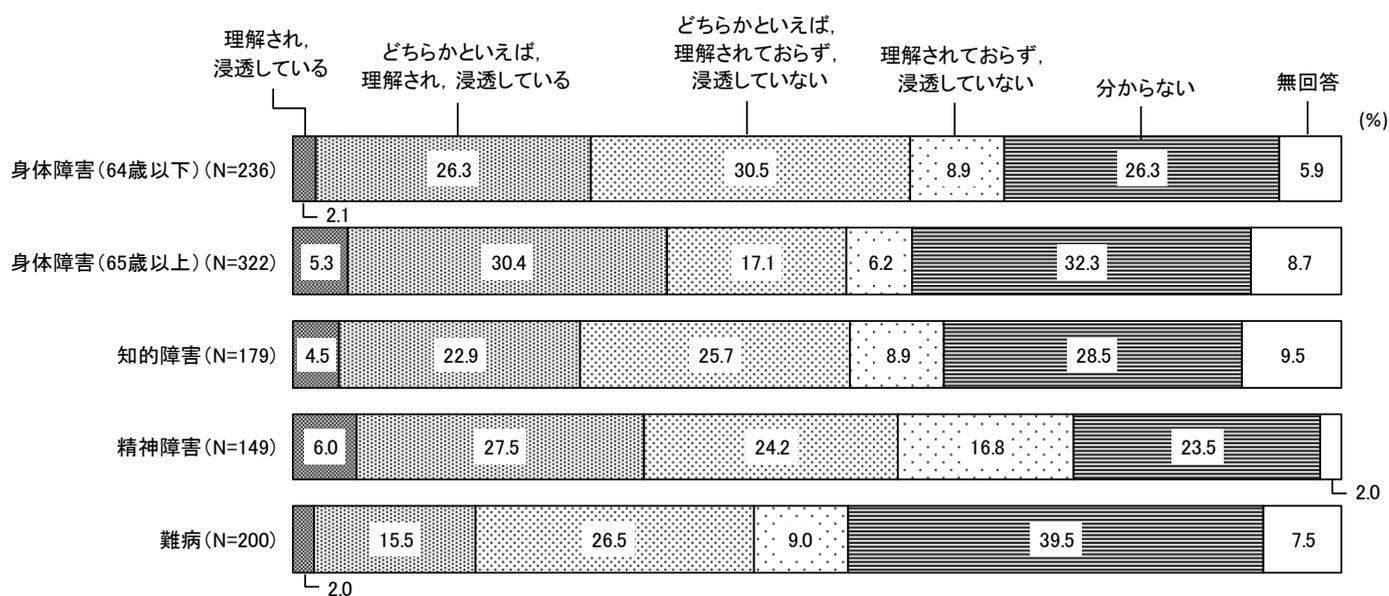
- ・在宅酸素の機械を継続して使用するにはコンセントが必要ですが，お店の方などにお伝えすると，快く使用させてくれるのでありがたいです。（女性，30歳代）
- ・鉄道内で，シルバーシートで若い人が席をゆずらない様子を見て，30～40歳位の女性がその人に，強いて，「立ち上がり，私に席をゆずるよう」に声をかけてくださった。その勇気に感謝しております！（女性，50歳代）
- ・飲食店で薬を飲もうとしたら水をくれた。（男性，20歳代）
- ・通院している眼科で，誘導していただいています。（女性，60歳代）

（5）共生社会の実現状況の実感（問27）

問27 「すべての人々が年齢や障害の有無によって分け隔てられることなく、互いの人格と個性を尊重しあいながら共生する社会（共生社会）を目指す」という考え方について、調布市では市民に理解され、浸透していると思いますか。（1つに○）

- 共生社会の実現状況の実感についてたずねた。
- 「理解され、浸透している」と「どちらかといえば、理解され、浸透している」を合わせた《浸透している》の割合は、身体障害（64歳以下）は28.4%、身体障害（65歳以上）は35.7%、知的障害は27.4%、精神障害は33.5%、難病は17.5%となっている。

図表 4-87 共生社会の実現状況の実感（全体）



II アンケート調査の結果

身体障害（64歳以下）

- 地域別にみると、《浸透している》の割合は、南部地域で31.8%と最も高く、北部地域は24.4%と最も低くなっている。
- 障害程度別にみると、《浸透している》の割合は、3級で6割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-88 共生社会の実現状況の実感【身体障害（64歳以下）】
（全体、年代別、地域別、障害程度別）

			い 理 解 さ れ、 浸 透 し て	い 理 ど ち ら か と 浸 透 し て	浸 理 ど ち ら か と い え ば、	浸 理 ど ち ら か と い え ば、	分 か ら な い	無 回 答
全 体		(N=236)	2.1	26.3	30.5	8.9	26.3	5.9
年 代 別	18歳～39歳	(n= 41)	2.4	26.8	29.3	7.3	34.1	0.0
	40歳～64歳	(n=178)	2.2	27.0	29.8	9.6	24.7	6.7
地 域 別	東部地域	(n= 39)	5.1	23.1	33.3	12.8	20.5	5.1
	西部地域	(n= 78)	1.3	25.6	32.1	5.1	29.5	6.4
	南部地域	(n= 66)	3.0	28.8	25.8	10.6	27.3	4.5
	北部地域	(n= 45)	0.0	24.4	31.1	11.1	28.9	4.4
障 害 程 度 別	1級	(n= 78)	0.0	23.1	29.5	7.7	30.8	9.0
	2級	(n= 43)	4.7	23.3	30.2	11.6	18.6	11.6
	3級	(n= 24)	8.3	54.2	20.8	4.2	12.5	0.0
	4級	(n= 55)	0.0	23.6	38.2	9.1	29.1	0.0
	5級	(n= 13)	0.0	23.1	15.4	23.1	30.8	7.7
	6級	(n= 15)	6.7	13.3	33.3	0.0	40.0	6.7

身体障害（65歳以上）

- 地域別にみると、《浸透している》の割合は、東部地域で41.0%と最も高く、北部地域で30.9%と最も低くなっている。

図表 4-89 共生社会の実現状況の実感【身体障害（65歳以上）】
（全体、年代別、地域別、障害程度別）

			い 理 解 さ れ、 浸 透 し て	い 理 ど ち ら か と 浸 透 し て	浸 理 ど ち ら か と い え ば、	浸 理 ど ち ら か と い え ば、	分 か ら な い	無 回 答
全 体		(N=322)	5.3	30.4	17.1	6.2	32.3	8.7
年 代 別	65歳～74歳	(n=105)	5.7	32.4	21.0	4.8	27.6	8.6
	75歳～84歳	(n=120)	7.5	29.2	15.8	5.0	37.5	5.0
	85歳以上	(n= 61)	1.6	24.6	18.0	8.2	31.1	16.4
地 域 別	東部地域	(n= 61)	3.3	37.7	31.1	1.6	19.7	6.6
	西部地域	(n= 82)	2.4	32.9	12.2	11.0	29.3	12.2
	南部地域	(n= 96)	9.4	28.1	15.6	6.3	35.4	5.2
	北部地域	(n= 68)	4.4	26.5	13.2	5.9	42.6	7.4
程 度 障 害 別	1級	(n= 78)	5.1	32.1	17.9	12.8	26.9	5.1
	2級	(n= 36)	2.8	38.9	13.9	8.3	25.0	11.1
	3級	(n= 51)	5.9	31.4	19.6	0.0	27.5	15.7
	4級	(n= 92)	8.7	30.4	15.2	3.3	39.1	3.3
	5級	(n= 17)	0.0	29.4	17.6	5.9	29.4	17.6
	6級	(n= 6)	0.0	16.7	33.3	0.0	50.0	0.0

知的障害

- 地域別にみると、東部地域と南部地域では《浸透している》の割合が3～4割と全体より高くなっているが、北部地域では《浸透している》の割合が1割台と全体より低くなっている。
- 障害程度別にみると、《浸透している》の割合は、1度と2度で3割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-90 共生社会の実現状況の実感【知的障害】

（全体、年代別、地域別、障害程度別）

		（%）					
		い 理 解 さ れ 、 浸 透 し て	い 理 ど る 解 ち さ ら か と 浸 透 し ば 、	浸 理 ど 透 解 し さ ら か と い て お い え ば 、	浸 理 ど 透 解 し さ ら か と い て お い え ば 、	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=179)	4.5	22.9	25.7	8.9	28.5	9.5
年 代 別	18歳～39歳 (n=102)	3.9	26.5	29.4	5.9	29.4	4.9
	40歳～64歳 (n= 57)	1.8	22.8	24.6	10.5	29.8	10.5
	65歳以上 (n= 10)	30.0	10.0	0.0	10.0	20.0	30.0
地 域 別	東部地域 (n= 30)	3.3	30.0	33.3	0.0	23.3	10.0
	西部地域 (n= 50)	4.0	20.0	26.0	4.0	36.0	10.0
	南部地域 (n= 54)	5.6	37.0	22.2	5.6	24.1	5.6
	北部地域 (n= 34)	5.9	5.9	26.5	20.6	29.4	11.8
程 度 別	1度 (n= 11)	0.0	36.4	27.3	18.2	18.2	0.0
	2度 (n= 43)	9.3	25.6	30.2	0.0	18.6	16.3
	3度 (n= 31)	0.0	19.4	29.0	16.1	29.0	6.5
	4度 (n= 78)	5.1	20.5	17.9	9.0	38.5	9.0

精神障害

- 年代別にみると、《浸透している》の割合は、40歳～64歳で38.7%と最も高く、65歳以上で20.0%と最も低くなっている。

図表 4-91 共生社会の実現状況の実感【精神障害】

（全体、年代別、地域別、障害程度別）

		（%）					
		い 理 解 さ れ 、 浸 透 し て	い 理 ど る 解 ち さ ら か と 浸 透 し ば 、	浸 理 ど 透 解 し さ ら か と い て お い え ば 、	浸 理 ど 透 解 し さ ら か と い て お い え ば 、	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=149)	6.0	27.5	24.2	16.8	23.5	2.0
年 代 別	18歳～39歳 (n= 39)	2.6	25.6	33.3	12.8	23.1	2.6
	40歳～64歳 (n= 93)	7.5	31.2	20.4	17.2	21.5	2.2
	65歳以上 (n= 10)	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0
地 域 別	東部地域 (n= 37)	2.7	29.7	27.0	18.9	21.6	0.0
	西部地域 (n= 46)	4.3	28.3	28.3	10.9	28.3	0.0
	南部地域 (n= 30)	16.7	20.0	26.7	13.3	16.7	6.7
	北部地域 (n= 26)	3.8	34.6	19.2	19.2	23.1	0.0
程 度 別	1級 (n= 5)	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	2級 (n= 73)	5.5	32.9	20.5	19.2	17.8	4.1
	3級 (n= 45)	6.7	24.4	31.1	15.6	22.2	0.0

難病

- 年代別にみると、年代があがるにつれ、「どちらかといえば、理解されておらず、浸透していない」と「理解されておらず、浸透していない」を合わせた《浸透していない》の割合が低くなっている。
- 地域別にみると、《浸透していない》の割合は、北部地域で 39.4%と最も高く、西部地域で 29.7%と最も低くなっている。

図表 4-92 共生社会の実現状況の実感【難病】

(全体、年代別、地域別)

			(%)					
			い 理 解 さ れ、 浸 透 し て	い 理 ど ち ら か と 浸 透 し ば、	浸 理 ど ち ら か と い え ば、	浸 理 ど ち ら か と い え ば、	分 か ら な い	無 回 答
全	体	(N=200)	2.0	15.5	26.5	9.0	39.5	7.5
年 代 別	18歳～39歳	(n= 19)	0.0	21.1	31.6	15.8	26.3	5.3
	40歳～64歳	(n= 75)	0.0	14.7	26.7	13.3	41.3	4.0
	65歳以上	(n= 97)	3.1	15.5	25.8	4.1	41.2	10.3
地 域 別	東部地域	(n= 44)	4.5	20.5	27.3	9.1	31.8	6.8
	西部地域	(n= 54)	1.9	16.7	20.4	9.3	44.4	7.4
	南部地域	(n= 56)	1.8	14.3	30.4	7.1	41.1	5.4
	北部地域	(n= 38)	0.0	13.2	28.9	10.5	36.8	10.5

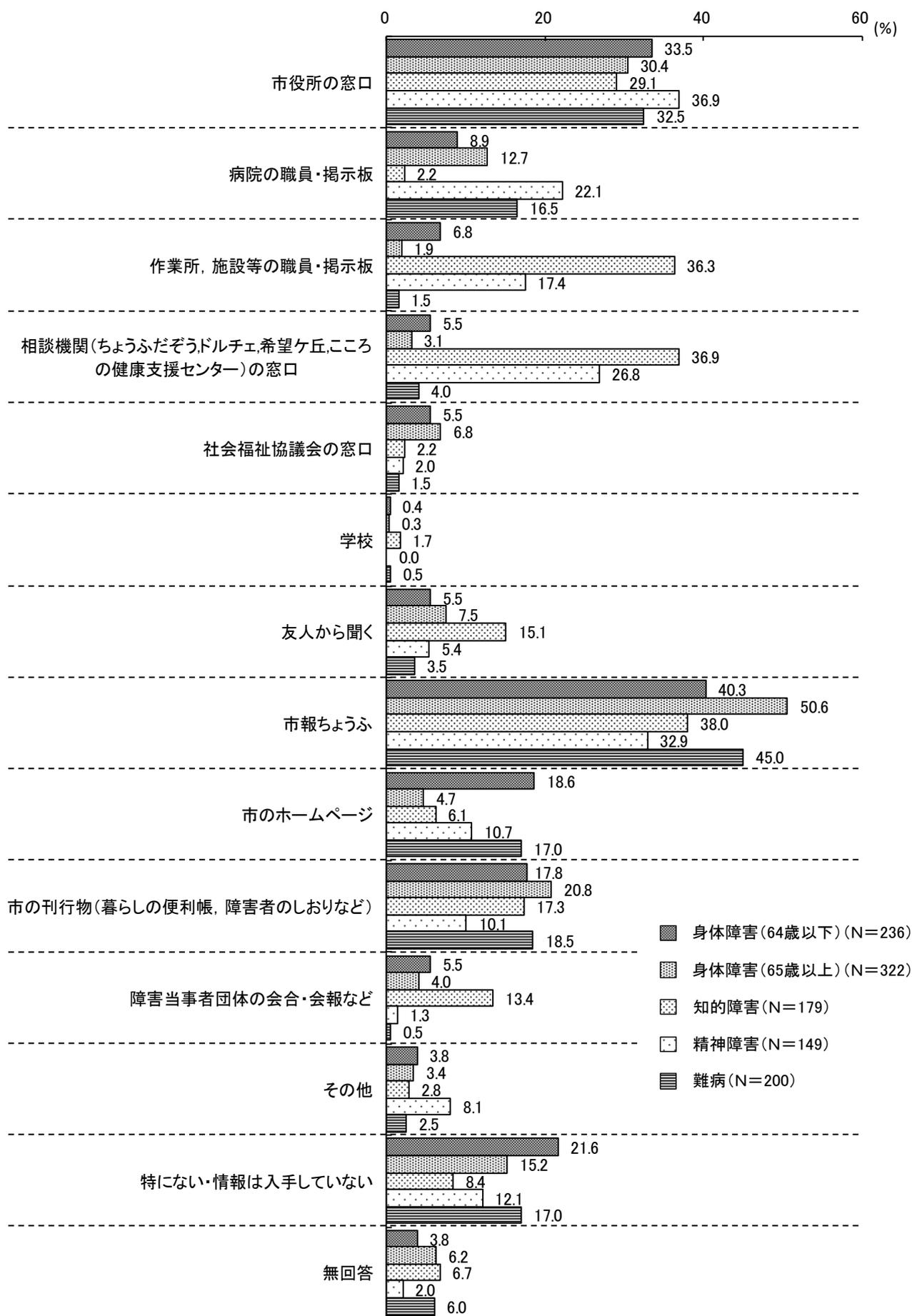
8 調布市の障害者福祉施策

(1) 調布市の障害者福祉施策（サービス）に関する情報の入手経路（問 28）

問 28 あなたは、調布市の障害者福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。
(いくつでも○)

- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、難病は「市報ちょうふ」が最も多く、割合はそれぞれ 40.3%、50.6%、38.0%、45.0%となっている。精神障害は、「市役所の窓口（36.9%）」が最も多くなっている。

図表 4-93 調布市の障害者福祉施策（サービス）に関する情報の入手経路（全体：複数回答）



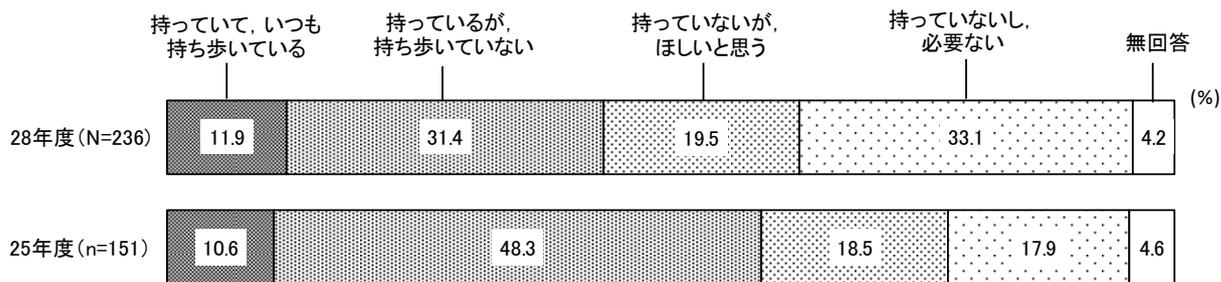
(2) ヘルプカードの所持について (問 29)

問 29 あなたは、調布市が配布しているヘルプカードを持っていますか。(1つに○)

- 身体障害 (64 歳以下), 精神障害, 難病は「持っていないし, 必要ない」が最も多く, 割合はそれぞれ 33.1%, 49.7%, 54.0%となっている。身体障害 (65 歳以上) は「持っていないが, ほしいと思う (28.0%)」, 知的障害は「持っているが, 持ち歩いていない (38.0%)」が最も多くなっている。
- 経年で比較すると, 28 年度は 25 年度と比べると身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 知的障害ともに「持っていて, いつも持ち歩いている」の割合に大きな変化はないが, 「持っているが, 持ち歩いていない」の割合は, 身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 知的障害ともに 10 ポイント以上低くなっている。精神障害では, 「持っていて, いつも持ち歩いている」と「持っているが持ち歩いていない」を合わせた《持っている》の割合が 8.4 ポイント高くなっている。

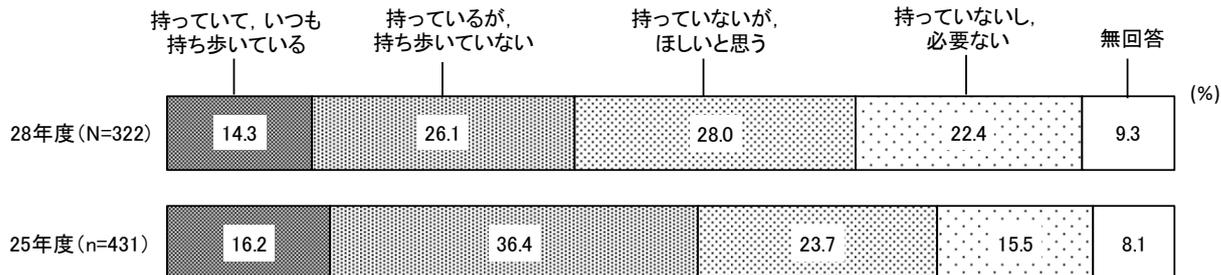
図表 4-94 ヘルプカードの所持について【身体障害 (64 歳以下)】(全体)【経年比較】

身体障害 (64 歳以下) (N=236)



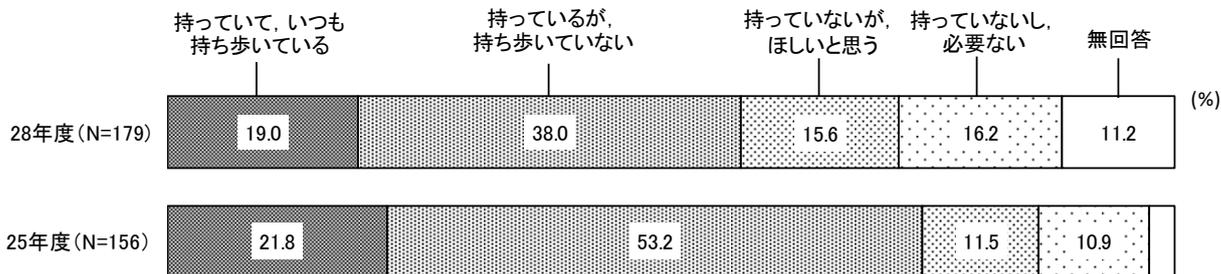
図表 4-95 ヘルプカードの所持について【身体障害 (65 歳以上)】(全体)【経年比較】

身体障害 (65 歳以上) (N=322)

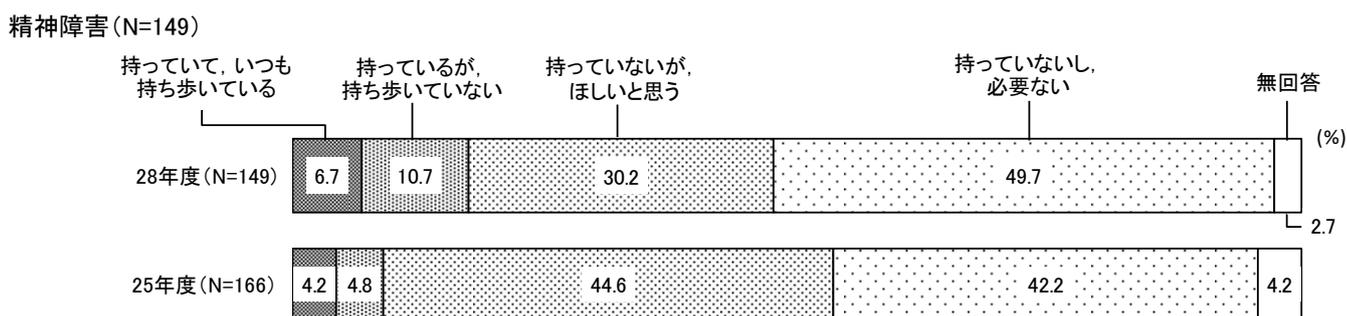


図表 4-96 ヘルプカードの所持について【知的障害】(全体)【経年比較】

知的障害 (N=179)



図表 4-97 ヘルプカードの所持について【精神障害】（全体）【経年比較】



図表 4-98 ヘルプカードの所持について【難病】（全体）



身体障害（64歳以下）

- 年代別にみると、18歳～39歳は「持っていないし、必要ない」が4割を超え、全体より高くなっている。
- 地域別にみると、《持っている》の割合は、南部地域で54.5%と最も高く、東部地域で33.3%と最も低くなっている。
- 障害程度別にみると、《持っている》の割合は、1級で50.0%と最も高く、6級で26.7%と最も低くなっている。

図表 4-99 ヘルプカードの所持について【身体障害（64歳以下）】
（全体、年代別、地域別、障害程度別）

		も持 持っ ちて 歩い て、 いて いる つ	ち持 歩っ いて いて いる が、 持	ほ持 しっ いて とい 思な うい が、	必持 要っ ない ない し、	無 回 答
全	体 (N=236)	11.9	31.4	19.5	33.1	4.2
別 年 代	18歳～39歳 (n= 41)	9.8	29.3	14.6	46.3	0.0
	40歳～64歳 (n=178)	11.8	32.6	20.8	29.8	5.1
地 域 別	東部地域 (n= 39)	5.1	28.2	25.6	35.9	5.1
	西部地域 (n= 78)	16.7	26.9	16.7	37.2	2.6
	南部地域 (n= 66)	12.1	42.4	13.6	27.3	4.5
	北部地域 (n= 45)	11.1	26.7	24.4	33.3	4.4
障 害 程 度 別	1級 (n= 78)	15.4	34.6	20.5	24.4	5.1
	2級 (n= 43)	14.0	30.2	14.0	34.9	7.0
	3級 (n= 24)	8.3	29.2	20.8	41.7	0.0
	4級 (n= 55)	9.1	29.1	18.2	40.0	3.6
	5級 (n= 13)	7.7	38.5	23.1	23.1	7.7
	6級 (n= 15)	0.0	26.7	26.7	46.7	0.0

II アンケート調査の結果

身体障害（65歳以上）

- 年代別にみると、年代があがるにつれ「持っている、いつも持ち歩いている」の割合が高くなっている。
- 地域別にみると、「持っていないが、ほしいと思う」と「持っていないし、必要ない」を合わせた《持っていない》の割合は、北部地域で 60.3%と最も高く、西部地域で 37.8%と最も低くなっている。

図表 4-100 ヘルプカードの所持について【身体障害（65歳以上）】
(全体, 年代別, 地域別, 障害程度別)

			も持 持っ ちて 歩いて いて いる つ	ち持 歩っ いて いる が、 持	ほ持 しっ いて と思 うが、	必持 っ てい ない し、	無 回 答
全 体 (N=322)			14.3	26.1	28.0	22.4	9.3
年 代 別	65歳～74歳 (n=105)		7.6	36.2	28.6	20.0	7.6
	75歳～84歳 (n=120)		17.5	26.7	29.2	20.0	6.7
	85歳以上 (n= 61)		18.0	14.8	23.0	27.9	16.4
地 域 別	東部地域 (n= 61)		14.8	26.2	27.9	21.3	9.8
	西部地域 (n= 82)		14.6	35.4	18.3	19.5	12.2
	南部地域 (n= 96)		12.5	26.0	28.1	26.0	7.3
	北部地域 (n= 68)		14.7	20.6	36.8	23.5	4.4
程 度 別	1級 (n= 78)		16.7	29.5	23.1	24.4	6.4
	2級 (n= 36)		8.3	25.0	38.9	16.7	11.1
	3級 (n= 51)		11.8	27.5	35.3	11.8	13.7
	4級 (n= 92)		15.2	22.8	29.3	28.3	4.3
	5級 (n= 17)		23.5	17.6	29.4	17.6	11.8
	6級 (n= 6)		0.0	50.0	33.3	16.7	0.0

知的障害

- 年代別にみると、年代があがるにつれ《持っている》の割合が低くなっている。
- 障害程度別にみると、障害の程度が重くなるにつれ《持っている》の割合が高くなっている。

図表 4-101 ヘルプカードの所持について【知的障害】
(全体, 年代別, 地域別, 障害程度別)

			も持 持っ ちて 歩いて いて いる つ	ち持 歩っ いて いる が、 持	ほ持 しっ いて と思 うが、	必持 っ てい ない し、	無 回 答
全 体 (N=179)			19.0	38.0	15.6	16.2	11.2
年 代 別	18歳～39歳 (n=102)		20.6	42.2	9.8	20.6	6.9
	40歳～64歳 (n= 57)		21.1	31.6	26.3	8.8	12.3
	65歳以上 (n= 10)		0.0	40.0	20.0	10.0	30.0
地 域 別	東部地域 (n= 30)		13.3	40.0	13.3	23.3	10.0
	西部地域 (n= 50)		26.0	38.0	14.0	14.0	8.0
	南部地域 (n= 54)		16.7	35.2	18.5	18.5	11.1
	北部地域 (n= 34)		20.6	44.1	11.8	11.8	11.8
程 度 別	1度 (n= 11)		27.3	54.5	9.1	9.1	0.0
	2度 (n= 43)		25.6	51.2	7.0	2.3	14.0
	3度 (n= 31)		25.8	45.2	19.4	0.0	9.7
	4度 (n= 78)		14.1	29.5	17.9	28.2	10.3

精神障害

- 地域別にみると、「持っていないし、必要ない」の割合は、西部地域で65.2%と最も高く、南部地域で30.0%と最も低くなっている

図表 4-102 ヘルプカードの所持について【精神障害】

（全体，年代別，地域別，障害程度別）

		(%)				
		も持 持っ ちて 歩いて いる	ち持 歩っ いて いるが 、 持	ほ持 しっ いて と思 ない が、	必持 っ た ない し、	無 回 答
全	体 (N=149)	6.7	10.7	30.2	49.7	2.7
年 代 別	18歳～39歳 (n= 39)	2.6	20.5	25.6	43.6	7.7
	40歳～64歳 (n= 93)	7.5	8.6	31.2	51.6	1.1
	65歳以上 (n= 10)	10.0	0.0	50.0	40.0	0.0
地 域 別	東部地域 (n= 37)	2.7	5.4	43.2	45.9	2.7
	西部地域 (n= 46)	10.9	6.5	17.4	65.2	0.0
	南部地域 (n= 30)	6.7	23.3	33.3	30.0	6.7
	北部地域 (n= 26)	3.8	15.4	42.3	34.6	3.8
程 度 別	1級 (n= 5)	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0
	2級 (n= 73)	6.8	9.6	35.6	42.5	5.5
	3級 (n= 45)	2.2	17.8	24.4	55.6	0.0

難病

- 年代別にみると、年代があがるにつれ「持っていないし、必要ない」の割合が低くなっている。
- 地域別にみると、西部地域と北部地域では「持っていないし、必要ない」が6割を超え、全体より高くなっているが、南部地域では4割台と全体より低くなっている。

図表 4-103 ヘルプカードの所持について【難病】

（全体，年代別，地域別）

		(%)				
		も持 持っ ちて 歩いて いる	ち持 歩っ いて いるが 、 持	ほ持 しっ いて と思 ない が、	必持 っ た ない し、	無 回 答
全	体 (N=200)	5.5	9.0	23.0	54.0	8.5
年 代 別	18歳～39歳 (n= 19)	0.0	0.0	21.1	73.7	5.3
	40歳～64歳 (n= 75)	5.3	5.3	17.3	66.7	5.3
	65歳以上 (n= 97)	5.2	14.4	27.8	41.2	11.3
地 域 別	東部地域 (n= 44)	11.4	4.5	20.5	52.3	11.4
	西部地域 (n= 54)	3.7	5.6	27.8	61.1	1.9
	南部地域 (n= 56)	3.6	14.3	26.8	44.6	10.7
	北部地域 (n= 38)	2.6	13.2	10.5	63.2	10.5

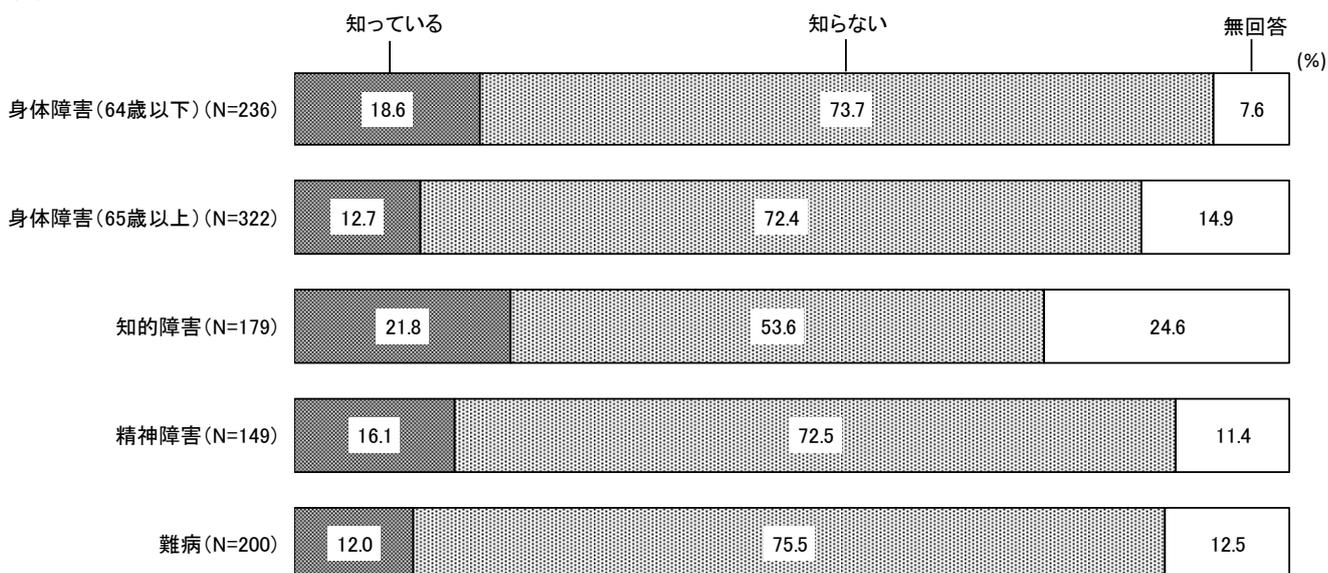
(3) 市の相談窓口の認知状況 (問 30)

問 30 あなたは、次の調布市の相談窓口を知っていますか。
((1) ~ (6) それぞれ1つに○)

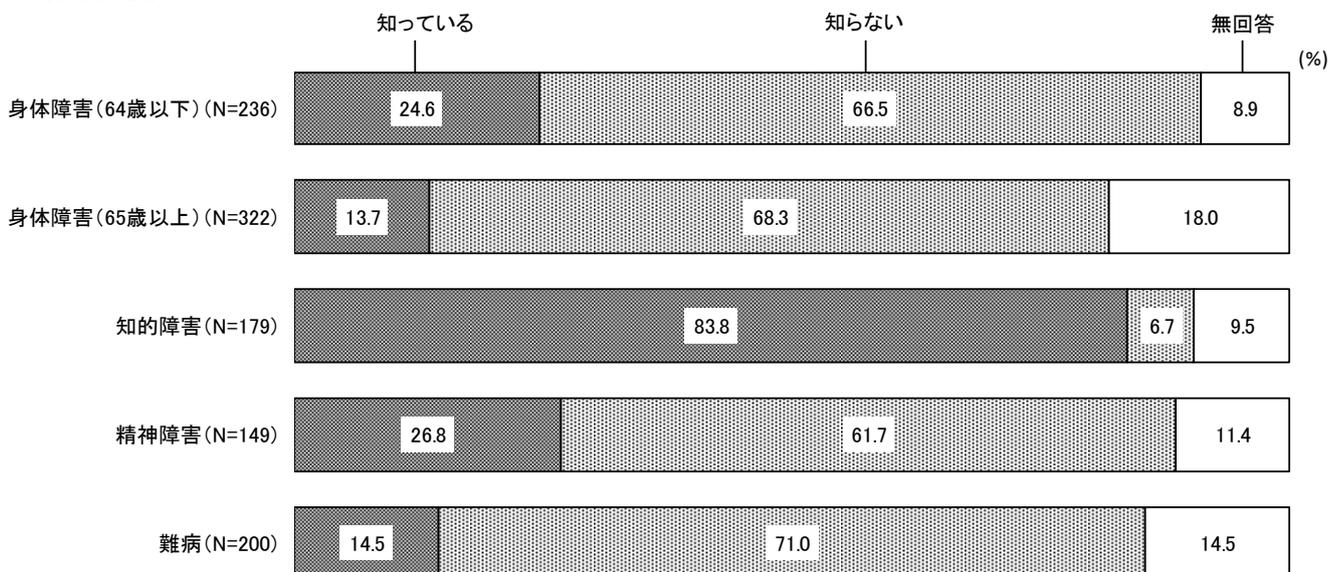
- 調布市の相談窓口の認知状況を6つの窓口についてたずねた。
- 『ドルチェ』は身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 精神障害, 難病ともに「知らない」が7割を超えている。
- 『ちょうふだぞう』は身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 精神障害で「知らない」が6割を超え, 難病で「知らない」が7割を超えている。
- 『希望ヶ丘』は身体障害 (65 歳以上), 知的障害で「知らない」が7割を超え, 身体障害 (64 歳以下), 難病で「知らない」が8割を超えている。
- 『こころの健康支援センター』は身体障害 (64 歳以下), 身体障害 (65 歳以上), 難病で「知らない」が7割を超えている。
- 『難病相談窓口』は身体障害 (65 歳以上), 知的障害で「知らない」が7割を超え, 身体障害 (64 歳以下), 精神障害で「知らない」が8割を超えている。
- 『障害者虐待防止センター』は知的障害で「知らない」が6割を超え, 身体障害 (65 歳以上), 難病で「知らない」が7割を超え, 身体障害 (64 歳以下), 精神障害で「知らない」が8割を超えている。

図表 4-104 市の相談窓口の認知状況（全体）

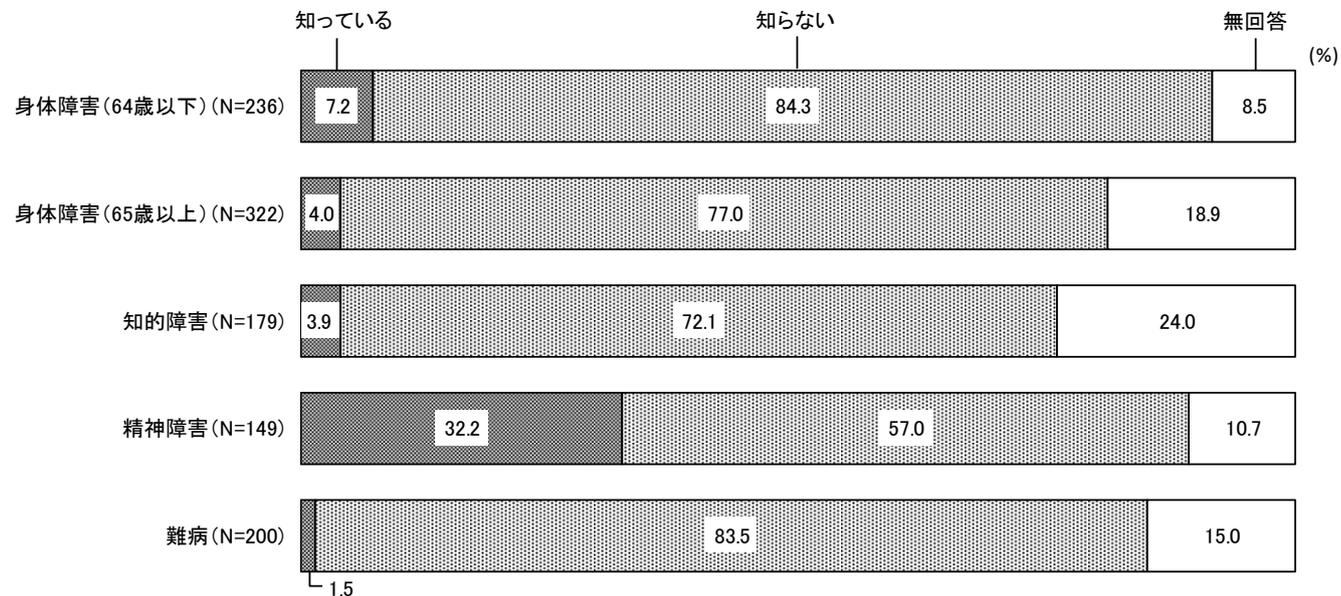
(1)ドルチェ



(2)ちょうふだぞう

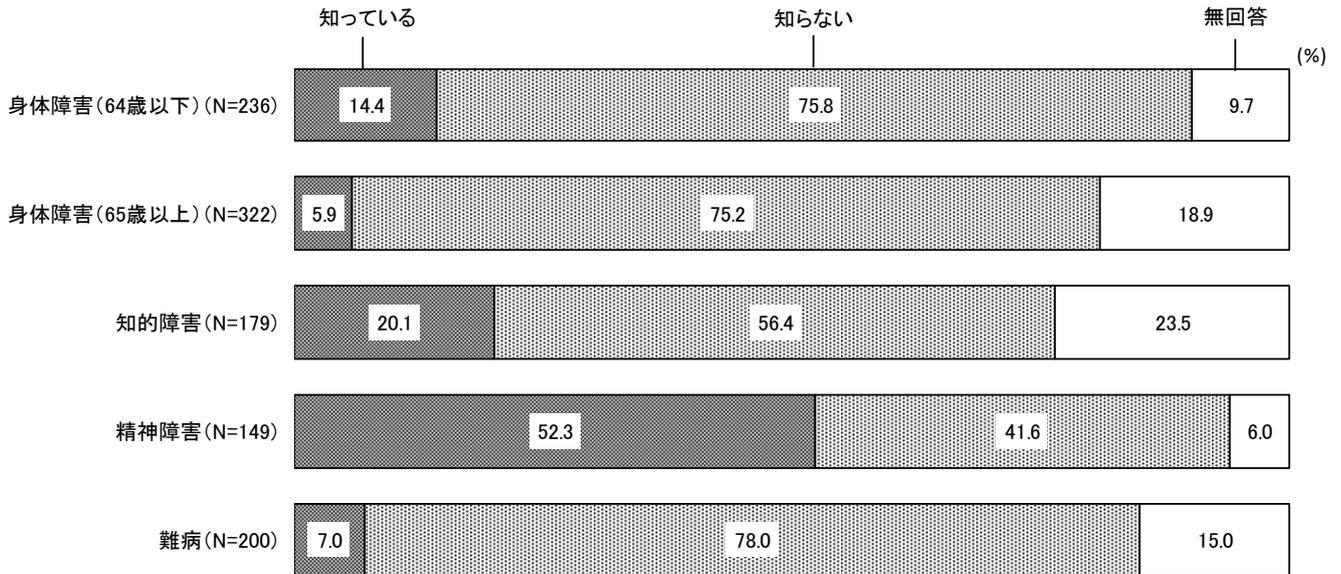


(3)希望ヶ丘

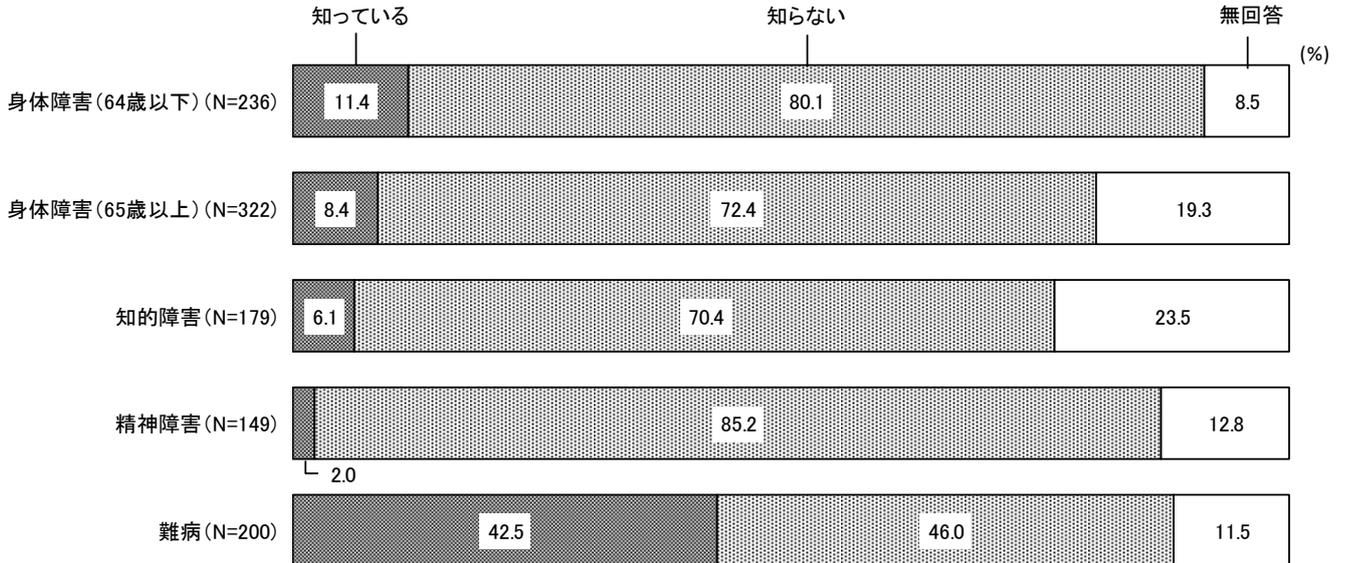


II アンケート調査の結果

(4) こころの健康支援センター



(5) 難病相談窓口



(6) 障害者虐待防止センター



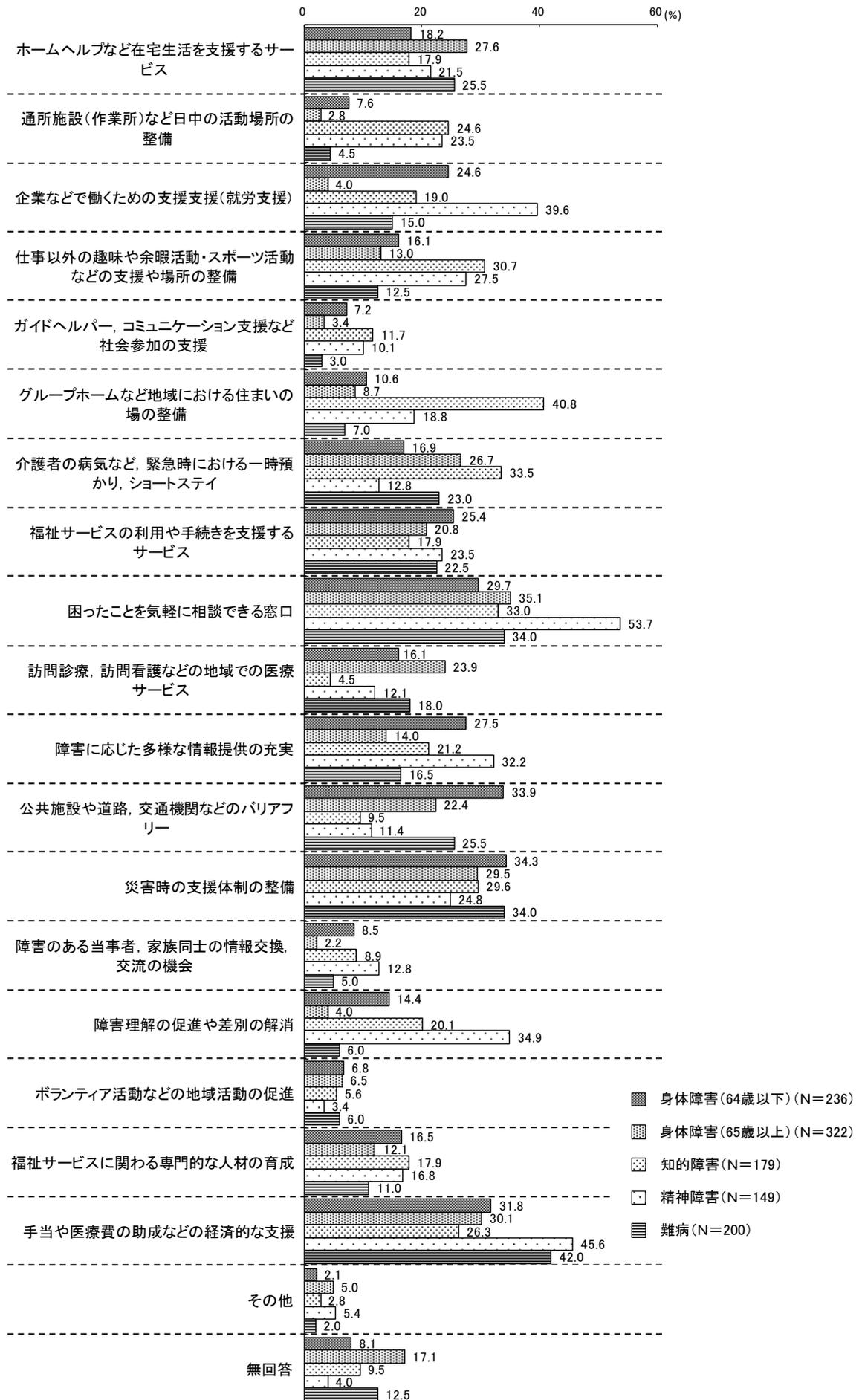
(4) 今後力を入れるべき障害者福祉施策(サービス)(問31)

問31 次にあげる障害者福祉に関する取組のうち、あなたが今後調布市で特に充実させてほしいものはどれですか。(5つまで○)

- **身体障害(64歳以下)**は「災害時の支援体制の整備(34.3%)」が最も多く、「公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー(33.9%)」、「手当や医療費の助成などの経済的な支援(31.8%)」が続いている。
- **身体障害(65歳以上)**は「困ったことを気軽に相談できる窓口(35.1%)」が最も多く、「手当や医療費の助成などの経済的な支援(30.1%)」、「災害時の支援体制の整備(29.5%)」が続いている。
- **知的障害**は「グループホームなど地域における住まいの場の整備(40.8%)」が最も多く、「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ(33.5%)」、「困ったことを気軽に相談できる窓口(33.0%)」が続いている。
- **精神障害**は「困ったことを気軽に相談できる窓口(53.7%)」が最も多く、「手当や医療費の助成などの経済的な支援(45.6%)」、「企業などで働くための支援支援(就労支援)(39.6%)」が続いている。
- **難病**は「手当や医療費の助成などの経済的な支援(42.0%)」が最も多く、「困ったことを気軽に相談できる窓口(34.0%)」、「災害時の支援体制の整備(34.0%)」が同率で続いている。

II アンケート調査の結果

図表 4-105 今後力を入れるべき障害者福祉施策（サービス）（全体：複数回答（5つまで○））



身体障害(64歳以下)

- **年代別**にみると、18歳～39歳は「障害に応じた多様な情報提供(41.5%)」、「障害のある当事者家族同士の情報交換、交流の機会(22.0%)」が全体より10ポイント以上、「手当や医療費の助成などの経済的な支援(41.5%)」が全体より9.7ポイント高くなっている。
- **地域別**にみると、東部地域は「企業などで働くための支援(就労支援)(30.8%)」、西部地域は「困ったことを気軽に相談できる窓口(35.9%)」、「障害に応じた多様な情報提供(35.9%)」が全体より5ポイント以上高くなっている。北部地域は「仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や活動場所の整備(31.1%)」が全体より15.0ポイント高くなっており、地域により望むサービスが異なっていることがうかがえる。
- **障害程度別**にみると、1級は「ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス(28.2%)」、3級は「グループホームなど地域における住まいの場の整備(20.8%)」、「訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス(29.2%)」、「企業などで働くための支援(就労支援)(37.5%)」、5級は「手当や医療費の助成などの経済的な支援(46.2%)」が全体より10ポイント以上高くなっている。2級は「障害に応じた多様な情報提供の充実(46.5%)」が全体より19.0ポイント、「障害理解の促進や差別の解消(25.6%)」が全体より11.2ポイント高くなっている。

身体障害 (65歳以上)

- 年代別にみると、75歳～84歳は「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ (34.2%)」、「訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス (29.2%)」、「手当や医療費の助成などの経済的支援 (35.8%)」が全体より5ポイント以上高くなっている。
- 地域別にみると、南部地域は「公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー (29.2%)」が、北部地域は「災害時の支援体制の整備 (36.8%)」が全体より5ポイント以上高くなっている。
- 障害程度別にみると、2級は「公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー (38.9%)」が全体より16.5ポイント、5級は、「グループホームなど地域における住まいの場の整備 (23.5%)」、「手当てや医療費の助成などの経済的な支援 (41.2%)」が全体より10ポイント以上高くなっている。

図表 4-107 今後力を入れるべき障害者福祉施策 (サービス) 【身体障害 (65歳以上)】

(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別, 障害程度別: 複数回答)

		サ ー ビ ス	ホ ー ム ヘル プ な ど 在 宅 生 活 を 支 援 す る	通 所 施 設 (作 業 所 な ど) 日 中 の 活 動 場 所 の 整 備	企 業 な ど で 働 く た め の 支 援 (就 労 支 援)	職 業 活 動 の 支 援 場 所 の 整 備	休 暇 活 動 の 支 援 場 所 の 整 備	支 援 な ど の 社 会 参 加 の 支 援	ミ ニ ム ム な 社 会 参 加 の 支 援	グ ル ー プ ホ ー ム な ど の 整 備	テ レ フ ォ ン に お け る 支 援	介 護 者 の 病 気 な ど に お け る 支 援	サ ー ビ ス の 支 援	福 祉 サ ー ビ ス の 支 援	相 談 で き る 窓 口	困 ら な い と 思 う	訪 問 診 療 、 訪 問 看 護 な ど の 地 域 で の 医 療 サ ー ビ ス	
全	体 (N=322)	27.6	2.8	4.0	13.0	3.4	8.7	26.7	20.8	35.1	23.9							
年 代 別	65歳～74歳 (n=105)	26.7	3.8	7.6	12.4	5.7	4.8	20.0	18.1	33.3	17.1							
	75歳～84歳 (n=120)	25.8	3.3	3.3	15.8	3.3	7.5	34.2	25.0	35.0	29.2							
	85歳以上 (n=61)	24.6	0.0	0.0	8.2	1.6	14.8	23.0	21.3	32.8	21.3							
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=77)	29.9	3.9	1.3	13.0	6.5	14.3	19.5	20.8	39.0	22.1							
	その他 (n=241)	27.0	2.5	5.0	13.3	2.5	6.6	29.5	20.7	34.0	24.9							
地 域 別	東部地域 (n=61)	27.9	1.6	4.9	13.1	1.6	6.6	19.7	26.2	37.7	31.1							
	西部地域 (n=82)	26.8	2.4	6.1	18.3	2.4	6.1	28.0	20.7	35.4	26.8							
	南部地域 (n=96)	26.0	5.2	4.2	7.3	5.2	8.3	30.2	16.7	35.4	19.8							
	北部地域 (n=68)	27.9	1.5	1.5	11.8	4.4	11.8	30.9	22.1	32.4	22.1							
程 度 別	1級 (n=78)	21.8	1.3	6.4	15.4	1.3	12.8	29.5	20.5	32.1	29.5							
	2級 (n=36)	33.3	8.3	2.8	8.3	8.3	2.8	36.1	16.7	30.6	19.4							
	3級 (n=51)	27.5	2.0	3.9	15.7	3.9	11.8	21.6	17.6	43.1	21.6							
	4級 (n=92)	29.3	3.3	2.2	13.0	3.3	4.3	29.3	21.7	33.7	21.7							
	5級 (n=17)	17.6	0.0	11.8	17.6	0.0	23.5	5.9	23.5	35.3	5.9							
	6級 (n=6)	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0							

		情 報 提 供 の 充 実	フ リ ニ シ ン グ な ど の 支 援	公 共 施 設 の 整 備	災 害 時 の 支 援 体 制 の 整 備	障 害 者 の 支 援 機 会												
全	体 (N=322)	14.0	22.4	29.5	2.2	4.0	6.5	12.1	30.1	5.0	17.1							
年 代 別	65歳～74歳 (n=105)	21.0	26.7	21.9	1.9	6.7	7.6	12.4	28.6	6.7	15.2							
	75歳～84歳 (n=120)	11.7	23.3	31.7	3.3	5.0	5.0	15.0	35.8	5.0	16.7							
	85歳以上 (n=61)	9.8	16.4	36.1	0.0	0.0	6.6	4.9	24.6	1.6	21.3							
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=77)	13.0	14.3	31.2	1.3	1.3	9.1	13.0	31.2	2.6	14.3							
	その他 (n=241)	14.5	24.9	29.5	2.5	5.0	5.8	11.6	30.3	5.8	17.0							
地 域 別	東部地域 (n=61)	13.1	21.3	24.6	3.3	6.6	4.9	8.2	34.4	3.3	16.4							
	西部地域 (n=82)	13.4	18.3	34.1	0.0	6.1	8.5	14.6	31.7	6.1	14.6							
	南部地域 (n=96)	14.6	29.2	26.0	3.1	2.1	4.2	9.4	29.2	7.3	13.5							
	北部地域 (n=68)	16.2	19.1	36.8	1.5	1.5	8.8	14.7	25.0	2.9	20.6							
程 度 別	1級 (n=78)	10.3	19.2	33.3	1.3	3.8	6.4	11.5	29.5	7.7	11.5							
	2級 (n=36)	25.0	38.9	30.6	0.0	0.0	2.8	11.1	36.1	8.3	25.0							
	3級 (n=51)	9.8	23.5	31.4	2.0	3.9	7.8	9.8	23.5	3.9	17.6							
	4級 (n=92)	15.2	21.7	28.3	2.2	4.3	7.6	13.0	31.5	1.1	15.2							
	5級 (n=17)	23.5	11.8	35.3	0.0	5.9	11.8	11.8	41.2	5.9	23.5							
	6級 (n=6)	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7							

知的障害

- 年代別にみると、18歳～39歳は「仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や活動場所の整備（40.2%）」が全体より9.5ポイント高くなっている。
- 地域別にみると、東部地域は「福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス（43.3%）」が全体より25.4ポイント、「仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や活動場所の整備（43.3%）」が全体より12.6ポイント高くなっている。南部地域は「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ（44.4%）」が全体より10.9ポイント高くなっている。
- 障害程度別にみると、2度は「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ（60.5%）」が全体より27.0ポイント、「グループホームなど地域における住まいの場の整備（65.1%）」が全体より24.3ポイント、「通所施設（作業所）など日中の活動場所の整備（44.2%）」が全体より19.6ポイント高くなっている。3度は「手当てや医療費の助成などの経済的な支援（38.7%）」が全体より12.4ポイント、「グループホームなど地域における住まいの場の整備（51.6%）」が全体より10.8ポイント、「仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や活動場所の整備（38.7%）」が全体より8.0ポイント高くなっている。

II アンケート調査の結果

精神障害

- 年代別にみると、18歳～39歳は「手当や医療費の助成などの経済的な支援(61.5%)」が全体より15.9ポイント、「企業などで働くための支援(就労支援)(53.8%)」が全体より14.2ポイント高くなっている。
- 地域別にみると、東部地域は「福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス(37.8%)」が全体より14.3ポイント、北部地域は「ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス(34.6%)」、「企業などで働くための支援(就労支援)(50.0%)」、「障害に応じた多様な情報提供の充実(42.3%)」が全体より10ポイント以上高くなっている。
- 障害程度別にみると、3級は「障害に応じた多様な情報提供の充実(44.4%)」、「障害理解の促進や差別の解消(46.7%)」が全体より10ポイント以上高くなっている。

図表 4-109 今後力を入れるべき障害者福祉施策(サービス)【精神障害】

(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別, 障害程度別: 複数回答)

		住宅ヘルプサービス	ホームヘルプサービス	通所施設(作業所)の整備	企業などで働くための支援(就労支援)	仕事以外の趣味や場所	仕事以外の趣味や場所	支援など社会参加の支援	ガイドヘルパー、ボランティア	地域の整備	グループホームなど	緊急時にシヨートレス	介護者の病気の対応	福祉サービスの利用	相談できる窓口	困ったことを気軽に	訪問診療、訪問看護
全体	(N=149)	21.5	23.5	39.6	27.5	10.1	18.8	12.8	23.5	53.7	12.1						
年代別	18歳～39歳 (n= 39)	20.5	23.1	53.8	23.1	12.8	23.1	7.7	17.9	43.6	7.7						
	40歳～64歳 (n= 93)	22.6	26.9	37.6	29.0	8.6	18.3	15.1	25.8	57.0	15.1						
	65歳以上 (n= 10)	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	10.0	20.0	20.0	70.0	10.0						
家族構成別	ひとり暮らし (n= 56)	25.0	26.8	33.9	32.1	8.9	21.4	8.9	26.8	60.7	17.9						
	その他 (n= 91)	19.8	22.0	42.9	25.3	11.0	17.6	15.4	22.0	49.5	8.8						
地域別	東部地域 (n= 37)	10.8	10.8	37.8	21.6	8.1	18.9	21.6	37.8	56.8	13.5						
	西部地域 (n= 46)	17.4	30.4	39.1	30.4	8.7	21.7	4.3	21.7	54.3	8.7						
	南部地域 (n= 30)	26.7	33.3	40.0	23.3	13.3	23.3	13.3	13.3	46.7	6.7						
	北部地域 (n= 26)	34.6	11.5	50.0	34.6	11.5	11.5	15.4	15.4	53.8	19.2						
障害程度別	1級 (n= 5)	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	60.0	40.0						
	2級 (n= 73)	26.0	32.9	39.7	27.4	9.6	26.0	15.1	24.7	54.8	15.1						
	3級 (n= 45)	13.3	20.0	51.1	35.6	11.1	15.6	6.7	24.4	57.8	6.7						

		情報提供に充ちた多様な	公共交通機関や道路、バリア	公共施設や道路、バリア	災害時の支援体制の整備	家族交流の機会	障害者の当事者、関係者	障害理解の促進や差別の解消	ボランティアの活動促進	福祉専門人材の育成	手当や経済的な支援	その他	無回答
全体	(N=149)	32.2	11.4	24.8	12.8	34.9	3.4	16.8	45.6	5.4	4.0		
年代別	18歳～39歳 (n= 39)	33.3	5.1	15.4	17.9	38.5	2.6	20.5	61.5	7.7	2.6		
	40歳～64歳 (n= 93)	30.1	14.0	29.0	11.8	34.4	2.2	17.2	41.9	4.3	4.3		
	65歳以上 (n= 10)	50.0	0.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0		
家族構成別	ひとり暮らし (n= 56)	30.4	12.5	23.2	8.9	35.7	3.6	17.9	35.7	5.4	3.6		
	その他 (n= 91)	33.0	11.0	26.4	15.4	34.1	3.3	16.5	52.7	5.5	3.3		
地域別	東部地域 (n= 37)	29.7	13.5	29.7	21.6	37.8	2.7	21.6	48.6	5.4	0.0		
	西部地域 (n= 46)	30.4	19.6	19.6	13.0	32.6	2.2	15.2	43.5	2.2	4.3		
	南部地域 (n= 30)	26.7	3.3	23.3	10.0	43.3	3.3	13.3	43.3	13.3	6.7		
	北部地域 (n= 26)	42.3	3.8	34.6	7.7	34.6	3.8	19.2	53.8	0.0	3.8		
障害程度別	1級 (n= 5)	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0		
	2級 (n= 73)	26.0	9.6	24.7	11.0	37.0	4.1	20.5	49.3	4.1	1.4		
	3級 (n= 45)	44.4	11.1	26.7	17.8	46.7	2.2	17.8	46.7	8.9	4.4		

難病

- 年代別にみると、18歳～39歳は「手当や医療費の助成などの経済的な支援 (63.2%)」が全体より 21.2 ポイント、「企業などで働くための支援 (就労支援) (31.6%)」が全体より 16.6 ポイント、「仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備 (26.3%)」, 「公共施設や道路, 交通機関などのバリアフリー (36.8%)」が全体より 10 ポイント以上高くなっている。65歳以上は「訪問診療, 訪問看護などの地域での医療サービス (30.9%)」が全体より 12.9 ポイント, 「介護者の病気など, 緊急時における一時預かり, ショートステイ (32.0%)」, 「ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス (35.1%)」が全体より 10 ポイント程度高くなっている。
- 地域別にみると、東部地域は「障害のある当事者, 家族同士の情報交換, 交流会の機会 (20.5%)」が全体より 15.5 ポイント, 「障害理解の促進や差別の解消 (15.9%)」が全体より 9.9 ポイント高くなっている。北部地域は「公共施設や道路, 交通機関などのバリアフリー (34.2%)」, 「手当や医療費の助成などの経済的な支援 (50.0%)」が全体より 8 ポイント程度高くなっている。

図表 4-110 今後力を入れるべき障害者福祉施策 (サービス) 【難病】

(全体, 年代別, 家族構成別, 地域別 : 複数回答)

		サ ー ビ ス	ホ ー ム ヘル プ な ど 在 宅 生 活 を 支 援 す る	通 所 施 設 (作 業 所)の 活 動 場 所	企 業 な ど で 働 く た め (就 労 支 援)	働 き 場 所 の 支 援 な ど の 支 援 場 所	休 暇 の 支 援 な ど の 支 援 場 所	支 援 な ど の 支 援 場 所	ミ ニ ム ム な 支 援 場 所	グ ル ー プ ホ ー ム な ど の 支 援 場 所	テ レ ビ ジ ョ ー ン の 支 援 場 所	預 め の 支 援 場 所	介 護 者 の 支 援 場 所	サ ー ビ ス の 支 援 場 所	福 祉 サ ー ビ ス の 支 援 場 所	相 談 で き る 窓 口	困 ら な い と 思 う こ と	訪 問 診 療 、 訪 問 看 護 な ど の 支 援 場 所
全	体	(N=200)	25.5	4.5	15.0	12.5	3.0	7.0	23.0	22.5	34.0	18.0						
年 代 別	18歳～39歳	(n=19)	10.5	5.3	31.6	26.3	0.0	5.3	5.3	31.6	21.1	0.0						
	40歳～64歳	(n=75)	18.7	5.3	28.0	12.0	5.3	4.0	14.7	12.0	28.0	8.0						
	65歳以上	(n=97)	35.1	3.1	3.1	10.3	1.0	9.3	32.0	27.8	41.2	30.9						
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n=41)	22.0	4.9	17.1	12.2	2.4	4.9	14.6	26.8	43.9	19.5						
	その他	(n=157)	26.8	4.5	14.6	12.7	2.5	7.6	25.5	21.7	31.8	17.8						
地 域 別	東部地域	(n=44)	29.5	6.8	15.9	18.2	2.3	15.9	27.3	27.3	38.6	18.2						
	西部地域	(n=54)	25.9	5.6	14.8	11.1	1.9	3.7	24.1	29.6	29.6	11.1						
	南部地域	(n=56)	21.4	0.0	12.5	12.5	3.6	3.6	23.2	21.4	33.9	21.4						
	北部地域	(n=38)	26.3	7.9	18.4	10.5	2.6	7.9	18.4	10.5	36.8	21.1						

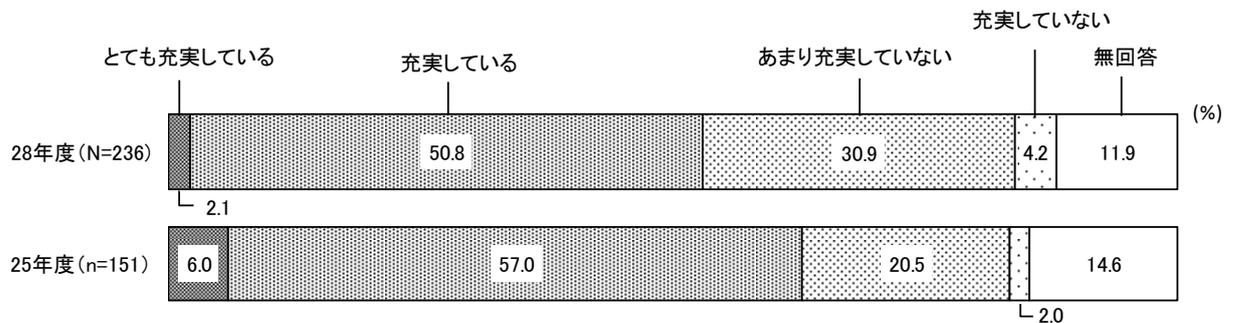
		情 報 提 供 の 充 実 な 多 様 な	フ 通 公 共 施 設 な ど の 道 路 、 バ リ ア 交	整 災 害 時 の 支 援 体 制 の	換 、 家 族 同 士 の 情 報 交 換 の 機 会	別 障 害 理 解 の 促 進 や 差	ど の 地 域 活 動 の 促 進 な	成 る 福 祉 サ ー ビ ス に 関 与 す る 人 材 の 育 成	手 当 や 医 療 費 の 支 援	そ の 他	無 回 答	
全	体	(N=200)	16.5	25.5	34.0	5.0	6.0	6.0	11.0	42.0	2.0	12.5
年 代 別	18歳～39歳	(n=19)	21.1	36.8	31.6	21.1	10.5	5.3	10.5	63.2	5.3	0.0
	40歳～64歳	(n=75)	18.7	28.0	30.7	2.7	6.7	6.7	12.0	44.0	0.0	12.0
	65歳以上	(n=97)	15.5	22.7	38.1	3.1	5.2	5.2	10.3	36.1	3.1	15.5
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n=41)	19.5	14.6	26.8	4.9	4.9	4.9	14.6	46.3	2.4	12.2
	その他	(n=157)	15.9	28.7	36.3	4.5	6.4	5.7	10.2	41.4	1.9	12.1
地 域 別	東部地域	(n=44)	15.9	22.7	38.6	20.5	15.9	9.1	15.9	36.4	2.3	4.5
	西部地域	(n=54)	18.5	27.8	35.2	0.0	3.7	3.7	9.3	38.9	1.9	16.7
	南部地域	(n=56)	19.6	23.2	26.8	0.0	0.0	3.6	5.4	48.2	1.8	17.9
	北部地域	(n=38)	13.2	34.2	39.5	0.0	5.3	7.9	13.2	50.0	2.6	5.3

(5) 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感（問 32）

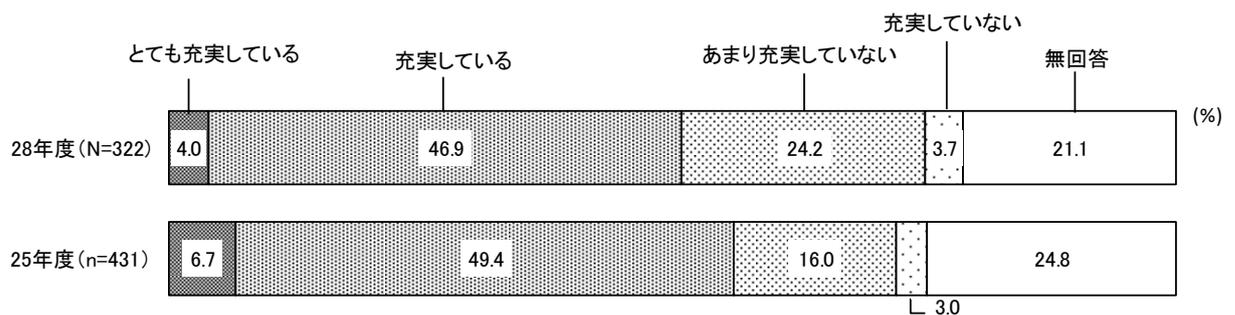
問 32 調布市の障害者福祉サービスについて、あなたはどのように感じますか。（1つに○）

- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「充実している」が最も多く、割合はそれぞれ50.8%、46.9%、52.0%、53.0%、42.5%となっている。
- 「とても充実している」と「充実している」を合わせると、《充実している》の割合は、身体障害（64歳以下）は52.9%、身体障害（65歳以上）は50.9%、知的障害は59.3%、精神障害は60.4%、難病は44.0%となっている。
- 経年で比較すると、28年度では25年度と比べると、《充実している》の割合は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害ともに低くなっている。

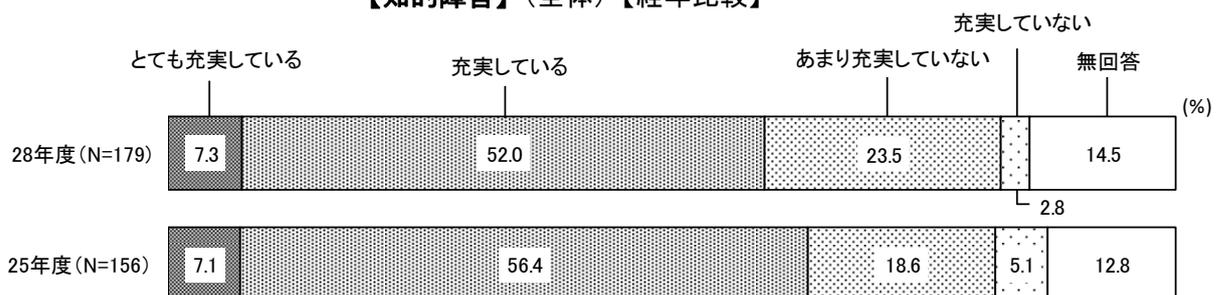
図表 4-111 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感
【身体障害（64歳以下）】（全体）【経年比較】



図表 4-112 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感
【身体障害（65歳以上）】（全体）【経年比較】

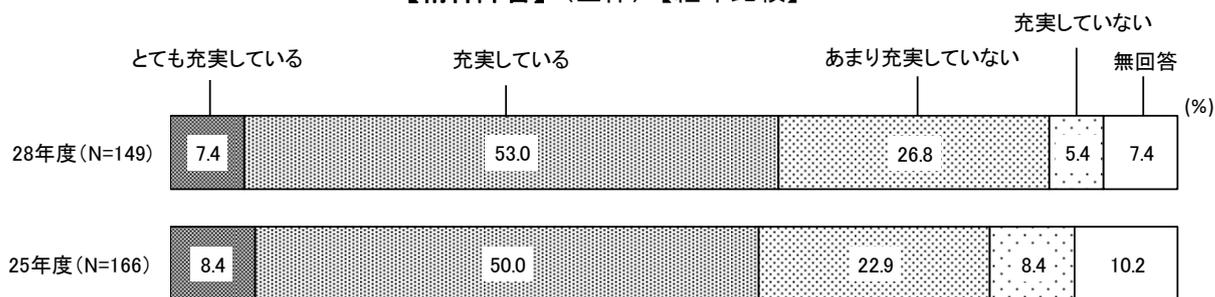


図表 4-113 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感
【知的障害】（全体）【経年比較】

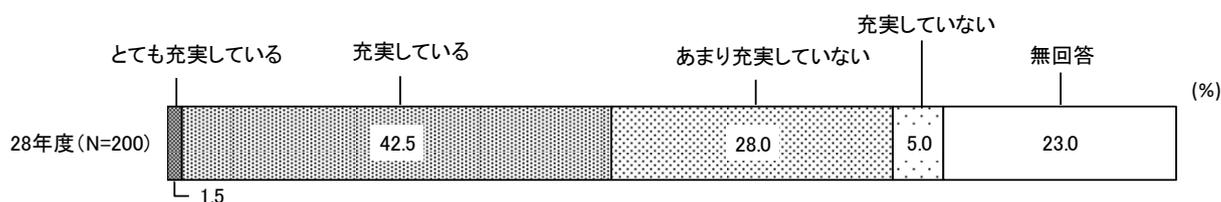


図表 4-114 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感

【精神障害】（全体）【経年比較】



図表 4-115 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感【難病】（全体）



身体障害（64歳以下）

- 年代別にみると、18歳～39歳は《充実している》の割合が6割を超え、全体より高くなっている。
- 地域別にみると、北部地域は《充実している》が4割台と、全体より低くなっている。
- 障害程度別にみると、3級は《充実している》が7割を超え、全体より高くなっている。

図表 4-116 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感

【身体障害（64歳以下）】（全体，年代別，地域別，障害程度別）

		とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
全 体 (N=236)		2.1	50.8	30.9	4.2	11.9
年 代 別	18歳～39歳 (n= 41)	2.4	63.4	24.4	7.3	2.4
	40歳～64歳 (n=178)	1.7	46.6	33.7	3.9	14.0
地 域 別	東部地域 (n= 39)	2.6	51.3	23.1	7.7	15.4
	西部地域 (n= 78)	2.6	51.3	28.2	3.8	14.1
	南部地域 (n= 66)	1.5	50.0	36.4	3.0	9.1
	北部地域 (n= 45)	0.0	44.4	40.0	4.4	11.1
障 害 程 度 別	1級 (n= 78)	0.0	57.7	23.1	5.1	14.1
	2級 (n= 43)	7.0	44.2	34.9	7.0	7.0
	3級 (n= 24)	4.2	70.8	20.8	0.0	4.2
	4級 (n= 55)	0.0	43.6	38.2	3.6	14.5
	5級 (n= 13)	7.7	46.2	30.8	7.7	7.7
	6級 (n= 15)	0.0	26.7	46.7	0.0	26.7

Ⅱ アンケート調査の結果

身体障害（65歳以上）

- 地域別にみると、東部地域では《充実している》の割合が6割程度と、全体より高くなっている。
- 障害程度別にみると、4級は《充実している》の割合が、6割程度と全体より高くなっている。

図表 4-117 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感

【身体障害（65歳以上）】（全体，年代別，地域別，障害程度別）

			とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
全 体 (N=322)			4.0	46.9	24.2	3.7	21.1
年 代 別	65歳～74歳 (n=105)		1.9	50.5	25.7	3.8	18.1
	75歳～84歳 (n=120)		5.8	46.7	23.3	3.3	20.8
	85歳以上 (n= 61)		3.3	44.3	26.2	0.0	26.2
地 域 別	東部地域 (n= 61)		6.6	52.5	19.7	4.9	16.4
	西部地域 (n= 82)		2.4	45.1	28.0	3.7	20.7
	南部地域 (n= 96)		2.1	49.0	26.0	4.2	18.8
	北部地域 (n= 68)		7.4	45.6	22.1	2.9	22.1
程 度 別	1級 (n= 78)		6.4	47.4	25.6	3.8	16.7
	2級 (n= 36)		0.0	55.6	19.4	2.8	22.2
	3級 (n= 51)		0.0	47.1	27.5	2.0	23.5
	4級 (n= 92)		6.5	53.3	20.7	3.3	16.3
	5級 (n= 17)		0.0	41.2	35.3	5.9	17.6
	6級 (n= 6)		0.0	16.7	33.3	0.0	50.0

知的障害

- 年代別にみると、年代があがるにつれ《充実している》の割合が低くなっている。
- 地域別にみると、東部地域と南部地域では、《充実している》の割合が6～7割と全体より高くなっている。
- 障害程度別にみると、障害の程度が重くなるにつれ《充実している》の割合が高くなっている。

図表 4-118 調布市の障害者福祉施策(サービス)の充実についての実感

【知的障害】(全体, 年代別, 地域別, 障害程度別)

(%)

			とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
全 体		(N=179)	7.3	52.0	23.5	2.8	14.5
年 代 別	18歳～39歳	(n=102)	5.9	59.8	21.6	2.9	9.8
	40歳～64歳	(n= 57)	10.5	43.9	24.6	3.5	17.5
	65歳以上	(n= 10)	10.0	20.0	40.0	0.0	30.0
地 域 別	東部地域	(n= 30)	10.0	56.7	23.3	0.0	10.0
	西部地域	(n= 50)	4.0	52.0	28.0	2.0	14.0
	南部地域	(n= 54)	9.3	64.8	9.3	3.7	13.0
	北部地域	(n= 34)	5.9	32.4	41.2	5.9	14.7
程 度 別	1度	(n= 11)	9.1	63.6	18.2	9.1	0.0
	2度	(n= 43)	2.3	62.8	23.3	0.0	11.6
	3度	(n= 31)	0.0	58.1	25.8	0.0	16.1
	4度	(n= 78)	14.1	43.6	23.1	3.8	15.4

II アンケート調査の結果

精神障害

- 年代別にみると、年代があがるにつれ《充実している》の割合が低くなっている。
- 地域別にみると、西部地域では《充実している》の割合が6割を超え、全体より高くなっている。
- 障害程度別にみると、2級は《充実している》の割合が7割程度と全体より高くなっている。

図表 4-119 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感
【精神障害】（全体、年代別、地域別、障害程度別）

			とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
全 体		(N=149)	7.4	53.0	26.8	5.4	7.4
年 代 別	18歳～39歳	(n= 39)	10.3	51.3	28.2	5.1	5.1
	40歳～64歳	(n= 93)	7.5	53.8	25.8	6.5	6.5
	65歳以上	(n= 10)	0.0	50.0	30.0	0.0	20.0
地 域 別	東部地域	(n= 37)	13.5	45.9	29.7	8.1	2.7
	西部地域	(n= 46)	6.5	60.9	21.7	4.3	6.5
	南部地域	(n= 30)	6.7	56.7	23.3	3.3	10.0
	北部地域	(n= 26)	3.8	53.8	34.6	3.8	3.8
程 度 別	1級	(n= 5)	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0
	2級	(n= 73)	8.2	60.3	24.7	2.7	4.1
	3級	(n= 45)	11.1	48.9	31.1	4.4	4.4

難病

- 年代別にみると、年代があがるにつれ《充実している》の割合が低くなっている。
- 地域別にみると、《充実している》の割合は、東部地域で52.2%と最も高く、北部地域で39.5%と最も低くなっている。

図表 4-120 調布市の障害者福祉施策（サービス）の充実についての実感
【難病】（全体、年代別、地域別）

			とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
全 体		(N=200)	1.5	42.5	28.0	5.0	23.0
年 代 別	18歳～39歳	(n= 19)	5.3	42.1	36.8	15.8	0.0
	40歳～64歳	(n= 75)	0.0	44.0	30.7	2.7	22.7
	65歳以上	(n= 97)	1.0	41.2	24.7	5.2	27.8
地 域 別	東部地域	(n= 44)	4.5	47.7	22.7	9.1	15.9
	西部地域	(n= 54)	1.9	40.7	27.8	5.6	24.1
	南部地域	(n= 56)	0.0	44.6	30.4	3.6	21.4
	北部地域	(n= 38)	0.0	39.5	31.6	2.6	26.3

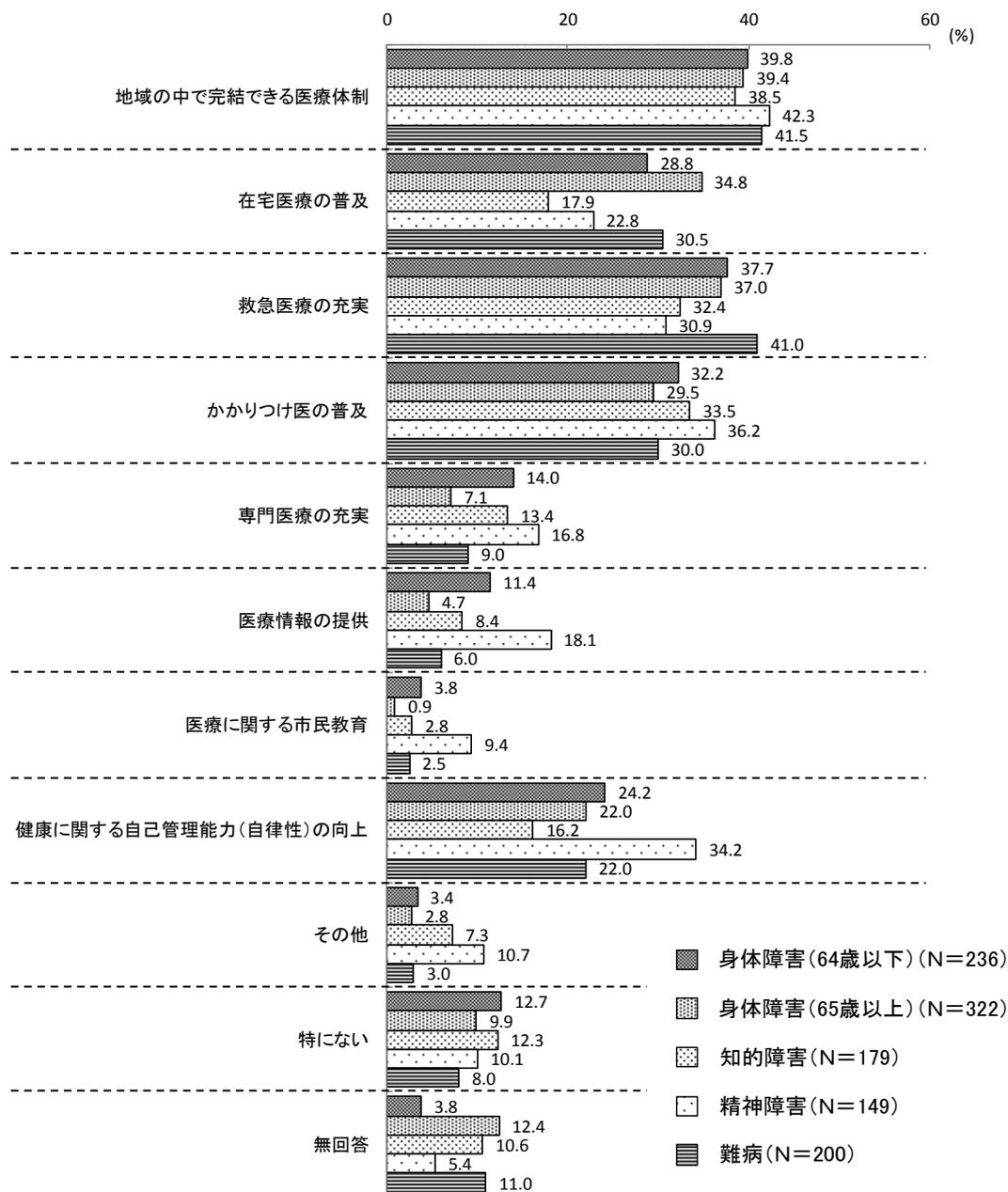
(6) 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うこと (問33)

問33 調布市の医療をよりよくするために、あなたは何が必要だと思いますか。

(いくつでも○)

- 身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 知的障害, 精神障害, 難病ともに「地域の中で完結できる医療体制」が最も多く, 割合はそれぞれ 39.8%, 39.4%, 38.5%, 42.3%, 41.5%となっている。
- そして, 身体障害 (64歳以下), 身体障害 (65歳以上), 難病では「救急医療の充実」が続いており, 割合はそれぞれ 37.7%, 37.0%, 41.0%となっている。知的障害, 精神障害では「かかりつけ医の普及」が続いており, 割合はそれぞれ 33.5%, 36.2%となっている。

図表 4-121 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うこと (全体: 複数回答)



9 市への要望（問 34）

- 障害者福祉を進める上での意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、身体障害（64歳以下）では53件、身体障害（65歳以上）では57件、知的障害では52件、精神障害では52件、難病では39件の回答があった。以下に主なものを掲載する。

（1）身体障害（64歳以下）（53件）

①障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望（9件）

- ・福祉のことは、自分発信でないと、誰も手をさしのべてくれません。私の場合は、家族が手を貸してくれるので何とかなっています。もっと、市が積極的に色々やっていたきたいです。（女性、50歳代、抜粋）
- ・ヘルプカードについて、仕事がお休みを取って行くことができない方や仕事が休みづらい方もいると思います。アンケートを取って、希望者には送付してもらうことは、できないでしょうか。（男性、20歳代）
- ・タクシー券を受領していますが、他の自治体ではガソリン代の支給という選択もできます。ニーズによって選択できた方が良いと思います。（男性、40歳代）
- ・調布市の障害者福祉は新しいサービスを作るのは熱心ですが、既存のサービスを見直し、その質を上げていこうという部分に関しては無関心です。既存のサービスと向き合う覚悟を持つことが肝要かと思われれます。（女性、40歳代）

②環境・まちづくりについて（6件）

- ・歩きやすい道、安心して歩ける歩道がほしい。音声信号機の普及。（女性、60歳代）
- ・手話言語条例が早期に成立を実現できる様に目指してほしい。（男性、年齢不明）
- ・私は、足の筋力がなく段差や階段、坂などに苦勞することがあります。古いスーパー等はバリアフリーが進んでいないところもあつたりし、「エレベーターやエスカレーターがあつた方が利用しやすいのにな」と思うことも多々あります。そして、交通機関ではバスや電車のバリアフリー化もまだまだ必要だと思ひます。もっと利用しやすいような社会をみんなで作ることで、歳やハンデをもっている人も住みやすい環境になると感じます。（女性、20歳代）

③医療体制の整備（5件）

- ・医療は手話が、できる人がすくないと思ひます。（男性、20歳代）
- ・本当に90歳100歳まで生きて、幸せなのだろうか、疑問に思ふことがあります。私は、今、充実した日々を送っていますが、健康寿命は、75歳ぐらいでしょう。最後の3ヵ月間ぐらいを、病院ではなく、家で迎えたいと考えています。在宅医療の普及はもちろんですが、救急車を呼ばずに、看取りの先生のことを、教えてほしいです。（女性、60歳代）

④情報提供（4件）

- ・障害福祉サービスの変更、新設等の情報が入手しにくいように感じます。年に1・2度、郵送などで手元に変更内容等の通知が届くと助かります。（男性、50歳代）
- ・サークル活動などの情報が充実していればと思ひます。（男性、40歳代）

- ・高次脳機能障害のなおしかたを専門医療の先生などに提供してもらいたい。(男性, 60歳代)

⑤現在・将来の不安について(3件)

- ・日頃から、調布市は障害者福祉に尽力していただいで感謝しています。本人は重度の知、肢重複障害で、元気なうちは地域生活(グループホームとか)ができて、医療的ケアが必要になった時、受けられる支援サービスは少なくなる。先の生活がどうなるのか、地域での生活はむずかしくなると思う。(女性, 20歳代)

⑥住まいについて(3件)

- ・来年5月中に立ちのきがあるのに住居が見つからない。車いす使用と年齢でアパート入居がむずかしい(男性, 60歳代, 抜粋)

⑦市の職員・相談窓口への要望(3件)

- ・問い合わせをしたいと思っても、窓口が分かれており、どこに行ったらよいか迷うことが多いです。窓口の1本化が図れると良いと思います。(男性, 50歳代)

⑧施設について(1件)

- ・調布の中心部には充実した施設があるようですが、少し外れた地域はほとんどなく施設も交通も困っています。調布市は福祉が遅れていると聞きます。区のようにもっと選べるくらいの充実さがほしいです。訪問リハビリもデイサービスも中心部以外貧しいです。(女性, 40歳代)

⑨就労について(1件)

- ・障害者でも、受け入れてくれる職場がほしい。(女性, 50歳代)

⑩リハビリについて(1件)

- ・スポーツセンターがバリアフリーでない。足が悪い人も参加できるスタジオプログラムもほしい。お金があまりかからずに、リハビリを続けてゆきたい。(女性, 40歳代, 抜粋)

⑪市への期待、感謝(4件)

- ・いつも市役所に手話通訳士さんがいたり、映画祭(グリーンホール)のときに字幕が付いていたりするので、ありがたいです。いつもありがとうございます。(女性, 20歳代)
- ・仕事から遅く帰ってくるとバスが終わっていることがあり、タクシーを使いやすいタクシー券はありがたいと思っている。ぜひ続けてほしい。(男性, 20歳代)

⑫アンケートについて(11件)

- ・調布市のサービスを利用する機会がないため回答内容で一部回答しづらい内容がありました。(男性, 30歳代)
- ・アンケート回答者に選ばれて不満はないが、これを正確に回答しようとするとなんが多すぎた。(女性, 60歳代)

⑬その他(2件)

(2) 身体障害 (65 歳以上) (57 件)

①障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望 (10 件)

- ・健康相談サービスを受けたい。(男性, 60 歳代, 抜粋)
- ・ボランティアでもよいが, 月 1 回か週に 1 回以上, 電話をして, よもやま話してもよいから, 一定の組織とつながっているというシステムがあるとよいと思う。(男性, 70 歳代)
- ・ちょっとしたことを支援してくれるボランティアさん (無料) を紹介してくれる窓口を作してほしい。(60 歳代)

②環境・まちづくりについて (7 件)

- ・無感心だった自分に反省しています。老後安心できる調布市まちづくりに期待しております。よろしくをお願いします。(女性, 80 歳以上)
- ・買物, 趣味, 通院等の外出時に小型の車でバス料金並の金額で済む交通機関があると良いですね。どこかの過疎地であるようです。(女性, 60 歳代)

③施設について (7 件)

- ・今はとても元気で人にお世話になることは無いのですがこれから先, 歳と共にボケ・病気等になった時に年金で入居できるホームがもっと多くできると老後生活が安心です。(女性, 70 歳代, 抜粋)
- ・福祉はよりよく考えていただいている方だと思います。特養施設を増やしてほしいです。介護 (家で) する者にはフリータイムがありません。ノイローゼになりそうです。(女性, 60 歳代, 抜粋)

④医療体制の整備 (6 件)

- ・市内に難病のドクターがほしい。(男性, 80 歳以上)
- ・専門医療より, 総合医療 (医師) の確立。(男性, 70 歳代)

⑤現在・将来の不安について (4 件)

- ・今の所は人の手を借りずに動けますが, 夫婦, 年を取って自由が効かなくなった時に不安を感じます (女性, 60 歳代)
- ・私は, 元気ですが, 家内が難病 (パキンス病) のため, 自分が障害者ですが家内の介護で自分のことは二の次です。老々介護です。(女性, 70 歳代, 抜粋)
- ・配偶者 (夫) にすべてをまかせ何の心配も有りません。(女性, 60 歳代)

⑥地域活動・居場所づくり (4 件)

- ・調布市内で, 障害者スポーツ教室や障害者向けの趣味の教室など自由に参加できる機会があれば, ありがたいと思う。(女性, 60 歳代)
- ・同病患者同志のサークルで互いの状況を話し合えるような会があったら。(男性, 70 歳代)

⑦周囲の理解・相互の理解 (2 件)

- ・ケアマネさんを含め, 相談にのってくれるべき人等が, もっと親身になって考えてくれた方が, ハンディがある人, お世話してくださる人の両者に有益性が増すと思う。(女性, 70 歳代)

⑧ 情報提供（1件）

- ・自由に動けないからこそ、情報をたくさん得たいと思います。いっぱい情報提供してください。（女性，60歳代）
- ・自分が、障害手帳を持っていながら、いかにコミュニティーに参加していないか、はっきり知ることができました。回りの人とのコミュニティーに積極的に参加していきたいと思いました。せっかく素晴らしい調布に住んでいるのだから、調布市を知りつくしたい。（男性，70歳代）

⑨ 経済的支援（1件）

- ・右半身が不自由になりましたがスポーツクラブで筋トレをして他人に世話をかけないようにしています。こうした費用も医療控除として認めていただければ、いっそう励みになると思います。（男性，60歳代，抜粋）

⑩ 市の職員・相談窓口への要望（1件）

- ・若い職員は有能，良い対応を感じる good！年齢の高い人は上から目線の対応をする人もいます。（男性，70歳代）

⑪ 市への期待，感謝（6件）

- ・障害者となった時，色々不安を抱えましたが，市役所窓口のご担当の暖みのあるご説明，対応と地域包括支援センターの強力なご支援をいただき，大変元気になりました。心より厚く御礼を申し上げます。今後とも求める人のためご活躍ください。（男性，60歳代）

⑫ アンケートについて（5件）

- ・複数障害や，持病との複合障害もあるので答えようのないものもあります。（女性，70歳代）
- ・私には知らないことが多く大変むずかしい質問でした。（女性，70歳代）

⑬ その他（3件）

（3）知的障害（52件）

① 障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望（11件）

- ・数年，障害者への事件が多く，安心して任せられないという不安がいつもよぎる。信頼できるサポート者の育成機関とかできるとよいです。（女性，20歳代）
- ・ヘルパーさんや介護をしていただける方々を増やす。健康に気をつけて日常生活を何歳になっても送れるようにという意識を高められればと思います。（男性，20歳代）
- ・医療機関や友達・親に言えないような悩み・相談ができる場所を作ってくれれば嬉しいです。（女性，20歳代，抜粋）
- ・介護をしてくれる親が高齢化し，足腰腕等筋力が弱って来ている。いつまでも在宅で過ごしたいと思うので，介護者が身に覆って力のでる，筋力の役割をロボットに担ってもらう方法などテレビで見たことがある。そういうロボットのものが普及し，リースなどで使用できたら良いと思う。（女性，40歳代）

②施設について（11件）

- ・グループホームの充実と、ショートステイを見学しましたが、本人に合った（イキイキとした時間が過ごせる）ところが、見つかりません。通所施設（本人のことを理解してくれている）と連携してなど、安心して預けられる場が必要と感じます。（男性，20歳代，抜粋）
- ・親が高齢になりあと何年子どもの面倒を見られるかわかりません。一年でも早くグループホームを作ってもらい入所ができればと思います。（男性，40歳代，抜粋）

③現在・将来の不安について（6件）

- ・親なき後のことが常に気になっています。（男性，40歳代）
- ・息子は重度の自閉症で、体は元気ですが、何事も常に親が、世話をしています。本人は活動的で動き回りたいのに、段々親も年をとっていつまで連れて歩けるか不安です。（男性，20歳代，抜粋）

④地域活動・居場所づくり（2件）

- ・通所先が休みの時は、家でゴロゴロしているだけで、つまらない。障害が重くても、気軽に出かけ、楽しめる生活がしたい。ヘルパーさんやボランティアと出かけたり、みんなと一緒にスポーツしたり、ゲームしたり、食事したり楽しみたい。（女性，10歳代，抜粋）

⑤医療体制の整備（2件）

- ・特に知的障害者に対して、対応ができる病院や専門医がほしいです。内科や外科だけではなくて、耳鼻科とか、眼科など、家の近くの病院で障害者を対応できる専門医がほしいです。（男性，20歳代）

⑥市の職員・相談窓口への要望（2件）

- ・福祉課以外は、業務を遂行することのみを考え、相談にも応じない。市役所の対応、特にある課については、「わからない」としか答えない。（男性，20歳代，抜粋）

⑦環境・まちづくりについて（1件）

- ・ある歩道は、非常に細く、しかもポールが立っていて人がすれちがうのもやとな上、道が斜めになっている。歩道全体に視覚障害者用の点字ブロックがあって、健全な人でもとても歩きにくい。福祉センターがすぐ近くにある（障がいのあるかたが使うひん度が高いであろう）道なのに、といつも思う。適切な整備を希望します。（女性，20歳代，抜粋）

⑧災害時の不安（1件）

- ・大地震の時、寝たっきりなので、ベッドの上に保護するものがほしい。なかなかすぐに、動かすことが難しいのです。（女性，40歳代，抜粋）

⑨経済的支援（1件）

⑩市への期待、感謝（3件）

- ・就労支援センター（ちょうふだぞう）で常にアドバイス・支援をしていただいております。とても感謝しております。（男性，30歳代）

⑪アンケートについて（10件）

- ・知的障害者には少し（大分）難しい質問ばかりですね。家族の意見が書けるとよ

かったです。(女性, 20歳代)

⑫その他 (2件)

- ・月に1～2回, 趣味やサークル活動に行って楽しく充実しているので今後も続けたいと思います。(男性, 40歳代, 抜粋)

(4) 精神障害 (52件)

①障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望 (14件)

- ・土日でも役所のサービスが使えるとありがたい。(男性, 40歳代)
- ・障害者手帳の色が, 緑の目立ちやすい色なので, もう少し地味な色にしてほしい。バスに乗る時に近所の方に目立って使いづらい。(女性, 40歳代)
- ・「障害」を隠さざるを得ない方に対して支援をしてほしい。隠したまま生活を送り続けられる日常を保てるようお願いしたい。(男性, 30歳代)

②環境・まちづくりについて (8件)

- ・自転車と人の通る道が分かれていなくて怖いので, 道を分けてほしいです。(女性, 20歳代)
- ・今まで以上に障害者の住みやすい調布市をつくれるように, 行政に努めてほしいです。(男性, 40歳代)

③現在・将来の不安について (5件)

- ・支援してくれた母が亡くなったばかりで, 今後どうなるのか不安をかかえています。(男性, 50歳代, 抜粋)

④情報提供 (4件)

- ・こころの支援センターで, 薬の講演会に参加し, そのような情報提供をしていただける機会が増えるとありがたい(精神科医とどのように話していけば治りやすいか, 食事療法, マインドフルネス, タッチケアなど)。(女性, 40歳代)
- ・どのような福祉サービスがあるのか, 受けられるのかよくわかっておらず, 困っている現状です。(女性, 30歳代)

⑤経済的支援 (4件)

- ・障害・難病に対する手当てが少なく, とても困っています。(女性, 40歳代)

⑥地域活動・居場所づくり (3件)

- ・定期的に障害者(ひとり暮らしのため)に食事会などがあれば参加したい。(男性, 50歳代)
- ・ヨコのつながりのなコミュニティ社会を充実させたいのでそういう機会を提供してほしいです。(男性, 30歳代)

⑦周囲の理解・相互理解 (1件)

- ・時々, 障害を理解していない態度, 対応をとる方が多いので, もっと理解をすすめてほしい。(男性, 30歳代)

⑧施設について (1件)

- ・市内の短期入所施設に一泊体験しましたが, 環境が悪い。同じ階に部屋が男女へだてがなくあり, トイレもひとつで夜不安だった。泊まる気になれない。もっと

利用しやすい施設をいくつか作っていただきたい。(女性, 40 歳代)

⑨住まいについて (1 件)

- ・住む場所で、きれいで、つくりがしっかりしていて、都営・公団が増えて、住むことのできる環境がほしい。(女性, 50 歳代)

⑩市の職員・相談窓口への要望 (2 件)

- ・自立支援の更新に行った際に手帳のことを教えてもらったが、一番最初に申請した時に言ってもらえれば更新の期間がずれないで済んだ。窓口の人間を選べないので困る。(女性, 40 歳代)

⑪市への期待, 感謝 (3 件)

- ・限られた予算の中で障害者, 高齢者を援助して行く事は大変な仕事と思います。調布市は熱心に取り組んでいただいていると思い感謝しております。(女性, 80 歳以上)

⑫アンケートについて (4 件)

- ・障害者のニーズなどをたくさん聞いて、このように多角的にとらえた調査が完成したのでしょうか。これから、2018 年度に向けて、障害者雇用に変化があると聞いていますが、多様性に着目するのは、私個人の勉強につながると思います。(女性, 40 歳代)

⑬その他 (2 件)

(5) 難病 (39 件)

①障害者施策・福祉サービスに対する意見・要望 (8 件)

- ・市役所だけでなく出張所でもできることをふやしてほしい。(女性, 20 歳代, 抜粋)
- ・目の不自由な方の道路の黄色の線ですが、若い時は大切な道しるべだと思っていましたが、年をとると黄色なのでぼこでつまづく事が多くなりました。大切な物だとは思いますが、改善の程、お願い致します。(女性, 60 歳代)
- ・ヘルプカードをカバンに付けた人が時々バスや電車で自己中心的な行動(わりこみ, 人にぶつかる走り回る)をするので、自分はずかしくてヘルプカードを持つとうと思いません。(女性, 40 歳代)

②環境・まちづくりについて (9 件)

- ・やはり駅周辺の障害者の人達への歩行や通行に関して、段差や点字ブロック上への駐輪(ベビーカー等)の場所の占領(よく2台平行で歩かれたりしています)等の配慮がされると良いと思います。(女性, 40 歳代)
- ・駐車場のある公園を充実させてほしいと思います。(女性, 50 歳代, 抜粋)
- ・私は難病指定を受けながら義母の介護等で車の運転をしています。どこに行っても駐車場で困っています。胸痛でも、体がだるくても車イスのマークばかりで、停める事ができません。また、何かを言われるのではと臆病になってます。(女性, 50 歳代, 抜粋)

③施設について (1 件)

- ・年金で暮らせる軽費老人ホームを早急に作ってほしい。(女性, 80 歳以上)

④医療体制の整備 (3件)

- ・在宅医療の普及，気楽に利用できるようになったら，うれしい。今は，どこで受けられるか分からないし，相談先もわからない。(男性，40歳代)

⑤現在・将来の不安について (4件)

- ・病院等で寝たきりで身動きできなく在宅でも見切れない場合になった時タイムワシでなくそこにいられるようにしてほしいと思います。(男性，70歳代，抜粋)
- ・難病認定を受け治療継続できているので今のところ自分で身の回りのことはでき，見た目は元気です。年のせいか体調が悪かったり疲れやすかったり家の掃除や片付けが要領よくできなくなってきました。長生きして寝たきりになっても施設入所には経済的に無理なので，自宅で生活していけるように自分なりに考えていきたいと思います。(女性，60歳代，抜粋)

⑥周囲の理解・相互の理解 (2件)

- ・ケアマネジャー・ヘルパー事業所などでは障害(難病)がある人の理解が少ない。難病も介護保険と一緒に考えて難病で受けられる在宅訪問リハビリなど知らないケアマネジャーが多い。ケアマネジャー・ヘルパーさんなど障害者の対応など介護保険の者と一緒に考えている。(女性，60歳代，抜粋)
- ・調布市は今後駅周辺が整備されていくのだと思うので，障害がある者が使いやすい施設になればいいなと思います。在宅酸素療法を行う状態だと路上に喫煙者がいることが非常に怖いのですが，調布駅前以外に喫煙スペースがないためか，条例などで喫煙が制限されていないためか，ヒヤッとする場面が意外と多くあります。酸素使用者に対する理解が進むと良いなと思います。(女性，30歳代)

⑦地域での助け合い (1件)

- ・みんなでたすけあい見まもりしてもらいたい。(男性，70歳代)

⑧経済的支援 (1件)

- ・難病で通院してますが薬代が高い。難病だと保険も入れなくなるのに難病にたいする手当が少ない。(女性，30歳代，抜粋)

⑨アンケートについて (3件)

- ・とても大雑把な調査でこれが実際に生かされるとは思えません。少なくとも障害者と難病者に別々に具体的に状況を聞くべきだと思います。(女性，60歳代)

⑩その他 (7件)

- ・一般の方々は，公休以外に祝日，祭日と休みがあります。私は，サービス業で働いております。職業柄，体調を崩しても有休を使うしかありません。その有休もなくなります。せめて年に20日程度，自由に使える休みがあると助かります。勤労感謝の日があるのに，障害者の日はない。障害者の気持ちになって考えてみてください。(男性，40歳代，抜粋)
- ・個人事業主である私は健康管理も大切である事は十分に理解はしているけれど，その時間もとれず難病に指定されても特に変わらず…何と言ったらいいのか…(女性，60歳代)